

## 2011年業績目録

(2011年1月～2011年12月)

## 松本歯科大学歯学部

## 生物学

## 論文発表

Uchiyama M, Kumano T, Komiyama M, Yoshizawa H and Matsuda K (2011) Immunohistological classification of ionocytes in the external gills of larval Japanese black salamander, *Hynobius nigrescens* Stejneger. *Journal of Morphology* **272** : 1017–24

Uchiyama M, Kumano T, Konno N, Yoshizawa H and Matsuda K (2011) Ontogeny of ENaC expression in the gills and the kidneys of the Japanese black salamander (*Hynobius nigrescens* Stejneger). *Journal of Experimental Zoology* **316** : 135–45

Iwasaki S, Aoyagi H and Yoshizawa H (2011) Localization of keratins 13 and 14 in the lingual mucosa of rats during the morphogenesis of circumvallate papillae. *Acta Histochemica* **113** : 395–401

Iwasaki S, Aoyagi H and Yoshizawa H (2011) Localization of type II collagen in the lingual mucosa of rats during the morphogenesis of circumvallate papillae. *Acta Zoologica* **92** : 67–74

Tomida M, Nakano K, Matsuura S and Kawakami T (2011) Comparative Examination of Subcutaneous Tissue Reaction to High Molecular Materials in Medical Use. *Eur J Med Res* **16** : 249–52

Tomida M, Nakano K, Sato M, Matsuura S and Kawakami T (2011) Histopathological Examination of Newly-Developed Adhesive Silicone Denture Relining Material. *Eur J Med Res* **16** : 328–30

Nakano K, Tomida M, Sato M, Matsuura M, Yamamoto A, Kasahara E and Kawakami T (2011) Histopathological Safety Evaluation of Newly-Developed MgO Sealer. *Eur J Med Res* **16** : 328–30

## 学会発表

The Joint Meeting of the 88th Annual Meeting of the Physiological Society of Japan and the 116th Annual Meeting of the Japanese Association of

Anatomists. March, 2011

ZO-2 expression during the morphogenesis of the mouse submandibular gland : Matsuura S and Kikuta A (*J Physiol Sci* **61** : S210)

日本動物学会大会 (第82回) 2011年9月

岩礁性両生魚ヨダレカケの窒素代謝産物を利用した体液調節 : 内山 実, 小宮山牧子, 上田雪絵, 吉澤英樹, 今野紀文, 松田恒平 (大会予稿集 : 115, 2011)

カニクイガエル幼生の海水適応における体液浸透圧調節 : 杉浦 駿, 垣内祐貴, 前島 翔, 吉澤英樹, Narin Preyavichyapugdee, Chaitip Wanichanon, 内山 実 (大会予稿集 : 115, 2011)

歯科基礎医学会学術大会 (第53回) 2011年9月

マイクロCTによる軟組織の3D観察 : メッケル軟骨, 耳胞, 心臓, 舌 : 青柳秀一, 土川幸三, 岩崎信一, 吉澤英樹 (*J Oral Biosci* **53**(Suppl) : 180, 2011)

医用高分子材料に対する組織反応の比較検討 : 富田美穂子, 中野敬介, 松浦幸子, 川上敏行 (*J Oral Biosci* **53**(Suppl) : 170, 2011)

新規開発した酸化マグネシウム系材料 MgO Sealer に対する組織反応 : 佐藤将洋, 中野敬介, 富田美穂子, 松浦幸子, 川上敏行 (*J Oral Biosci* **53**(Suppl) : 171, 2011)

新規開発したシリコン系接着性義歯裏装剤に対する皮下組織の反応 : 中野敬介, 富田美穂子, 佐藤将洋, 松浦幸子, 川上敏行 (*J Oral Biosci* **53**(Suppl) : 181, 2011)

## 化学

## 著書

Udagawa N, Yamashita T, Kobayashi Y and Takahashi N (2011) Identification of osteoclasts in culture. In *Embryonic Stem Cell Therapy for Osteo-Degenerative Diseases* (ed. by zur Nieden NI) *Series Methods in Molecular Biology* (series ed. by Walker JM). Humana Press **690** : 273–84

## 論文発表

Nakayama T, Mizoguchi T, Uehara S, Yamashita T, Kawahara I, Kobayashi Y, Moriyama Y, Kurihara S, Sahara N, Ozawa H, Udagawa N and Takahashi N (2011) Polarized osteoclasts put marks of tartrate-resistant acid phosphatase on dentin slices – A simple method for identifying polarized osteoclasts. *Bone* **49** : 1331–9

瀬村江里子, 平岡行博 (2011) 松本歯科大学第2学年学生の学業成績の変化と学習観・学習方略-07年

度から10年度までの第2学年学生を対象として-。松本歯学 **37** : 17-24

ポジウムの報告, 日本物理学会誌 **66** : 128-35

## 学会発表

### 学会発表

日本生化学会大会 (第84回) 2011年9月

歯周病原菌 SOD の活性金属特異性における Gly 155 の役割: 三原正志, 平岡行博, 山倉文幸, 大澤雅樹, 菊池有一郎, 茂木真希雄, 山田一尋 (学会プログラム: p 197)

日本骨代謝学会学術集会 (第29回) 2011年7月

アルクテゲニンは NFATc1 の核移行を促進するが転写活性を抑制する: 山下照仁, 上原俊介, 小林泰浩, 宇田川信之, 高橋直之 (第29回日本骨代謝学会プログラム抄録集: p 211)

生体内における破骨細胞分化機構の解明-M-CSF は c-Fos を介して破骨細胞前駆細胞の RANK 発現を上昇する-: 荒井 敦, 溝口利英, 原田 卓, 武藤昭紀, 小林泰浩, 山下照仁, 保田尚孝, 山田一尋, 宇田川信之, 高橋直之 (第29回日本骨代謝学会プログラム抄録集: p 186)

破骨細胞の極性化指標 TRAP-mark は分泌痕跡である: 中山貴裕, 川原一郎, 上原俊介, 山下照仁, 溝口利英, 小林泰浩, 小澤英浩, 宇田川信之, 高橋直之 (第29回日本骨代謝学会プログラム抄録集: p 239)

松本歯科大学推進研究報告会 2011年8月26日

細胞接着性タンパク質にて修飾した純チタン板上での骨芽細胞の分化メカニズムについて: 洞澤功子, 宇田川信之, 山下照仁, 上原俊介

### 日本学術振興会科学研究費による研究

山下照仁, 高橋直之, 二宮 禎: 抗癌剤アクテゲニンの新しい骨吸収抑制機構の解明 (基盤研究 C)

小林泰浩, 平賀 徹, 高橋直之, 山下照仁, 溝口利英: 矯正治療への応用を目指した Wnt5a による歯槽骨-骨代謝回転制御機構の解明 (基盤研究 B)

宇田川信之, 中道裕子, 小林泰浩, 上原俊介, 山下照仁: 破骨細胞が分泌する新規骨形成誘導因子の同定 (挑戦的萌芽研究)

## 物理学

### その他の学術著作物

田中忠芳 (編著, 分担執筆) (2011) 物理チャレンジ国際物理オリンピック2011年度報告書, 1-78, 特定非営利活動法人物理オリンピック日本委員会, 東京

田中忠芳 (分担執筆) (2011) 2010年秋季大会シン

日本物理学会年次大会 (第66回) 2011年3月 (新潟大学)

2011年国際物理五輪日本代表候補の訓練 (理論研修): 光岡 薫, 波田野 彰, 野添 崇, 伊東敏雄, 興治文子, 川村 清, 北原和夫, 鈴木 亨, 田中忠芳, 並木雅俊, 原田 勲, 村下湧音, 森田悠介, 山田達之輔, 杉山忠男 (日本物理学会講演概要集, 第66巻第1号第2分冊: 426, 2011)

大学初年次物理系教育のための講義・実験モジュールの構築Ⅳ: 田中忠芳, 鍵山茂徳, 江尻有郷, 並木雅俊, 大島和成, 増田裕次 (日本物理学会講演概要集, 第66巻第1号第2分冊: 428, 2011)

大学初年次物理系教育のための e-Learning コンテンツの開発Ⅳ: 鍵山茂徳, 田中忠芳, 江尻有郷, 並木雅俊, 大島和成, 増田裕次 (日本物理学会講演概要集, 第66巻第1号第2分冊: 428, 2011)

日本歯科医学教育学会総会・学術大会および記念大会 (第30回) 2011年7月 (日本歯科大学)

歯学部教育力の評価方法に関する一考察: 王宝禮, 田中忠芳, 宮沢裕夫 (第30回日本歯科医学教育学会総会・学術大会および記念大会プログラム・抄録集: 113, 2011)

日本リメディアル教育学会全国大会 (第7回) 2011年9月 (福岡大学)

大学初年次物理系教育のための講義・実験モジュールの構築と e-Learning コンテンツの開発Ⅲ: 田中忠芳, 鍵山茂徳, 江尻有郷, 並木雅俊, 大島和成, 増田裕次 (日本リメディアル教育学会第7回全国大会発表予稿集: 67-8, 2011)

日本教育工学会全国大会 (第27回) 2011年9月 (首都大学東京)

Hake Plot による教育力評価の可能性: 田中忠芳, 王 宝禮, 宮沢裕夫 (日本教育工学会第27回全国大会講演論文集: 727-8, 2011)

日本物理学会2011年秋季大会 (富山大学) 2011年9月

大学初年次物理系教育のための講義・実験モジュールの構築Ⅴ: 田中忠芳, 鍵山茂徳, 江尻有郷, 並木雅俊, 大島和成, 増田裕次 (日本物理学会講演概要集, 第66巻第2号第2分冊: 353, 2011)

大学初年次物理系教育のための e-Learning コンテンツの開発Ⅴ: 鍵山茂徳, 田中忠芳, 江尻有郷, 並木雅俊, 大島和成, 増田裕次 (日本物理学会講演概要集, 第66巻第2号第2分冊: 353, 2011)

Hake Plot を用いた教育効果評価に関する一考察: 田中忠芳 (日本物理学会講演概要集, 第66巻第2号第2分冊: 361, 2011)

第7回物理チャレンジ (国内コンテスト) 理論問

題と実験課題：江尻有郷，呉屋 博，近藤一史，田中忠芳，中屋敷 勉，鈴木 亨（日本物理学会講演概要集，第66巻第2号第2分冊：365，2011）

#### 日本学術振興会科学研究費補助金による研究

田中忠芳，鍵山茂徳，並木雅俊，江尻有郷，大島和成，増田裕次：大学初年次物理系教育のための講義・実験モジュール構築とeラーニングコンテンツ開発（基盤研究C）

### 言語表現

#### 論文発表

瀬村江里子，平岡行博（2011）松本歯科大学第2学年学生の学業成績の変化と学習観・学習方略-07年度から10年度までの第2学年学生を対象として-。松本歯学 **37**：17-24

#### 学会発表

初年次教育学会大会（第4回）2011年8月  
これからの学士に求められる人材教育-フシンセツ授業という一つの提案-：たなかよしこ，馬場眞知子，小山義徳，河住有希子，長 加奈子，瀬村江里子

### 入門歯科医学

#### 学会発表

松本歯科大学学会（第72回）2011年7月  
RPD実習用4倍大下顎小白歯石膏模型の製作：谷内秀寿，黒岩昭弘，松山雄喜，溝上真也，小町谷美帆

日本歯科医学教育学会（第30回）2011年7月  
歯冠彫刻実習における効果的な教材開発-4倍大模型歯-：谷内秀寿，三溝恒幸，金銅英二

日本補綴歯科学会 2011年10月  
RPD実習用4倍大下顎小白歯石膏模型の製作：谷内秀寿，松山雄喜，小町谷美帆，溝上真也，山口正人，鈴木雄一郎，山口育子，加藤智行，才田真吾，黒岩昭弘

松本歯科大学学会（第73回）2011年11月  
歯槽頂線の記入における検討-ニッシン402L模型-：谷内秀寿，三溝恒幸，岡藤範正，横井由紀子，黒岩昭弘

### 口腔解剖学第1講座

#### 著 書

福田謙一，一戸達也，金子 譲，今村佳樹，瀬尾慶司，金銅英二，他（2011）歯科におけるしびれと痛みの臨床，歯科治療による神経損傷後の感覚神経障害 その対応とメカニズム，初版，クインテッセンス出版株式会社，東京

#### 論文発表

Tadokoro O, Kawahara I, Vandevska-Radunovic V (2011) Reactions of periodontal ligament epithelial cell clusters and OX6-immunopositive cells to experimental tooth movement and periodontitis. J Periodont Res **46**：584-91

安藤 宏，田所 治，浅沼直和，富田美穂子，中村貴美，金銅英二（2011）カエル茸状乳頭におけるNK1およびVPAC1レセプターの免疫組織化学的局在。日本味と匂学会誌 **18**：239-42

#### 学会発表

89th IADR/AADR/CADR General Session & Exhibition in San Diego, USA, March

Epithelial and OX6-immunopositive cells' reactions to tooth movement and periodontitis : Tadokoro O, Kawahara I, Radunovic-Vandevska V. J Dent Res **89** (Spec Iss A) 3654, 2011 (www.dental-research.org)

日本疼痛学会（第33回）2011年7月

下歯槽神経切断モデルラットにおける分子レベルの変化とアロディニア発症の関連：奥村雅代，金銅英二

ORIGIN 神経科学研究会夏のワークショップ（第13回）2011年8月

下歯槽神経切断モデルラットにおけるアロディニアの解析：奥村雅代，金銅英二

日本味と匂学会（第45回）2010年9月

カエル茸状乳頭におけるNK1およびVPAC1レセプターの免疫組織化学的局在：安藤 宏，田所治，浅沼直和，富田美穂，中村貴美，金銅英二（日本味と匂学会第45回大会プログラム・予稿集：p 67）

日本口腔顔面痛学会（第16回）2011年10月

拔牙を余儀なくされた非定型歯痛の一例：金銅英二，山下秀一郎，丹羽 萌，澁谷 徹，前島信也，窪田裕一

日本口腔顔面痛学会（第16回）2011年10月

三叉神経節神経細胞の侵害刺激に伴う非翻訳領域

転写産物の発現上昇の解析：大木絵美，奥村雅代，岡本 望，金銅英二

日本解剖学会中部支部学術集会（第71回）2011年10月

ウシガエル舌におけるVIPとSPおよびPLCB2の局在：田所 治，安藤 宏，浅沼直和，川原一郎，奥村雅代，金銅英二

## 口腔解剖学第2講座

### 論文発表

Hiraga T, Ito S and Nakamura H (2011) Side population in MDA-MB-231 human breast cancer cells exhibits cancer stem cell-like properties without higher bone metastatic potential. *Oncol Rep* **25**: 289-96

Yoneda T, Hata K, Nakanishi M, Nagae M, Nagayama T, Wakabayashi H, Nishisho T, Sakurai T and Hiraga T (2011) Involvement of acidic microenvironment in the pathophysiology of cancer-associated bone pain. *Bone* **48**: 100-5

Yoneda T, Hata K, Nakanishi M, Nagae M, Nagayama T, Wakabayashi H, Nishisho T, Sakurai T and Hiraga T (2011) Molecular events of acid-induced bone pain. *IBMS BoneKEy* **8**: 195-204

Ninomiya T, Hosoya A, Hiraga T, Koide M, Yamaguchi K, Oida H, Arai Y, Sahara N, Nakamura H and Ozawa H (2011) Prostaglandin E(2) receptor EP(4)-selective agonist (ONO-4819) increases bone formation by modulating mesenchymal cell differentiation. *Eur J Pharmacol* **650**: 396-402

Lee JM, Shin JO, Cho KW, Hosoya A, Cho SW, Lee YS, Ryoo HM, Bae SC and Jung HS (2011) Runx 3 is a crucial regulator of alveolar differentiation and lung tumorigenesis in mice. *Differentiation* **81**: 261-8

### 学会発表

BMP研究会（第18回）2011年7月

SUMO化修飾によるBMP応答能の制御：雪田聡（演題番号11）

日本再生歯科医学会（第9回）2011年9月

Thy-1陽性subodontoblastic layer細胞の高い硬組織形成能：細矢明宏，平賀 徹，二宮 禎，雪田聡，吉羽邦彦，吉羽永子，中村浩彰（日本再生歯科医学学会誌 **9**: 55, 2011）

ヒト間葉系幹細胞を用いた歯科用インプラント体表面への細胞接着実験：隈部俊二，中塚美智子，橋本

典也，安 春英，上田甲寅，三上 豊，細矢明宏，黄 宏智，岩井康智（日本再生歯科医学学会誌 **9**: 62, 2011）

ヒト間葉系幹細胞を用いた硬組織形成実験：中塚美智子，隈部俊二，橋本典也，乾 千珠子，岸本直隆，細矢明宏，松田哲史，森下愛子，岩井康智（日本再生歯科医学学会誌 **9**: 69, 2011）

日本歯科保存学会・秋季学会（第133回）2011年10月

ラット臼歯培養系における歯髓組織の変化に関する免疫組織化学的観察：吉羽邦彦，吉羽永子，重谷佳見，金子友厚，細矢明宏，興地隆史（プログラム抄録集：165, 2011）

国際歯科研究学会日本部会（JADR）総会・学術大会（第59回）

Expression of  $\alpha$ -smooth muscle actin in dental pulp wound healing : Yoshida N, Yoshida K, Ohkura N, Shigetani Y, Hosoya A, Nakamura H and Okiji T（演題番号32）

### 日本学術振興会科学研究費による研究

中村浩彰，細矢明宏，二宮 禎，雪田 聡：骨原性細胞の誘導による再生治療の試み（挑戦的萌芽研究）

平賀 徹，細矢明宏，二宮 禎，小林泰浩：骨髄癌幹細胞を核とする癌骨転移の成立・進展メカニズムの解析（基盤研究B）

平賀 徹，二宮 禎，細矢明宏：前骨転移ニッチ仮説に基づく癌の骨選択的転移メカニズムの解析（挑戦的萌芽研究）

細矢明宏：Thy-1陽性歯髓細胞による象牙質再生（若手研究B）

雪田 聡：SUMO化修飾の阻害による骨芽細胞分化促進機構の解明（若手研究B）

小林泰浩，高橋直之，平賀 徹，山下照仁，溝口利英：矯正治療への応用を目指したWnt5aによる歯槽骨-骨代謝回転制御機構の解明（基盤研究B）

山下秀一郎，平賀 徹：骨折治療メカニズムを応用した歯科インプラントにおける新規骨誘導法の開発（基盤研究C）

今村泰弘，雪田 聡，藤波義明，高橋直之：軟組織損傷治療・再生医療を目指した唾液蛋白質ヒスタチンの作用機序解明（基盤研究C）

## 口腔生理学講座

### 論文発表

Na Y, Wang Q, Nakano K, Tomida M, Kawakami T and Zhang Y (2011) L929 cell adhesion on the

surface oxidized NITI Shape memory alloy. *J Hard Tissue Biol* **20** : 51-6

Siar CH, Yeo KB, Nakano K, Nagatsuka H, Tsujigiwa H, Tomida M, Ng KH and Kawakami T (2011) Strawberry gingivitis as the first presenting sign of wegener's granulomatosis : report of a case. *Eur J Med Res* **16** : 1-4

Tomida M, Nakano K, Matsuura S and Kawakami T (2011) Comparative examination of subcutaneous tissue reaction to high molecular materials in medical use. *Eur J Med Res* **16** : 249-52

Tomida M, Nakano K, Sato M, Matsuura S and Kawakami T (2011) Histopathological examination of newly-developed adhesive silicone denture relining material. *Eur J Med Res* **16** : 328-30

Tomida M, Numao H, Yamashita S, Kasahara T, Nakamura T, Ando H, Takamata T and Asanuma N (2011) The factors related with the number of chewing strokes for recognizing taste. *J Oral Biosci* **53** : 338-47

Siar CH, Nakano K, Han PP, Tomida M, Tsujigiwa H, Nagatsuka H, Ng KH and Kawakami T (2011) Co-expression of BMP-2 and -7 in the Tumoral Epithelium of CEOT with Selective BMP-7 Expression in Amyloid Materials. *J Hard Tissue Biology* **20** : 125-32

Siar CH, Kawakami T, Buery RR, Nakano K, Tomida M, Tsujigiwa H, Han PP, Nagatsuka H and Ng NH (2011) Notch signaling and ghost cell fate in the calcifying cystic odontogenic tumor. *Eur J Med Res* **16** : 501-6

Nakano K, Tomida M, Sato M, Matsuura S, Yamamoto A, Kasahara E and Kawakami T (2011) Histopathological safety evaluation of newly-developed MgO sealer. *Eur J Med Res* **16** : 526-30

安藤 宏, 田所 治, 浅沼直和, 富田美穂子, 中村貴美, 金銅英二 (2011) カエル茸状乳頭における NK 1 および VPAC 1 レセプターの免疫組織学的局在. *日本味と匂学会誌* **18** : 239-42

村岡里奈, 辻極秀次, 中野敬介, 片瀬直樹, 玉村亮, 富田美穂子, 岡藤範正, 長塚 仁, 川上敏行 (2011) 移植骨髄由来細胞の歯周組織への移動と細胞分化. *J Hard Tissue Biol* **20** : 301-6

Hashii K, Takamata T, Okada Y, Anzai M, Shoumura M and Nakamura T (2011) Double-Layered mouthguard for patients with upper edentulous jaws. *Int J Sport Dent* **4** : 15-20

鷹股哲也, 橋井公三郎, 岡田芳幸, 中村貴美, 加藤優美子, 安西正明, 正村正仁 (2011) マウスガード材の衝撃荷重時の反発性能に関する実験的研究. *スポーツ歯学* **14** : 39-46

## 学会発表

国際シンポジウム「アジア歯学教育セミナー」(第1回) 2011年2月

松本歯科大学衛生学院における歯科衛生士教育の現状 : 中野敬介, 島田陽子, 富田美穂子, 山本昭夫, 川上敏行

日本生理学会大会 (第88回) 2011年3月

疼痛感受性に及ぼす口腔機能および音楽の影響 : 富田美穂子, 山下秀一郎, 大塚剛郎, 小野塚実, 中村貴美, 安藤 宏, 浅沼直和

The 5<sup>th</sup> Meeting of Asian society of Oral and maxillofacial Pathology 2011年8月

Immunohistochemical observation of Notch signaling in a case of calcifying cystic odontogenic tumor : Kawakami T, Siar CH, Nakano K, Tomida M, Tsujigiwa H and Nagatsuka H

Co-expression of BMP-2 and -7 in the epithelium of calcifying epithelial odontogenic tumor with selective BMP-7 expression in amyloid materials : Tsujigiwa H, Siar CH, Nakano K, Han PP, Tomida M, Nagatsuka H, Ng KH and Kawakami T

Promoting effect of mechanical stress to transplanted bone marrow-derived cell migration into periodontal tissues : Tomida M, Tsujigiwa H, Nakano K, Muraoka R, Nagatsuka H and Kawakami T

歯科基礎医学会 (第53回) 2011年9月

医用高分子材料に対する組織反応の比較検討 : 富田美穂子, 中野敬介, 松浦幸子, 川上敏行

新規開発した酸化マグネシウム系材料 MgO Sealer に対する組織反応 : 佐藤将洋, 中野敬介, 富田美穂子, 松浦幸子, 川上敏行

侵害刺激に対する内因性オピオイドの分泌 : 中村貴美, 富田美穂子, 安藤 宏, 金銅英二, 浅沼直和

新規開発したシリコン系接着性義歯裏装材に対する皮下組織の反応 : 中野敬介, 富田美穂子, 佐藤将洋, 松浦幸子, 川上敏行

日本味と匂学会 (第45回) 2011年10月

カエル茸状乳頭における NK 1 および VPAC 1 レセプターの免疫組織学的局在 : 安藤 宏, 田所治, 浅沼直和, 富田美穂子, 中村貴美, 金銅英二

日本解剖学会中部地方会 (第71回) 2011年10月

ウシガエル舌における VIP と SP および PLC $\beta$  2 の免疫組織化学的局在 : 田所 治, 安藤 宏, 浅沼直和, 川原一郎, 奥村雅代, 金銅英二

日本学術振興会科学研究費補助金による研究

富田美穂子, 安藤 宏, 小野塚実 : 外的環境が疼痛閾値に及ぼす影響 (基盤研究 (C))

岡藤範正, 中野敬介, 富田美穂子, 川上敏行, 辻極

秀次：骨髄幹細胞を用いた歯科矯正学的リモデリングの促進とその分子制御機構の解明（基盤研究（C））

川上敏行，富田美穂子，中野敬介，辻極秀次：骨髄幹細胞移植を用いた口腔の増殖性病変における細胞分化の分子調節機構の解明（基盤研究（C））

中野敬介，富田美穂子，村岡里奈，辻極秀次，川上敏行：骨髄幹細胞を用いた組織修復およびリモデリングの促進とその分子調節機構の解明（基盤研究（C））

## 口腔生化学講座

### 論文発表

Udagawa N, Yamashita T, Kobayashi Y and Takahashi N (2011) Identification of osteoclasts in culture. *Methods Mol Biology* **690** : 273–84

Muto A, Mizoguchi T, Udagawa N, Ito S, Kawahara I, Abiko Y, Arai A, Harada S, Kobayashi Y, Nakamichi Y, Penninger JM, Noguchi T and Takahashi N (2011) Lineage-committed osteoclast precursors circulate in blood and settle down into bone. *J Bone Miner Res* **26** : 2978–90

Nakayama T, Mizoguchi T, Uehara S, Yamashita T, Kawahara I, Kobayashi Y, Moriyama Y, Kurihara S, Sahara N, Ozawa H, Udagawa N and Takahashi N (2011) Polarized osteoclasts put marks of tartrate – resistant acid phosphatase on dentin slices – A simple method for identifying polarized osteoclasts. *Bone* **49** : 1331–9

Takahashi N, Maeda K, Ishihara A, Uehara S and Kobayashi Y (2011) Regulatory mechanism of osteoclastogenesis by RANKL and Wnt signals. *Front Biosci* **16** : 21–30

Ikawa T, Kawaguchi A, Okabe T, Ninomiya T, Nakamichi Y, Nakamura M, Uehara S, Nakamura H, Udagawa N, Takahashi N, Nakamura H and Wakitani S (2011) Hypergravity suppresses bone resorption in ovariectomized rats. *Adv Space Res* **47** : 1214–24

Kariya Y, Honma M, Hanamura A, Aoki S, Ninomiya T, Nakamichi Y, Udagawa N and Suzuki H (2011) Rab27a and Rab27b are involved in stimulation – dependent RANKL release from secretory lysosomes in osteoblastic cells. *J Bone Miner Res* **26** : 689–703

Furuya Y, Mori K, Ninomiya T, Tomimori Y, Tanaka S, Takahashi N, Udagawa N, Uchida K and Yasuda H (2011) Increased bone mass in mice after single injection of anti – receptor activator of nu-

clear factor –  $\kappa$ B ligand – neutralizing antibody : evidence for bone anabolic effect of parathyroid hormone in mice with few osteoclasts. *J Biol Chem* **286** : 37023–31

Oshita K, Yamaoka K, Udagawa N, Fukuyo S, Sonomoto K, Maeshima K, Kurihara R, Nakano K, Saito K, Okada Y, Chiba K and Tanaka Y (2011) Human mesenchymal stem cells inhibit osteoclastogenesis through osteoprotegerin production. *Arthritis Rheum* **63** : 1658–67

Kanzaki S, Takada Y, Niida S, Takeda Y, Udagawa N, Ogawa K, Nango N, Momose A and Matsuo K (2011) Impaired vibration of auditory ossicles in osteopetrotic mice. *Am J Pathol* **178** : 1270–8

Hashiguchi D, Fukushima H, Nakamura M, Morikawa K, Yasuda H, Udagawa N, Maki K and Jimi E (2011) Mineral trioxide aggregate solution inhibits osteoclast differentiation through the maintenance of osteoprotegerin expression in osteoblasts. *J Biomed Mater Res* **96A** : 358–64

Fukasawa KM, Hata T, Ono Y and Hirose J (2011) Metal Preferences of Zinc – Binding Motif on Metalloproteases. *J. Amino Acids* **2011** : 1–7

### その他学術著作物

中村美どり，宇田川信之（2011）骨粗鬆症とRANKL シグナル. *Clinical Calcium* **8** : 1149–55

### 特別講演

愛知学院大学歯学会 2011年7月

顎骨の再生は可能か？：宇田川信之

日本骨代謝学会 Meet-the-Experts（第29回）2011年7月

破骨細胞の起源とその分化メカニズム：宇田川信之

歯科基礎医学会サテライトシンポジウム（第53回）2011年9月

歯槽骨再生を目指した破骨細胞・骨芽細胞・歯髄細胞・骨髄細胞に関する研究：宇田川信之

1<sup>st</sup> Bio-Rheumatology International Congress Tokyo 8<sup>th</sup> GARN Meeting Tokyo 2011年11月

Osteoclastic bone resorption directly activates osteoblast function : Udagawa N

町田市歯科医師会学術講演会 2011年11月

経口ビスフォスフォネート製剤関連顎骨骨髄炎・顎骨壊死 – その現状と問題点 – : 宇田川信之

## 学会発表

松本ボーンフォーラム (第10回) 2011年5月27日  
 歯髄細胞が有する高い骨再生能力：宇田川信之  
 金属の関与する生体関連反応シンポジウム (第21回) 2011年5月30日～31日

Homology Modeling Study on the Active Site of rat Dipeptidyl Peptidase III : Hata T, Fukasawa KM, Hirose J and Ono Y (抄録集 : P 4)

松本歯科大学学会例会 (第72回) 2011年7月9日  
 in vivo における破骨細胞分化機構の解析-M-CSF は c-Fos を介し前駆細胞の RANK を上昇する : 荒井 敦, 溝口利英, 小林泰浩, 山下照仁, 山田一尋, 宇田川信之, 高橋直之

日本骨代謝学会学術集会 (第29回) 2011年7月28～30日

生体内における破骨細胞分化機構の解明-M-CSF は c-Fos を介して破骨細胞前駆細胞の RANK 発現を上昇する- : 荒井 敦, 溝口利英, 原田 卓, 武藤昭紀, 小林泰浩, 山下照仁, 保田尚孝, 山田一尋, 宇田川信之, 高橋直之 (プログラム抄録集 : p 186)

アルクテゲニンは NFATc1 の核移行を促進するが転写活性を抑制する : 山下照仁, 上原俊介, 小林泰浩, 宇田川信之, 高橋直之 (プログラム抄録集 : p 211)

c-Fos 遺伝子欠損マウスを用いた BMP 誘導性異所性骨形成に関する解析 : 中村美どり, 二宮 禎, 溝口利英, 荒井 敦, 高橋直之, 宇田川信之 (プログラム抄録集 : p 212)

歯髄細胞の有する顕著な骨再生能力は, annexin A8 を介して発揮される : 中道裕子, 萩原貴寛, 中村美どり, 高橋直之, 宇田川信之 (プログラム抄録集 : p 215)

Eldecalcitol (ED-71) は海綿骨における RANKL の発現を抑制し, 骨密度を増加させる : 原田 卓, 溝口利英, 中道裕子, 小林泰浩, 武田 聡, 坂井貞興, 高橋文明, 斎藤一史, 保田尚孝, 宇田川信之, 須田立雄, 高橋直之 (プログラム抄録集 : p 237)

破骨細胞の極性化指標 TRAP-mark は分泌痕跡である : 中山貴裕, 川原一郎, 上原俊介, 山下照仁, 溝口利英, 小林泰浩, 小澤英浩, 宇田川信之, 高橋直之 (第29回日本骨代謝学会プログラム抄録集 : p 239, P 1-37, 2011)

松本歯科大学推進研究報告会 2011年8月26日

細胞接着性タンパク質にて修飾した純チタン板上での骨芽細胞の分化メカニズムについて : 洞澤功子, 宇田川信之, 山下照仁, 上原俊介

33<sup>rd</sup> American Society for Bone and Mineral Research (ASBMR) Annual Meeting 2011年9月16～20日

Dental Pulp Cells Exhibit High Performance as a Biomaterial for Bone Formation Through Express-

sion of Annexin A8 : Nakamichi Y, Hagihara T, Nakamura M, Imaoka A, Abiko Y, Nakamura H, Takahashi N and Udagawa N (Abstract web PDF : p. S414)

Daily administration of Eldecalcitol (ED-71), an active vitamin D analog, increases bone mineral density by suppressing RANKL expression in mouse trabecular bone : Harada S, Mizoguchi T, Nakamichi Y, Kobayashi Y, Takeda S, Sakai I S, Takahashi I F, Saito H, Yasuda H, Udagawa N, Suda T and Takahashi N (Abstract web PDF : p. S238)

Polarized Osteoclasts Put Marks of Tartrate-Resistant Acid Phosphatase on Dentin Slices - A Simple Method for Identifying Polarized Osteoclasts : Nakayama T, Mizoguchi T, Uehara S, Yamashita T, Kawahara I, Udagawa N and Takahashi N (Abstract web PDF : p. S467)

IOF Regionals 2<sup>nd</sup> Asia-Pacific Osteoporosis and Bone Meeting ANZBMS Annual Scientific Meeting, with JSBMR (第2回アジア太平洋骨粗鬆症学会) 2011年9月4～8日

c-Fos plays an essential role in up-regulation of RANK expression in osteoclast precursors : Arai A, Mizoguchi T, Kobayashi Y, Yamashita T, Yamada K, Penninger J M, Udagawa N and Takahashi N (第2回アジア太平洋骨粗鬆症学会プログラム抄録集 : p 538)

BMP-induced ectopic bone formation in c-Fos-deficient mice : Nakamura M, Ninomiya T, Mizoguchi T, Arai A, Takahashi N and Udagawa N (第2回アジア太平洋骨粗鬆症学会プログラム抄録集 : p 640)

松本歯科大学学会例会 (第73回) 2011年11月12日

Eldecalcitol (ED-71) は海綿骨における RANKL の発現を抑制し骨密度を増加させる : 原田 卓, 高橋直之, 溝口利英, 中道裕子, 小林泰浩, 宇田川信之

## 日本学術振興会科学研究費補助金による研究

宇田川信之, 小出雅則, 中村美どり, 中道裕子, 上原俊介 : 歯槽骨破壊を阻止するための新規治療法開発の基礎研究 (基盤研究 B)

宮沢裕夫, 中村浩志, 中村美どり, 中道裕子, 宇田川信之 : 歯髄細胞による硬組織再生機構の解明 (基盤研究 B)

中村美どり, 宮沢裕夫, 中村浩志, 中道裕子, 宇田川信之 : 歯髄・歯根膜細胞を用いた顎骨再生医療を目指した基礎研究 (基盤研究 C)

高橋直之, 小林泰浩, 上原俊介, 宇田川信之 : 破骨細胞の波状縁形成を誘導する Wnt-Ror 2 シグナル

(挑戦的萌芽研究)

宇田川信之, 中道裕子, 小林泰浩, 上原俊介, 山下照仁: 破骨細胞が分泌する新規骨形成誘導因子の同定 (挑戦的萌芽研究)

中村浩志, 宮沢裕夫, 中村美どり, 八上公利, 宇田川信之, 中道裕子: 唇顎口蓋裂児に対する骨再生と口腔インプラントに関する基礎的研究 (基盤研究 C)

#### その他の研究助成

宇田川信之: 株式会社ヨシオカとの共同研究 (医療用口腔インプラントに関する研究)

### 歯科薬理学講座

#### 論文発表

Hattori T, Ara T and Fujinami Y (2011) Pharmacological evidences for the stimulation of calcium-sensing receptors by nifedipine in gingival fibroblasts. *J Pharmacol Pharmacother* **2**: 30-5

Fujinami Y, Nakano K, Ueda O, Ara T, Hattori T, Kawakami T and Wang PL (2011) The dental caries area of rat molar was expanded by cigarette smoke exposure. *Caries Res* **45**: 561-7

Imamura Y, Aoki H, Oomori Y, Miyazawa H and Wang P-L (2011) Polymorphisms of the mannose-binding lectin gene *MBL* in periodontitis in patients with Down syndrome. *Pediatr Dent J* **21**: 17-23

Komazaki Y, Imamura Y, Yamada K and Wang P-L (2011) Preliminary evidence of an association between the Interleukin-13 gene polymorphisms and periodontal disease in the Japanese population. *J Hard Tissue Biol* **20**: 1-6

橋本洋幸, 荒 敏昭, 藤波義明, 服部敏己, 王宝禮, 宮沢裕夫 (2011) 血液凝固系に対する田七の作用. *松本歯学* **36**: 9-16

瀧澤 努, 藤波義明, 荒 敏昭, 今村泰弘, 宮澤裕夫, 王 宝禮 (2011) 漢方煎薬の電子レンジ抽出法によるエキス含量とグリチルリチン酸濃度比較研究. *日本歯科東洋医学会誌* **30**: 25-7

#### 学会発表

日本薬理学会年会 (第84回) 2011年 3月

歯肉線維芽細胞における TRP チャネルに対するニフェジピン作用: 服部敏己, 荒 敏昭, 藤波義明 (*J Pharmacol Sci* **115** (Suppl): 220, 2011)

歯科基礎医学会学術大会ならびに総会 (第53回)

2011年10月

歯肉線維芽細胞におけるニフェジピンと TRPV1 チャネルとの関係: 服部敏己, 荒 敏昭 (*J Oral Biosci* **53** (Suppl): 198, 2011)

V8 プロテアーゼ刺激による A549細胞のプロスタグランディン E<sub>2</sub>産生: 平井 要, 菊池有一郎, 上田青海, 柴田幸永, 荒 敏昭, 服部敏己, 平岡行博, 加藤哲男, 石原和幸, 藤村節夫 (*J Oral Biosci* **53** (Suppl): 202, 2011)

IL-8 遺伝子プロモーター中の新規一塩基多型の転写制御と慢性歯周炎患者における一塩基多型解析: 青木伯永, 今村泰弘, 宮沢裕夫, 王 宝禮

唾液ヒスタチンによる熱ショック蛋白質の TLR 2 シグナル活性化抑制: 今村泰弘, 王 宝禮

日本小児歯科学会大会 (第49回) 2011年11月

乳歯列期重度齲蝕症と β-ディフェンシン 1 遺伝子の一塩基多型解析: 青木伯永, 今村泰弘, 岩崎 浩, 王 宝禮, 宮沢裕夫

#### 日本学術振興会科学研究費による研究

服部敏己, 荒 敏昭: 薬物誘発性歯肉増殖症の発症メカニズムの解明および治療薬の探索 (基盤研究 C, 継続)

今村泰弘: 軟組織損傷治療・再生医療を目指した唾液蛋白質ヒスタチンの作用機序解明 (基盤研究 C)

### 口腔細菌学講座

#### 論文発表

Fujinami Y, Nakano K, Ueda O, Ara T, Hattori T, Kawakami T and Wang PL (2011) The dental caries area of rat molar was expanded by cigarette smoke exposure. *Caries Res* **45**: 561-7

#### 学会発表

歯科基礎医学会学術大会 (第53回) 2011年 9月

V8 プロテアーゼ刺激による A549細胞のプロスタグランディン E<sub>2</sub>産生: 平井 要, 菊池有一郎, 上田青海, 柴田幸永, 荒 敏昭, 服部敏己, 平岡行博, 加藤哲男, 石原和幸, 藤村節夫 (*J Oral Biosci* **53** (Suppl): 202, 2011)

日本細菌学会総会 (第84回) 2011年 9月

Roles of the extracytoplasmic function sigma factors in *Porphyromonas gingivalis*: Kikuchi Y, Onozawa S, Kiso A, Miyashita M, Ueda O, Hirai K, Shibata Y, Ohara N, Nakayama K and Fujimura S (*日本細菌学雑誌* **66**: 440, 2011)



## 口腔病理学講座

## 著 書

Kawakami T, Nakano K, Sjimizu T, Kimura A, Okafuji N, Tsujigiwa H, Hasegawa H and Nagatsuka H (2011) Chapter 5 : Histopathological and immunohistochemical background of orthodontic treatment. In Berhardt LV ed : *Advances in Medicine and Biology Volume 18*, p 63–88, Nova Science Publishers, New York, USA ; Hardcover. ISBN : 978–1–61122–791–8 ; ebook, ISBN : 978–1–61209–495–3

落合隆永, 久保勝俊, 国分麻佑, 田中昭男, 谷口邦久, 中野敬介, 西川哲成, 長谷川博雅, 前田初彦, 益野一哉, 和唐雅博 (2011) 新・衛生士教育マニュアル 病理学. 田中昭男, 谷口邦久, 長谷川博雅, 前田初彦 編集, クインテッセンス出版株式会社, 東京

## 論文発表

Takagi K, Takayama T, Nagase H, Moriguchi M, Wang X, Hirayanagi K, Suzuki T, Hasegawa H, Ochiai T, Yamaguchi N, Kochi M, Kimura M and Esumi M (2011) High TSC22D3 and low GBP 1 expression in the liver is a risk factor for early recurrence of hepatocellular carcinoma. *Exp Ther Med* 2 : 425–41

Tomida M, Nakano K, Matsuura S and Kawakami T (2011) Comparative examination of subcutaneous tissue reaction to high molecular materials in medical use. *Eur J Med Res* 16 : 249–52

Muraki E, Nakano K, Maeda H, Takayama M, Jinno M, Kubo K, Yoshida W, Hasegawa H and Kawakami T (2011) Immunohistochemical localization of Notch signaling molecules in ameloblastomas. *Eur J Med Res* 16 : 253–7

Liu H, Xiao J, Zhong W, Wang L, Qi M, Ying X, Nakano K, Kawakami T and Ma Guown (2011) In vitro behavior of bacteria on fluoride ion-coated titanium : with special regards on porphyromonas gingivaris. *J Hard Tissue Biol* 20 : 47–52

Na Y, Wang Q, Nakano K, Tomida M, Kawakami T and Zhang Y (2011) L929 cell adhesion on the surface oxidized shape memory alloy. *J Hard Tissue Biol* 20 : 53–8

Tomida M, Nakano K, Sato M, Matsuura S and Kawakami T (2011) Histopathological examination of newly-developed adhesive silicone denture relining material. *Eur J Med Res* 16 : 328–30

Siar CH, Yeo KB, Nakano K, Nagatsuka H, Tsujigiwa H, Tomida M, Ng KH and Kawakami T (2011) Strawberry gingivitis as the first presenting sign of Wegener's granulomatosis : Report of a case. *Eur J Med Res* 16 : 331–4

Siar CH, Nakano K, Han PP, Tomida M, Tsujigiwa H, Nagatsuka H, Ng KH and Kawakami T (2011) Co-expression of BMP-2 and -7 in the tumoral epithelium of CEOT with selective BMP-7 expression in amiloid materials. *J Hard Tissue Biol* 20 : 125–32

Tsujigiwa H, Katase N, Sathi GA, Buery RR, Hirata Y, Kubota M, Nakano K, Kawakami T and Nagatsuka H (2011) Transplanted bone marrow derived cells differentiated to tooth, bone and connective tissues in mice. *J Hard Tissue Biol* 20 : 147–52

Saito S, Nakano K, Nabeyama A, Sato M, Okafuji N, Yamamoto A, Kasahara E and Kawakami T (2011) Immunohistochemical expression of heat shock protein 27 in the mouse dental pulp after immediate teeth separation. *Eur J Med Res* 16 : 495–500

Siar CH, Kawakami T, Buery RR, Nakano K, Tomida M, Tsujigiwa H, Han PP, Nagatsuka H and Ng KH (2011) Notch signaling and ghost cell fate in the calcifying cistic odontogenic tumor. *Eur J Med Res* 16 : 501–6

Nabeyama A, Nakano K, Saito S, Sato M, Okafuji N, Yamamoto A, Kasahara E and Kawakami T (2011) Immunohistochemical expression of hard tissue related factors in the mouse pulp after immediate teeth separation. *Eur J Med Res* 16 : 507–13

Fijinami Y, Nakano K, Ueda O, Ara T, Hattori T, Kawakami T and Wang PL (2011) Dental caries area of rat molar expanded by cigarette smoke exposure. *Caries Res* 45 : 561–7

Nakano K, Tomida M, Sato M, Matsuura S, Yamamoto A, Kasahara E and Kawakami T (2011) Histopathological safety evaluation of newly-developed MgO sealer. *Eur J Med Res* 16 : 526–30

Zhang G, Nakano K, Honda Y, Wang X, Wang M, Xu Y and Kawakami T (2011) Expression of TRAF 6 mRNA on the resorbed surface of deciduous teeth root. *J Hard Tissue Biol* 20 : 177–84

村岡理奈, 中野敬介, 松田浩和, 共田真紀, 岡藤範正, 山田一尋, 川上敏行 (2011) 実験的歯科矯正力により歯根膜組織に発現する HSP70 の役割に関する一考察. *J Hard Tissue Biol* 20 : 275–82

藤田宗輝, 中野敬介, 前田初彦, 吉田和加, 鳥居亮太, 吉山昌典, 岡藤範正, 長谷川博雅, 川上敏行

(2011) エナメル上皮腫における HSP27 の免疫組織化学的観察. *J Hard Tissue Biol* **20** : 289-94

佐藤将洋, 中野敬介, 斉藤進之介, 鍋山篤史, 岡藤範正, 山本昭夫, 笠原悦男, 長谷川博雅, 川上敏行 (2011) Chromogranin A のマウス歯髄と歯周組織における発現. *J Hard Tissue Biol* **20** : 295-300

村岡理奈, 辻極秀次, 中野敬介, 片瀬直樹, 玉村亮, 富田美穂子, 岡藤範正, 長塚 仁, 川上敏行 (2011) 移植骨髄由来細胞の歯周組織への移動と細胞分化. *J Hard Tissue Biol* **20** : 301-6

岡藤範正, 中野敬介, 山本貴子, 魚住智子, 横井由紀子, 安東信行, 大須賀直人, 西川康博 (2011) 実験的外傷ストレスを負荷した歯周組織変化-歯科矯正学的視点からの検討-. *日外歯誌* **7** : 25-31

山田信一郎, 内田啓一, 三木 学, 落合隆永, 杉野紀幸, 長内 秀, 望月慎恭, 黒岩博子, 藤木知一, 吉成伸夫, 田口 明 (2011) CT 検査および超音波検査において sediment level が疑われた鼻歯槽嚢胞の 1 例. *日口診誌* **24** : 250-4

#### その他の学術出著作物

中野敬介, 島田陽子, 富田美穂子, 山本昭夫, 川上敏行 (2011) 松本歯科大学衛生学院における歯科衛生士教育の現状. *Proceedings : International Symposium of Dental Education in Okayama (1<sup>st</sup> Asian Dental Education Seminar)* 101-6

#### 学 会 発 表

International Symposium of Dental Education in Okayama (1<sup>st</sup> Asian Dental Education Seminar), Okayama, February, 2011

Current state of education at Matsumoto Dental University School of Dental Hygienists : Nakano K, Shimada Y, Tomida M, Yamamoto A and Kawakami T (Proceedings 101-6)

日本病理学会総会 (第100回) 2011年 4 月

唾液腺腫瘍と非腫瘍性唾液腺病変における GBP-1 の発現 : 落合隆永, 長谷川博雅 (*日病会誌* **100** : 460, 2011)

Calcifying cystic odontogenic tumor の 1 症例 : Notch とその関連因子の検討 : 中野敬介, 辻極秀次, 長塚 仁, 川上敏行 (*日病会誌* **100** : 466, 2011)

口腔粘膜の境界悪性病変におけるデスモゾームタンパク質の異所性局在 : 長谷川博雅, 木村晃大, 落合隆永 (*日病会誌* **100** : 467, 2011)

松本歯学会 (第72回) 2011年 7 月

CT 検査および超音波検査において sediment level が疑われた鼻歯槽嚢胞の 1 例 : 山田真一郎, 田口明, 内田啓介, 落合隆永, 杉野紀幸, 長内 秀, 望月

慎恭 (松本歯学 **37**)

硬組織再生生物学会総会 (第20回) 2011年 8 月

実験的歯間分離によりマウス歯髄に発現する硬組織関連因子 : 鍋山篤史, 中野敬介, 斉藤進之介, 佐藤将洋, 岡藤範正, 山本昭夫, 笠原悦男, 川上敏行 (抄録集 : p 23 ; *J Hard Tissue Biol* **20** : 268, 2011)

メカニカルストレスによるマウス歯根膜組織における Osterix の免疫組織化学的発現 : 松田浩和, 村岡理奈, 共田真紀, 中野敬介, 山田一尋, 川上敏行 (抄録集 : p 24 ; *J Hard Tissue Biol* **20** : 268, 2011)

メカニカルストレスが引き起こすマウス歯根膜組織における HSP27 の発現変化 : 村岡理奈, 中野敬介, 松田浩和, 共田真紀, 岡藤範正, 山田一尋, 川上敏行 (抄録集 : p 25 ; *J Hard Tissue Biol* **20** : 268, 2011)

マウス歯周組織におけるメカニカルストレスによる HSP27 の免疫組織化学的推移 : 共田真紀, 村岡理奈, 中野敬介, 松田浩和, 山田一尋, 川上敏行 (抄録集 : p 26 ; *J Hard Tissue Biol* **20** : 269, 2011)

Annual meeting of the Japanese society of oral pathology (22<sup>th</sup>)/Meeting of Asian Society of Oral and Maxillofacial Pathology (5<sup>th</sup>), Fukuoka, August, 2011

Immunohistochemical localization of Notch signaling molecules in ameloblastomas : Kubo K, Nakano K, Maeda H, Takayama M, Jinnno M, Yoshida W, Hasegawa H and Kawakami T (Abstract Book : p 118 ; *Oral Med Pathol* **16** : 34, 2011)

Immunohistochemical observation of Notch signaling in a case of calcifying cystic odontogenic tumor : Kawakami T, Siar CJ, Nakano K, Tomida M, Tsujigiwa H and Nagatsuka H (Abstract Book : p 119 ; *Oral Med Pathol* **16** : 35, 2011)

Differential expression of Notch receptors and their ligands in calcifying epithelial odontogenic tumors : Siar CH, Chuah KS, Nakano K, Rivera RS, Tsujigiwa H, Nagatsuka H, Ng KH and Kawakami T (Abstract Book : p 120 ; *Oral Med Pathol* **16** : 35, 2011)

Co-expression of BMP-2 and -7 in the epithelium of calcifying epithelial odontogenic tumor with BMP-7 expression in amyloid materials : Tsujigiwa H, Siar CH, Nakano K, Han PP, Tomida M, Nagatsuka H, Ng KH and Kawakami T (Abstract Book : p 121 ; *Oral Med Pathol* **16** : 36, 2011)

Cytokeratin expression in oral epithelial hyperplasia : Ochiai T and Hasegawa H (Abstract Book : p 127 ; *Oral Med Pathol* **16** : 36, 2011)

Immunohistochemical expression of HSP27 in the mouse periodontal tissues due to orthodontic mechanical stress : Muraoka R, Nakano K and

Kawakami T (Abstract Book : p 165 ; Oral Med Pathol **16** : 45, 2011)

Promoting effect of mechanical stress to transplanted bone marrow-derived cell migration into periodontal tissues : Tomida M, Tsujigiwa H, Nakano K, Muraoka R, Nagatsuka H and Kawakami T (Abstract Book : p 166 ; Oral Med Pathol **16** : 45, 2011)

Strawberry gingivitis as the first presenting sign of Wegener's granulomatosis : Report of a case : Nakano K, Siar CH, Ywo KB, Nagatsuka H, Tsujigiwa H, Ng KH and Kawakami T (Abstract Book : p 167 ; Oral Med Pathol **16** : 31, 2011)

Notch signaling proteins in primary and recurrent chondrosarcoma of the jaw : A case report : Ng KH, Siar CH, Aung LO, Nakano K, Tsujigiwa H, Nakatsuka H and Kawakami T (Abstract Book : p 168 ; Oral Med Pathol **16** : 31-32, 2011)

The American Society for Bone and Mineral Research Annual Meeting (35<sup>th</sup>), San Diego, USA, September, 2011

Regulation of bone homeostasis by transcription factor Epiprotein. Nakamura T, Okabe T, Ochiai T, Koyama E, Iwamoto M, Fukumoto S, Pacifici M, Iwamoto M and Yamada Y (Abstract book : S175)

歯科基礎医学会 (第53回) 2011年 9月

医用高分子材料に対する組織反応の比較検討 : 富田美穂子, 中野敬介, 松浦幸子, 川上敏行 (J Oral Biosci **53**(S) : 170, 2011)

新規時開発した酸化マグネシウム系材料 MgO Sealer に対する組織反応 : 佐藤将洋, 中野敬介, 富田美穂子, 松浦幸子, 川上敏行 (J Oral Biosci **53**(S) : 171, 2011)

新規開発したシリコン系接着性義歯裏装材に対する皮下組織の反応 : 中野敬介, 富田美穂子, 佐藤将洋, 松浦幸子, 川上敏行 (J Oral Biosci **53**(S) : 181, 2011)

口腔粘膜上皮の過形成病変におけるデスモゾームタンパク質の局在 : 落合隆永, 長谷川博雅 (J Oral Biosci **53**(S) : 181, 2011)

矯正学的牽引側歯根膜に発現する HSP27 の骨芽細胞分化誘導の分子シャペロンとしての可能性 : 村岡理奈, 中野敬介, 松田浩和, 共田真紀, 岡藤範正, 山田一尋, 川上敏行 (J Oral Biosci **53**(S) : 183, 2011)

マウス歯周組織における矯正学的メカニカルストレスによる HSP27 の免疫組織化学的推移 : 共田真紀, 村岡理奈, 中野敬介, 松田浩和, 山田一尋, 川上敏行 (J Oral Biosci **53**(S) : 185, 2011)

矯正学的メカニカルストレスによるマウス歯根膜組織における Osterix の発現 : 松田浩和, 村岡理奈, 共田真紀, 中野敬介, 岡藤範正, 山田一尋, 川上敏行

(J Oral Biosci **53**(S) : 185, 2011)

Asian-Pacific HPBA Biennial Congress (3rd), Melbourne, Australia, September, 2011

Fujikawa H, Ito K, Tsutsumi N, Inami M, Komatsu M, Mimatsu K, Kano H, Oida T, Matsuoka S, Moriyama M and Hasegawa H : Spontaneous Regression of Hepatocellular Carcinoma. HPB (Oxford). (Suppl) **3** : 117

Fujikawa H, Ishibashi M, Tukune Y, Oida T, Sasano H, Hasegawa H, Matsuoka S and Moriyama M : A case of non functioning metastatic neuroendocrine tumor treated with octreotide LAR. HPB (Oxford). (Suppl) **3** : 202

Fujikawa H, Ito K, Tsutsumi N, Inami M, Komatsu M, Fukino N, Mimatsu K, Kano H, Oida T, Matsuoka S, Moriyama M and Hasegawa H : Long-term survival with gemcitabine chemotherapy for a patient with unresectable pancreatic cancer. HPB (Oxford). (Suppl) **3** : 203

日本矯正歯科学会大会 (第70回, 第4回国際会議) 2011年10月

メカニカルストレスの引き起こすマウス歯周組織における HSP27 の免疫組織化学的推移 : 共田真紀, 村岡理奈, 中野敬介, 松田浩和, 山田一尋, 川上敏行 (プログラム・抄録集 : p 232)

歯科矯正力が引き起こすマウス歯根膜細胞における HSP27 の免疫組織化学的発現変化 : 村岡理奈, 中野敬介, 松田浩和, 共田真紀, 岡藤範正, 山田一尋, 川上敏行 (プログラム・抄録集 : p 233)

歯科矯正学的メカニカルストレスによるマウス歯根膜組織における Osterix の発現 : 松田浩和, 村岡理奈, 共田真紀, 中野敬介, 山田一尋, 川上敏行 (プログラム・抄録集 : p 235)

## 日本学術振興会科学研究費補助金による研究

中野敬介, 川上敏行, 辻極秀次, 富田美穂子, 村岡理奈 : 骨髄幹細胞を用いた組織修復およびリモデリングの促進とその分子調節機構の解明 (基盤研究 C)

川上敏行, 中野敬介, 富田美穂子, 辻極秀次 : 骨髄幹細胞移植を用いた口腔の増殖性病変における細胞分化の分子調節機構の解明 (基盤研究 C)

岡藤範正, 中野敬介, 富田美穂子, 川上敏行, 辻極秀次 : 骨髄幹細胞を用いた歯科矯正学的リモデリングの促進とその分子調節機構の解明 (基盤研究 C)

落合隆永 : ヘッジホッグ伝達変異に関連する頭蓋底軟骨結合形成不全の分子機構の解明 (若手研究 B)

## 歯科理工学講座

## 論文発表

市川博彰, 谷口哲也, 江黒 徹, 永沢 栄, 伊藤 充雄 (2011) インプラント材としてのチタンおよびチタン合金の機械的性質. 日本口腔インプラント誌 **24**: 207-14

## 学会発表

IADR General Session, San Diego, USA 2011年3月

Dental education using 3D tooth voxel models : Yoshida T, Tamura K, Kawase Y, Nagasawa S, Ito M and Platt JA (Abstract USB memory, 2011)

日本歯科保存学会学術大会 (第134回) 2011年6月  
アナターゼ型二酸化チタンの光触媒作用の解析 (第5報): 佐藤将洋, 大石真太郎, 河瀬雄治, 内山真紀子, 安西正明, 内田啓一, 音琴淳一, 山本昭夫, 笠原悦男 (日本歯科保存学会学術大会プログラムおよび講演抄録集133回: 139, 2011)

日本歯科保存学会学術大会 (第134回) 2011年6月  
歯科保存領域におけるMRIの画像検査の有用性-診断が困難であった角化嚢胞性歯原性腫瘍の1症例-: 河瀬雄治, 内田啓一, 山口祐美, 三木 学, 内山真紀子, 佐藤将洋, 吉成伸夫, 田口 明, 山本昭夫, 笠原悦男 (日本歯科保存学会学術大会プログラムおよび講演抄録集134回: 141, 2011)

日本歯科保存学会学術大会 (第134回) 2011年6月  
マイクロバブルオゾン水の口腔細菌に対する効果: 河瀬雄治, 平井 要, 佐藤将洋, 吉田貴光, 内田啓一, 永沢 栄, 伊藤充雄, 山本昭夫, 笠原悦男 (日本歯科保存学会学術大会プログラムおよび講演抄録集134回: 144, 2011)

日本口腔インプラント学会 (第41回) 2011年9月  
歯科用インプラントに用いられているチタン及びチタン合金の曲げ荷重特性: 松江正芳, 小室美樹, 羽倉隆昌, 永沢 栄, 伊藤充雄 (日本口腔インプラント学会誌 **24**: 285, 2011)

日本歯科理工学会 (第58回) 2011年10月  
インプラント体に掛かる咬合力とネジの緩みに関する研究: 永沢 栄, 河瀬雄治, 竹内 賢, 小野 擴仁, 山倉和典 (歯科材料・器械 **30**: 305, 2011)

日本歯科保存学会学術大会 (第135回) 2011年10月  
Cone-Beam-CTによる難治性根尖性歯周炎の診断: 河瀬雄治, 内田啓一, 田口 明, 山本昭夫, 吉成伸夫, 山口祐美, 内山真紀子, 佐藤将洋, 笠原悦男, 永沢 栄 (日本歯科保存学会学術大会プログラムおよび講演抄録集135回: 181, 2011)

## 日本学術振興会科学研究費による研究

洞沢功子: 金属アレルギーの原因物質アレルギーンの回転リングディスク電極法による解明 (挑戦的萌芽研究)

## 口腔衛生学講座

## 論文発表

Kato T, Ana M. Verry, Nakane T, Masuda Y and Maki S (2011) Age is associated with self-reported sleep bruxism, independently of tooth loss. Sleep Breath (online press)

牧 茂, 矢ヶ崎 雅, 八上公利, 川原一郎, 笠原香, 中根 卓, 定岡 直, 小口久雄 (2011) 歯科保健条例についての研究 内容の検討, 制定の背景と理念法としての構築. 松本歯学 **37**: 89-96

Tadokoro O, Kawahara I, Vandeyska-Radunovic V (2011) Reactions of periodontal ligament epithelial cell clusters and OX6-immunopositive cells to experimental tooth movement and periodontitis. J Periodontal Res **46**: 584-91

Muto A, Mizoguchi T, Udagawa N, Ito S, Kawahara I, Abiko Y, Arai A, Harada S, Kobayashi Y, Nakamichi Y, Penninger JM, Noguchi T and Takahashi N (2011) Lineage-committed osteoclast precursors circulate in blood and settle down into bone. J Bone Miner Res **26**: 2978-90

## その他

市民タイムス 研究室訪問 5月19日刊

## 学会発表

日本口腔科学会学術集会 (第65回) 2011年4月  
陽イオン処理チタンインプラントに対する骨芽細胞分化および骨形成過程の生化学的, 組織化学的検討: 八上公利, 定岡 直, 宇田川信之, 牧 茂, 村上広樹

甲信越北陸口腔保健研究会総会 (第22回) 2011年7月

ヒト歯根膜線維芽細胞とChromograninAとの関連性について: 定岡 直, 八上公利, 川原一郎, 笠原香, 中根 卓, 小口久雄, 牧 茂

歯科基礎医学会学術大会 (第53回) 2011年9月  
ヒト歯根膜線維芽細胞とChromograninAとの関連性について: 定岡 直, 八上公利, 川原一郎, 笠原香, 中根 卓, 牧 茂

日本口腔衛生学会総会 (第60回) 2011年10月

化学的ストレスにより歯根膜線維芽細胞が発現するストレス反応性タンパクについて：定岡 直，八上公利，川原一郎，笠原 香，中根 卓，小口久雄，牧 茂

Oligonol の *streptococcus mutans* および *Porphyromonas gingivalis* に対する作用の検討：八上公利，平井 要，定岡 直，川原一郎，笠原 香，中根 卓，小口久雄，牧 茂

歯科診療におけるメタクリル酸モノマー曝露について：笠原 香，定岡 直，八上公利，川原一郎，中根 卓，小口久雄，牧 茂

日本外傷歯学会総会・学術大会（第11回）2011年11月

本学大学病院小児歯科外来における口腔外傷患者の実態調査：中村浩志，犬塚勝昭，中村美どり，定岡直，大須賀直人，宮沢裕夫

89th IADR/AADR/CADR General Session & Exhibition in San Diego, USA, March

Epithelial and OX6-immunopositive cells' reactions to tooth movement and periodontitis : Tadokoro O, Kawahara I, Radunovic-Vandevska V. J Dent Res 89 (Spec Iss A) 3654, 2011 (www.dental-research.org)

日本解剖学会中部支部学術集会（第71回）2011年10月

ウシガエル舌におけるVIPとSPおよびPLCB2の局在：田所 治，安藤 宏，浅沼直和，川原一郎，奥村雅代，金銅英二（解剖学雑誌 87：11）

日本バイオマテリアル学会大会（第33回）2011年11月21，22日（京都市）

HAコートチタンインプラント-骨界面超微細構造観察：川原一郎，花田 剛，八上公利，中山貴裕，村上剛一，柳沢 茂，高橋直之

## 講 演

長野市歯を守る市民の会 2011年11月  
女性の元気は口元から！：牧 茂

## 日本学術振興会科学研究費による研究

牧 茂：ストレスが歯周病に及ぼす病態の解析（基盤研究C）

## 歯科保存学第1講座

## 論文発表

高橋美穂，丹羽 崇，高田匡基，丸川和也，秋田大輔，西田英作，上松隆司，吉成伸夫（2011）ヒト培養自己骨髄間葉系細胞移植による顎骨再生療法-組

織培養から医薬品基準の再生医療へ-。口腔組織培養会誌 20：9-19

Taguchi A, Sugino N, Miki M, Kozai Y, Mochizuki N, Osanai H, Yamada S, Kuroiwa H, Fujiki T, Uchida K, Yoshinari N and Kashima I (2011) Detecting young Japanese adults with undetected low skeletal bone density using panoramic radiographs. Dentomaxillofacial Radiology 40：154-9

山口正人，足立忠文，大石めぐみ，中塚久美子，横井磯子，吉成伸夫，黒岩昭弘，増田裕次（2011）健常高齢者における多方位口唇閉鎖力 その特性と体格・握力・残存歯との関連。顎機能誌 17：125-34

Hishikawa T, Izumi M, Naitoh M, Yoshinari N, Kawase H, Matsuoka M, Noguchi T and Aiji E (2011) Effects of the vertical projection angle in intraoral radiography on the detection of furcation involvement of the mandibular first molar. Oral Radiol 27：102-7

Muto A, Mizoguchi T, Udagawa N, Ito S, Kawahara I, Abiko Y, Arai A, Harada S, Kobayashi Y, Nakamichi Y, Penninger JM, Noguchi T and Takahashi N (2011) Lineage-committed osteoclast precursors circulate in blood and settle down into bone. J Bone Miner Res 26：2978-90

Ishii K, Shimoda M, Sugiura T, Seki K, Takahashi M, Abe M, Matsuki R, Inoue Y and Shirasuna K (2011) Involvement of epithelial-mesenchymal transition in adenoid cystic carcinoma metastasis. Int J Oncol 38：921-31

Tashiro K, Katoh T, Yoshinari N, Hirai K, Andoh N, Makii K, Matsuo K and Ogasawara T (2011) The short-term effects of various oral care methods in dependent elderly : comparison between tooth-brushing, tongue cleaning with sponge brush and wiping on oral mucous membrane by chlorhexidine. Gerodontology Article first published online 30

## その他の学術著作物

山田真一郎，内田啓一，三木 学，落合隆永，杉野紀幸，長内 秀，望月慎恭，黒岩博子，藤木知一，吉成伸夫，田口 明（2011）CT検査および超音波検査において sediment level が疑われた鼻歯槽囊胞の1例。日口診誌 24：250-4

内田啓一，内山真紀子，木村晃太，三木 学，黒岩博子，杉野紀幸，長内 秀，望月慎恭，山田真一郎，藤木知一，吉成伸夫，田口 明（2011）下顎前歯部に発生した粘液腫の1例。歯科放射線 50：39-41

内田啓一，三木 学，吉成伸夫，田口 明（2011）角化嚢胞性歯原性腫瘍の1例のMagnetic resonance画像-MR imaging (MRI) の信号強度について。松

本歯学 36 : 214-9

Uchida K, Miki M, Sugino N, Osanai H, Mochizuki N, Yamada S, Utsuno H, Yoshinari N and Taguchi A (2011) A case of multiple mandibular fractures resulting from a fall. Jpan J Oral Diag / Oral Med : 454-8

## 学会発表

89<sup>th</sup> General Session & Exhibition of the IADR, San Diego, USA, March, 2011

Comparison of content of water in the muscles of mastication : Miki M, Taguchi A, Higashi Y and Yoshinari N

Association of tooth loss with silent lacunar infarction : Taguchi A, Miki M, Migita K, Higashi Y and Yoshinari N

18<sup>th</sup> International Congress of Dento-Maxillo-Facial Radiology, Hiroshima, Japan, May, 2011

Panoramic radiography measure and silent lacunar infarction : Taguchi A, Miki M, Migita K, Higashi Y and Yoshinari N

Primary intraosseous odontogenic carcinoma arising in a keratocystic odontogenic tumour : Osanai H, Uchida K, Miki M, Sugino N, Yamada S, Mochizuki N, Yoshinari N and Taguchi A

9<sup>th</sup> Asian Pacific Society of Periodontology Meeting, Hong Kong, China, September, 2011

Link between serum amyloid A and atherosclerosis in ApoE deficient mice : Yoshinari N, Kubokawa K, Nishida E, Muto A and Taguchi A

Effect of Gingival Depigmentation by Er : YAG Laser and CO<sub>2</sub> laser Treatment : Nishida E and Yoshinari N

春季日本歯周病学会学術大会（第53回）2011年5月（福岡）

侵襲性歯周炎に対して歯周組織再生療法を適用した1症例：長縄敬弘，稲垣幸司，吉成伸夫，野口俊英  
歯周基本治療により改善が見られた薬物性歯肉増殖症の2症例：武藤昭紀，阪中孝一郎，海瀬聖仁，佐藤哲夫，吉成伸夫

日本歯科保存学会春季学術大会（第134回）2011年6月（千葉）

松本歯科大学，歯周病学模型実習の概要とアンケート結果：海瀬聖仁，西田英作，武藤昭紀，三木学，窪川恵太，吉成伸夫

歯科保存領域におけるMRI画像の有用性-診断が困難であった角化嚢胞性歯肉性腫瘍の1症例：河瀬雄治，内田啓一，田口 明，山口裕美，内山真紀子，佐藤将洋，山本昭夫，笠原悦男，三木 学，吉成伸夫

松本歯科大学学会（第72回）2011年7月（塩尻）

松本歯科大学病院における顎関節MRI所見-Joint

effusion の関連因子の評価-：黒岩博子，田口 明，三木 学，杉野紀幸，藤木知一，内田啓一，山田一尋，吉成伸夫

秋季日本歯科保存学会（第135回）2011年10月（大阪）

各種レーザーによるメラニン色素除去効果の比較：西田英作，武藤昭紀，窪川恵太，海瀬聖仁，三木学，小松 寿，内田啓一，吉成伸夫

Cone-Beam-CTによる難治性根尖性歯周炎の診断：河瀬雄治，内田啓一，田口 明，山本昭夫，吉成伸夫，山口祐美，内山真紀子，佐藤将洋，笠原悦男

血清アミロイドAによる動脈硬化症発症の検討：窪川恵太，海瀬聖仁，西田英作，武藤昭紀，田口明，吉成伸夫

日本口腔外科学会学術大会（第56回）2011年10月（大阪）

ヒト培養自己骨髄間葉系細胞移植による顎骨再生療法の確立：高橋美穂，上松隆司，丹羽 崇，高田匡基，丸川和也，秋田大輔，吉成伸夫，篠原 敦，各務秀明

日本歯周病学会中部地区大学・日本臨床歯周病学会中部支部合同研究会（第6回）2011年11月（岐阜）

松本歯科大学病院お口の健康科の患者推移：岡本成美，蛭江由季，水澤 愛，羽田えりか，小林加奈，西窪結香，中島靖子，三木 学，武藤昭紀，吉成伸夫

各種メラニン色素除去法の比較：三木 学，西田英作，海瀬聖仁，河合 悠，吉成伸夫

培養ヒト血管内皮細胞に対する血清アミロイドA（SAA）の効果：西田英作，窪川恵太，高橋弘太郎，海瀬聖仁，武藤昭紀，高橋美穂，吉成伸夫

急性反応性タンパク血清アミロイドAを介した歯周病による動脈硬化症発症の検討各種メラニン色素除去法の比較：窪川恵太，西田英作，武藤昭紀，海瀬聖仁，高橋弘太郎，吉成伸夫

松本歯科大学学会総会（第73回）2011年11月（塩尻）

お口の健康科における3年間の取り組み：蛭江由季，岡本成美，水澤 愛，羽田えりか，小林加奈，中島靖子，三木 学，武藤昭紀，吉成伸夫

レーザーによる歯肉メラニン除去の効果：三木学，西田英作，高橋弘太郎，武藤昭紀，吉成伸夫

日本レーザー歯学会総会・学術大会（第23回）2011年12月（大阪）

Er : YAG レーザーと炭酸ガスレーザーによる歯肉メラニン除去の効果：三木 学，西田英作，窪川恵太，武藤昭紀，吉成伸夫

## 特別講演

平成23年度科学研究費補助金研究成果公開促進（B）補助事業 NPO 法人日本歯科保存学会市民公開シンポジウム 2011年12月（仙台）

口腔の健康科学が日本と長寿社会を元気にする糖尿病と歯周病 生活習慣病としての両疾患の関係：  
吉成伸夫

## 講演会

平成22年度岡谷市・下諏訪町口腔衛生推進研修会  
2011年1月（下諏訪）

歯周病と全身の健康との関わり合い：吉成伸夫  
コンソーシアム信州 K3 茶論 2011年1月（塩尻）

歯周病と全身との関係について：吉成伸夫  
南勢地区糖尿病チーム医療研究会（第25回）2011年4月（伊勢）

歯周病と全身疾患（特に糖尿病について）：吉成伸夫

## 松本歯科大学推進研究費による研究

窪川恵太，川上敏行，中野敬介，吉成伸夫，西田英作，武藤昭紀：急性反応性タンパク血清アミロイド A を介した歯周病と動脈硬化症発症の検討（平成22年度：受領金額650千円）

西田英作，上松隆司，吉成伸夫，窪川恵太，藤田宗輝，高橋美穂：血管内皮細胞を用いたアテローム性動脈硬化症における SAA の機能解析（平成22年度：受領金額850千円）

三木 学，田口 明，吉成伸夫，内田啓一，西田英作，窪川恵太：咬合性外傷の MRI による評価のための基礎研究（平成22年度：受領金額300千円）

武藤昭紀，荒井 敦，小出雅則，吉成伸夫，宇田川信之：歯周病モデルマウスにおける静止期破骨前駆細胞（QOP）の動態の解析（平成22年度：受領金額400千円）

田口 明，吉成伸夫，宇田川信之，三木 学：磁気共鳴撮像法（MRI）における IDEAL を用いた成人の下顎骨骨髓信号の基準値策定に関する研究（平成22年度：受領金額400千円）

柳沢 茂，定岡 直，八上公利，高橋直之，吉成伸夫：受動喫煙時の歯周組織細胞が産生するクロモグラニン A について（平成22年度：受領金額750千円）

高橋美穂，丹羽 崇，上松隆司，八上公利，丸川和也，吉成伸夫：血小板由来増殖因子を用いた骨再生医療の基礎的研究（平成22年度：受領金額500千円）

杉野紀幸，田口 明，吉成伸夫，黒岩博子，望月慎恭，長内 力：パノラマエックス線写真による3次元の皮質多孔性の評価に関する研究（平成22年度：受領金額650千円）

## 日本学術振興会科学研究費補助金による研究

田口 明，吉成伸夫，東 幸仁：梗塞性心臓血管疾患リスク患者の早期スクリーニングのための口腔衛生指標の開発（基盤研究 C・平成21～23年度：3,990千円）

吉成伸夫，田口 明，西田英作，武藤昭紀：血清アミロイド A を介した歯周病による動脈硬化症の発症診断（基盤研究 C・平成23～25年度：受領金額5,070千円）

高橋美穂：癌転移抑制因子 CD82 による癌細胞の細胞間接着機構の解析と臨床応用（若手研究 B・平成22～24年度：3,600千円）

西田英作：動脈硬化症発症時の血清アミロイド A の役割（若手研究 B・平成23～24年度：4,030千円）

武藤昭紀：歯周病による血管石灰化機構の解明（若手研究 B・平成23～24年度：4,160千円）

## その他の研究補助金による研究

西田英作：平成23年度日本私立学校振興・共済事業団学術研究振興資金（若手研究者奨励金）歯周病と動脈硬化症の共通マーカー分子に関する研究（50万円）

西田英作：平成23年度長野県科学振興会助成金動脈硬化と歯周病に関わる血清アミロイド A（SAA）の機能解析（10万円）

## 歯科保存学第2講座

## 著 書

笠原悦男（分担執筆）2011.12月 新・歯科衛生士教育マニュアル．歯内治療，10-13，94-101，107-117，クインテッセンス出版，東京

## その他の学術出著作物

中野敬介，島田陽子，富田美穂子，山本昭夫，川上敏行（2011）松本歯科大学衛生学院における歯科衛生士教育の現状．Proceedings : International Symposium of Dental Education in Okayama（1<sup>st</sup> Asian Dental Education Seminar）101-106

## 論文発表

Uchiyama M，Anzai M，Yamamoto A，Uchida K，Utsuno H，Kawase Y and Kasahara E（2011）Root Canal System of the Maxillary Canine. Okajimas Folia Anatomica Japonica 87：189-93

Saito S, Nakano K, Nabeyama A, Sato M, Okafuji N, Yamamoto A, Kasahara E and Kawakami T (2011) Immunohistochemical Expression of Heat Shock Protein 27 in the Mouse Dental Pulp after Immediate Teeth Separation. Eur J Med Res 16 : 495-500

Nabeyama A, Nakano K, Saito S, Sato M, Okafuji N, Yamamoto A, Kasahara E and Kawakami T (2011) Immunohistochemical Expression of Hard Tissue Related Factors in the e Mouse Dental Pulp after Immediate Teeth Separation. Eur J Med Res 16 : 507-513

Nakano K, Tomida M, Sato M, Matsuura S, Yamamoto A, Kasahara E and Kawakami T (2011) Histopathological Safety Evaluation of Newly-Developed MgO Sealer. Eur J Med Res 16 : 526-530

佐藤将洋, 中野敬介, 斎藤進之介, 鍋山篤史, 岡藤範正, 山本昭夫, 笠原悦男, 長谷川博雅, 川上敏行 (2011) Chromogranin A のマウス歯髄と歯周組織における発現. Journal of hard Tissue Biology 20 : 295-299

Tomida M, Nakano K, Sato M, Matsuura S and Kawakami T (2011) Histopathological examination of newly-developed adhesive silicone denture relining material. Eur J Med Res 16 : 328-30

鷹股哲也, 橋井公三郎, 岡田芳幸, 中村貴美, 加藤優美子, 安西正明, 正村正仁 (2011) マウスガード材の衝撃荷重時の反発性能に関する実験的研究-高速度カメラによる動体解析-. スポーツ歯学 14 : 39-46

Hashii K, Takamata T, Okada Y, Anzai M, Shoumura and Nakamura T (2011) "Double layered mouthguard" for upper edentulous patient. J Sports Dent 4 : 15-20

## 学会発表

佐藤将洋, 大石真太郎, 河瀬雄治, 内山真紀子, 安西正明, 山本昭夫, 笠原悦男, 内田啓一, 音琴淳一 (2011) アナターゼ型二酸化チタンの光触媒作用の解析 (第5報). 日歯保存誌 54 (春季特別号) : 139

河瀬雄治, 内田啓一, 田口 明, 山口祐美, 内山真紀子, 佐藤将洋, 山本昭夫, 笠原悦男, 三木 学, 吉成伸夫 (2011) 歯科保存領域における MRI の画像検査の有用性-診断が困難であった角化嚢胞性歯原性腫瘍の1症例-. 日歯保存誌 54 (春季特別号) : 141

河瀬雄治, 永沢 栄, 平井 要, 佐藤将洋, 山本昭夫, 笠原悦男, 吉田貴光, 内田啓一, 伊藤充雄 (2011) マイクロバブルオゾン水の口腔細菌に対する効果. 日歯保存誌 54 (春季特別号) : 144

佐藤将洋, 笠原悦男, 山本昭夫 (2011) 新規開発

した酸化マグネシウム系 MgO Sealer に対するマウス皮下組織の反応. 日歯保存誌 54 (秋季特別号) : 138

河瀬雄治, 内田啓一, 田口 明, 山本昭夫, 山口祐美, 内山真紀子, 佐藤将洋, 笠原悦男, 吉成伸夫, 西田英作 (2011) Cone-Beam-CT による難治性根尖性歯周炎の診断. 日歯保存誌 54 (秋季特別号) : 181

歯科基礎医学会総会 (第53回) 2011年 9 月

新規開発した酸化マグネシウム系材料 MgO Sealer に対する組織反応: 佐藤将洋, 中野敬介, 富田美穂子, 松浦幸子, 川上敏行 (歯基礎誌 53(S) : 171)

歯科基礎医学会総会 (第53回) 2011年 9 月

新規開発したシリコン系接着性義歯裏装材に対する皮下組織の反応: 中野敬介, 富田美穂子, 佐藤将洋, 松浦幸子, 川上敏行 (歯基礎誌 53(S) : 181)

日本歯科保存学会 (第135回) 2011年 9 月

硬組織再生生物学会学術大会・総会 (第20回) 2011年 8 月

International Symposium of Dental Education in Okayama (1<sup>st</sup> Asian Dental Education Seminar), Okayama, 2011

Current state of education at Matsumoto Dental University School of Dental Hygienists : Nakano K, Shimada Y, Tomida M, Yamamoto A and Kawakami T (Proceedings 101-106)

硬組織再生生物学会総会 (第20回) 2011年 8 月

実験的歯間分離によりマウス歯髄に発現する硬組織関連因子: 鍋山篤史, 中野敬介, 斎藤進之介, 佐藤将洋, 岡藤範正, 山本昭夫, 笠原悦男, 川上敏行 (抄録集 p 23 ; J Hard Tissue Biol 20 : 268, 2011)

鷹股哲也, 橋井公三郎, 岡田芳幸, 中村貴美, 安西正明, 正村正仁: Two in One ラミネートマウスガードの試作とその評価 (日本スポーツ歯科医学会総会ならびに学術大会, 2011年 6 月25日, 26日)

## 歯科補綴学講座

### 著 書

倉澤郁文 (2011) プロソドンティクス 第I巻, 小谷野 潔, 前田芳信, 松村英雄, 矢谷博文 編, 286-288, 永末書店, 京都

### 論文発表

Kasahara T, Yamashita S, Nimura H, Hotta H, Tomida M and Asanuma N (2011) Newly designed gustatory test based on the number of chewing strokes required for recognition of the taste. J



Prothodont Res. Epub ahead of print

## 学 会 発 表

日本補綴歯科学会学術大会・総会（第120回）2011年5月22日

レジンセメントの色調がラミネートベニア修復の色調に及ぼす影響：秋山麻沙子，黒岩昭弘，溝上真也，小町谷美帆，山口正人，鈴木雄一郎（平成23年度日本補綴歯科学会学術大会プログラム・抄録集：225，2011）

日本補綴歯科学会学術大会・総会（第120回）2011年5月22日

プロセスモデルにおける Stage II transport と咀嚼回数との関係-咀嚼リズムの変更に伴う Stage II transport の発現様相-：杉田乃亮，松尾浩一郎，加藤光雄，山下秀一郎（平成23年度日本補綴歯科学会学術大会プログラム・抄録集：180，2011）

日本補綴歯科学会東海支部総会・学術大会 2011年10月1日

RPD 実習用4倍大下顎小白歯石膏模型の製作：谷内秀寿，松山雄喜，小町谷美帆，溝上真也，山口正人，鈴木雄一郎，山口育子，加藤智行，才田真吾，黒岩昭弘（平成23年度日本補綴歯科学会東海支部総会・学術大会プログラム・抄録集：15，2011）

日本補綴歯科学会東海支部総会・学術大会 2011年10月2日

上顎排列法を応用した合理的な咬合採得：黒岩昭弘，倉澤郁文，土屋総一郎，片瀬剛土，安東史子，後藤東太，笠原隼男，杉田乃亮，中村典正，加藤潤，鷹股哲也（平成23年度日本補綴歯科学会東海支部総会・学術大会プログラム・抄録集：19，2011）

日本補綴歯科学会東海支部総会・学術大会 2011年10月2日

下顎小白歯歯槽骨吸収に関する研究：安東史子，土屋総一郎，新村弘子，倉澤郁文，黒岩昭弘（平成23年度日本補綴歯科学会東海支部総会・学術大会プログラム・抄録集：21，2011）

## 日本学術振興会科学研究費補助金による研究

片瀬志穂：非機能的な口腔顔面運動の発生を変動させる要因とその相互作用の解明（若手研究B）

## 講 演 会

JA 洗馬ポケットの会（塩尻市）2011年11月2日

黒岩昭弘：はつらつ講座

「保険でより良い歯科医療を」長野県連絡会（長野市）2011年11月

黒岩昭弘：入れ歯と上手に付き合う方法～食べることの楽しさをもとめて～

## 口腔顎顔面外科学講座

## 著 書

Kagami H, Agata H, Sumita Y and Tojo A (2011) Heterogeneous responses of human bone marrow stromal cells (multipotent mesenchyme stromal cells) to osteogenic induction. Ed. Hayat MA, *Stem Cells and Cancer Stem Cells : Therapeutic Applications in Disease and Injury*, 2, Springer

Kagami H, Agata H, Kato R, Matsuoka F and Tojo A (2011) Fundamental technological developments required for increased availability of tissue engineering. Ed. *Regenerative Medicine and Tissue Engineering : From Cells to Organs*. Intech

Kagami H, Agata H, Satake M and Narita Y (2011) Considerations on designing scaffold for soft and hard tissue engineering. Ed. Gilson Khang. *The Handbook of Intelligent Scaffold for Regenerative Medicine* Pan Stanford Publishing

## 論 文 発 表

高橋美穂，丹羽 崇，高田匡基，丸川和也，秋田大輔，西田英作，吉成伸夫，上松隆司（2011）ヒト培養自己骨髄間葉系細胞移植による顎骨再生療法-組織培養から医薬品基準の再生医療へ-。口腔組織培養学会雑誌 20：9-19

上松隆司，各務秀明（2011）幹細胞由来成長因子を用いたあらたな再生医療-細胞増殖因子と唾液腺の再生。医学のあゆみ 239：822-6

Inoue M, Ebisawa K, Itaya T, Sugito T, Yamawaki-Ogata A, Sumita Y, Wadagaki R, Narita Y, Agata H, Kagami H and Ueda M (2011) Effect of GDF-5 and BMP-2 on the expression of tendo/ligamentogenesis-related markers in human PDL-derived cells. Oral Dis in press

Ebisawa K, Kato R, Sugimura T, Latif MA, Hori Y, Narita Y, Ueda M, Honda H and Kagami H (2011) Gingival and dermal fibroblasts : their similarities and differences revealed from gene expression analyses. J Biosci Bioeng 111：255-8

Kagami H, Agata H and Tojo A (2011) Bone marrow stromal cells (bone marrow-derived multipotent mesenchymal stromal cells) for alveolar bone tissue engineering : basic science to clinical translation. Int J Biochem Cell Biol 43：286-9

Kondo Y, Yoshikawa K, Omura Y, Shinohara A, Kazaoka Y, Sano J, Mizuno Y, Yokoi T and Yamada S (2011) Clinicopathological significance of carbonic anhydrase 9, glucose transporter-1, Ki-

67 and p 53 expression in oral squamous cell carcinoma. *ONCOLOGY REPORTS* **25** : 1227-33

Shinohara A, Fujii K, Kazaoka Y, Yokoo K, Yamada S and Tanigawa T (2011) Minimally invasive endoscopic osteosynthesis for frontozygomatic fracture : A new approach. *Minimally Invasive Therapy* : early Online 1 - 4

## 学会発表

日本口腔腫瘍学会総会・学術大会（第29回）2011年1月（熊本）

口腔・食道同時性重複癌の一例：丹羽 崇，李憲起，上松隆司

日本口腔インプラント学会関東・甲信越支部学術大会（第30回）2011年2月（横浜）

培養骨髄間葉系細胞移植による骨再生療法の確立-多血小板血漿（PRP）中のサイトカイン量と細胞増殖に対する作用-：中澤高志，上松隆司，寺本祐二，丹羽 崇，高橋美穂

日本再生医療学会（第10回）2011年3月（東京）

培養ヒト自己骨髄間葉系細胞移植による顎骨再生療法-上顎洞底挙上術への臨床応用-：上松隆司，寺本祐二，堂東亮輔，高橋美穂，丹羽 崇，高田匡基，丸川和也，秋田大輔，中澤高志，下平滋隆，脇谷滋之，田原秀晃，松下まりも，田口 明，中村美どり，宇田川信之

東海頭頸部腫瘍研究会（第28回）3月（名古屋）

口腔扁平上皮がんにおけるCA 9抗原発現の臨床病理学的意義：近藤祐平，吉川和宏，大村元伸，篠原 淳，風岡宜暁，佐野順司，横井豊治，山田史郎

日本口腔科学会学術集会（第65回）2011年4月（東京）

ポリリン酸のヒト歯髄由来細胞に対する作用：秋田大輔，高田匡基，丸川和也，上松隆司

頭頸部癌における抗癌剤耐性獲得機構の解析：丸川和也，寺本祐二，堂東亮輔，丹羽 崇，高田匡基，李 憲起，上松隆司

多血小板血漿（PRP）を併用した骨再生療法の確立-培養骨髄間葉系細胞に対するPRPの作用-：高橋美穂，秋田大輔，寺本祐二，丸川和也，吉成伸夫，上松隆司

口腔乾燥症に対するポリリン酸含有口腔保湿剤の有用性：小野裕輔，石塚正英，上田青海，高田匡基，秋田大輔，丹羽 崇，丸川和也，中澤高志，李憲起，上松隆司

日本口腔外科学会中部地方会（第36回）5月（中津川）

左頸部リンパ節転移に対して左内頸動脈再建を行った一例：林 富雄，篠原 淳，大村元伸，風岡宜暁，山田史郎，西堀公治，石橋宏之

生検後に自然消失した下顎頭好酸球肉芽腫の1例

青木勇樹，風岡宜暁，大村元伸，篠原 淳，大野隆之，大谷智子，古橋明文，林 富雄，近藤祐平，山田史郎

松本ボーンフォーラム（第10回）2011年5月（松本）

培養ヒト自己骨髄間葉系細胞移植による顎骨再生療法：上松隆司

実用化を目指した新たな歯槽骨再生臨床研究の開始について：各務秀明

松本歯科大学インプラント研究会 2011年6月（塩尻）

ヒト自己骨髄間葉系細胞移植による骨造成法：上松隆司

日本口腔インプラント学会学術大会（第41回）2011年9月（名古屋）

課題口演：ヒト体性幹細胞を用いた骨造成法を確立するためのトランスレーショナルリサーチ-ヒト培養自己骨髄間葉系細胞移植は骨形成を促進する-：上松隆司，寺本祐二，丹羽 崇，高田匡基，高橋美穂

下顎大臼歯部中間欠損にインプラント治療を行った1症例：丹羽 崇

日本癌学会（第70回）2011年10月（名古屋）

Acquired multidrug resistance in salivary gland adenocarcinoma cells : Marukawa K，Takahashi M，Niwa T，Shinohara A，Kagami H and Uematsu T

CD82 inhibits cancer cell migration via altered expression of the DPP4 gene family : Niwa T，Takahashi M，Marukawa K，Shinohara A，Kagami H and Uematsu T

日本口腔外科学会総会・学術大会（第56回）2011年10月（大阪）

ヒト培養自己骨髄間葉系細胞移植による顎骨再生療法の確立-上顎洞底挙上術への臨床応用-：高橋美穂，上松隆司，丹羽 崇，高田匡基，丸川和也，秋田大輔，吉成伸夫，篠原 淳，各務秀明

唾液腺癌の抗癌剤耐性獲得機構-GST-pi/MRPの誘導により多剤耐性形質を獲得する-：丸川和也，高橋美穂，堂東亮輔，丹羽 崇，高田匡基，李憲起，篠原 淳，各務秀明，上松隆司

ポリリン酸はヒト歯髄由来細胞の象牙芽細胞形質獲得を促進する：秋田大輔，上松隆司，高田匡基，丹羽 崇，篠原 淳，各務秀明

日本口腔組織培養学会学術大会（第48回）2011年11月（浦安市）

ヒト培養自己骨髄間葉系細胞移植は骨形成を促進する：高橋美穂，丹羽 崇，高田匡基，丸川和也，秋田大輔，千原隆弘，上松隆司

日本顎顔面インプラント学会学術大会（第15回）12月（千葉）

多血小板血漿を用いたヒト培養骨髄間葉系細胞移植による顎骨再生療法の確立：秋田大輔，高橋

美穂, 丹羽 崇, 高田匡基, 丸川和也, 千原隆弘,  
李 憲起, 上松隆司

松本歯科大学学会 (第73回) 11月

口腔外科診療室内の汚染エアロゾルの拡散状況:  
伊藤香那, 中山洋子, 石濱孝二, 下地茂弘, 各務秀明

### 特別講演

Kagami H: Bone marrow stromal cells (bone marrow-derived multipotent mesenchymal stromal cells) for alveolar bone tissue engineering: basic science to clinical translation. The Second Chinese National Conference on Oral Maxillofacial Development and Regeneration July 28-31, 2011, Wuyishan City, Fujian Province, China

### 講演会

各務秀明: 「自己骨髄由来培養骨芽細胞様細胞による歯槽骨再生」文部科学省 橋渡し研究支援推進プログラム「先端医療の開発支援拠点形成と実践」

第5回シンポジウム 2月 (東京大学医学部附属病院)

第12回市民公開医療懇談会 7月 (東京大学医学部附属病院)

各務秀明: 歯からはじまるアンチエイジング-インプラントと骨の再生医療-

Kagami H: Tissue engineering and regenerative medicine in dentistry: from basic science to clinical translation. August 2, 2011, Shanghai Tenth People's Hospital, Tongji University, China

Kagami H: Bone marrow stromal cells (bone marrow-derived multipotent mesenchymal stromal cells) for alveolar bone tissue engineering: basic science to clinical translation. October 12, 2011, Section of Biological Chemistry, NIDCR, NIH

### 松本歯科大学推進研究費による研究

石塚正英, 小笠原 正, 上田青海, 丸川和也, 秋田大輔, 中澤高志, 上松隆司: ポリリン酸を主成分とした口腔ケア用保湿剤の開発と臨床応用

小野裕輔, 荒 敏昭, 藤波義明, 李 憲起, 丸川和也, 上松隆司: 漢方薬による唾液分泌促進作用

李 憲起, 楊 静, 上松隆司, 高橋直之, 永沢栄: シンバスタチンによるインプラント周囲骨形成作用

### 日本学術振興会科学研究費補助金による研究

各務秀明: 唾液腺組織幹細胞の分離・培養・保存法の確立と細胞移植による組織再生 (基盤研究 B)

(代表)

各務秀明: 歯牙由来多能性神経堤細胞の誘導と中枢神経系疾患を用いた可塑性の評価 (基盤研究 B) (分担)

各務秀明: 細胞動態の画像解析による骨髄間質細胞の新たな品質管理システムの構築 (挑戦的萌芽)

(代表)

各務秀明: ダイレクト・リプログラミングによる萎縮唾液腺の新しい細胞治療法の開発 (挑戦的萌芽) (分担)

中山洋子, 石濱孝二, 宮下みどり: 歯科口腔外科治療中に発生する患者血液の空中浮遊について (基盤研究 C)

### その他の研究補助金による研究

各務秀明: 自己骨髄間質細胞を用いた歯槽骨再生医療の臨床研究 (厚生労働科学研究費)

各務秀明: 橋渡し研究支援推進プログラム 橋渡し研究ネットワーク構築事業 (歯槽骨再生プロジェクト)

### 歯科矯正学講座

### 論文発表

Kanayama H, Masuda Y, Adachi T, Arai Y, Kato T and Morimoto T (2011) Alteration of masticatory muscle EMG activities during chewing after a reversible bite-raising in guinea pigs. Arch Oral Biol **56**: 793-8

Muto A, Mizoguchi T, Udagawa N, Ito S, Kawahara I, Abiko Y, Arai A, Harada S, Kobayashi Y, Nakamichi Y, Penninger JM, Noguchi T and Takahashi N (2011) Lineage-committed osteoclast precursors circulate in blood and settle down into bone. J Bone Miner Res **26**: 2978-90

Komazaki Y, Imamura Y, Yamada K, Wang Pao-Li (2011) Preliminary Evidence of an Association between the Interleukin-13 Gene Polymorphisms and Periodontal Disease in the Japanese Population. Journal of Hard Tissue Biology **20**: 1-6

Nakatsuka K, Adachi T, Kato T, Murakami M, Yamada K and Masuda Y (2011) Asymmetric lip-closing forces in children with repaired unilateral cleft lip and/or palate. J Oral Rehabil **38**: 921-8

Nakatsuka K, Adachi T, Kato T, Oishi M, Murakami M, Okada Y and Masuda Y (2011) Reliability of novel multidirectional lip-closing force measurement system. J Oral Rehabil **38**: 18-26

影山康子, 大鶴次郎, 影山 徹, 倉田和之, 大澤

雅樹, 山田一尋 (2011) 矯正歯科治療後における患者および保護者へのアンケート調査. *Orthod Waves-Jpn Ed* **70**: 7-20

荒井 敦, 倉田和之, 大澤雅樹, 富永憲俊, 金沢昌律, 森山敬太, 松田浩和, 三原正志, 朝日藤寿一, 渡邊尚子, 斎藤 功, 山田一尋 (2011) 松本歯科大学病院歯科矯正科における Goslon Yardstick を用いた上下顎歯列弓関係の評価. *Orthod Waves-Jpn Ed* **70**: 1-6

堂東正輔, 薄井陽平, 山田一尋 (2011) 骨固定源を用いて治療した骨格性下顎前突症例. 甲北信越矯歯誌 **19**: 26-30

駒崎佑介, 薄井陽平, 影山 徹, 影山康子, 山田一尋 (2011) ペンデュラム装置とサービカルヘッドギアを併用して非抜歯にて治療した Angle II 級叢生症例. 甲北信越矯歯誌 **19**: 37-43

村岡理奈, 中野敬介, 松田浩和, 共田真紀, 岡藤範正, 山田一尋, 川上敏行 (2011) 実験的歯科矯正力により歯根膜組織に発現する HSP70 の役割に関する一考察. *J Hard Tissue Biol* **20**: 275-82

村岡理奈, 辻極秀次, 中野敬介, 片瀬直樹, 玉村亮, 富田美穂子, 岡藤範正, 長塚 仁, 川上敏行 (2011) 移植骨髄由来細胞の歯周組織への移動と細胞分化. *J Hard Tissue Biol* **20**: 301-6

松田浩和, 原田寿久, 村岡理奈, 共田真紀, 岡藤範正 (2011) 歯科矯正力によりマウス歯周組織に発現する Osterix の免疫組織化学的観察. *J Hard Tissue Biol* **20**: 283-8

大石めぐみ, 足立忠文, 安富和子, 中塚久美子, 山田一尋, 増田裕次 (2011) 永久前歯被蓋完成初期における多方位口唇閉鎖力 口唇閉鎖力と口唇形態・前歯部被蓋との関連. 顎機能誌 **17**: 104-12

大石めぐみ, 足立忠文, 安富和子, 中塚久美子, 山田一尋, 増田裕次 (2011) 永久前歯被蓋完成初期における多方位口唇閉鎖力 その特性と体格・体力との関連. 顎機能誌 **17**: 11-21

## 学 会 発 表

87<sup>th</sup> Congress of the European Orthodontic Society 2011年 6 月

Analysis of dental arch relationship using the Goslon yardstick : Arai A, Kurata K, Osawa M, Saito I and Yamada K (The 87th Congress of the European Orthodontic Society Program : 169, 2011)

Coordination of mandibular movement and muscle activity in patients with skeletal mandibular protrusion : Tominaga N, Kanazawa M, Takeo K, Kanayama H and Yamada K (The 87th Congress of the European Orthodontic Society Program : 151, 2011)

Relationship between craniofacial morphology and oral function on masticatory movement during chewing of peanuts : Kanazawa M, Murakami M, Tominaga N, Kanayama H and Yamada K (The 87th Congress of the European Orthodontic Society Program : 217, 2011)

Relationship between balance of upper and lower lip-closing forces and lateral craniofacial morphology : Murakami M, Nakatsuka K, Kanazawa M, Masuda Y and Yamada K (The 87th Congress of the European Orthodontic Society Program : 242, 2011)

5th Meeting Asian Soc Oral Maxillofac Pathol, 22nd Annu Meet Jpn Soc Oral Pathol 2011年 8 月

Immunohistochemical expression of HSP27 in the mouse periodontal tissues due to orthodontic mechanical stress : Muraoka R, Nakano K and Kawakami T (The 5th Meeting of Asian Society of Oral And Maxillofacial Pathology and The 22nd Annual Meeting of the Japanese Society of Oral Pathology Program & Abstracts : 165, 2011)

IOF Regionals 2<sup>nd</sup> Asia-Pacific Osteoporosis and Bone Meeting ANZBMS Annual Scientific Meeting, with JSBMR 2011年 9 月

c-Fos plays an essential role in up-regulation of RANK expression in osteoclast precursors : Arai A, Mizoguchi T, Kobayashi Y, Yamashita T, Yamada K, Penninger JM, Udagawa N and Takahashi N (第 2 回アジア太平洋骨粗鬆症学会プログラム抄録集 : 538, 2011)

BMP-induced ectopic bone formation in c-Fos-deficient mice : Nakamura M, Ninomiya T, Mizoguchi T, Arai A, Takahashi N and Udagawa N (第 2 回アジア太平洋骨粗鬆症学会プログラム抄録集 : 640, 2011)

The 13th SIDO (Societa Italiana di Ortodonzia) International Congress 2011年11月

Orthodontic stress as a possible promoter of transplanted bone marrow-derived cell migration into periodontal tissues : Muraoka R, Yamada K and Kawakami T (<http://programmacongresso.sido.it/MenuPoster.html>)

日本口蓋裂学会 (第35回) 2011年 5 月

唇顎口蓋裂患者における口唇閉鎖力の対称性について : 村上円郁, 中塚久美子, 水野瑠莉香, 山田一尋 (日本口蓋裂学会雑誌 **36**(2) : 132, 2011)

日本顎変形症学会 (第21回) 2011年 6 月

顔面手術コンピューター支援システムを利用し骨延長術を行った Treacher-Collins 症候群の 1 例 : 倉田和之, 村岡理奈, 野口昌彦, 山田一尋 (日本顎変形症学会雑誌 **21**(2) : 160, 2011)

骨格性下顎前突患者における切歯点運動の安定性と筋活動の協調性：富永憲俊，竹尾健吾，金山隼人，山田一尋（日本顎変形症学会雑誌 **21**(2)：119, 2011)

甲北信越矯正歯科学会（第26回）2011年6月

歯周疾患を伴う開咬ハイアングル症例：大澤雅樹，鈴木貫人，山田一尋（第26回甲北信越矯正歯科学会大会プログラム・抄録集：46, 2011）

口唇閉鎖力，舌圧と顎顔面形態の関連性について：堂東正輔，増田裕次，山田一尋（第26回甲北信越矯正歯科学会大会プログラム・抄録集：27, 2011）

松本歯科大学学会（第72回）2011年7月

in vivo における破骨細胞分化機構の解析-M-CSF は c-Fos を介し前駆細胞の RANK を上昇する：荒井 敦，溝口利英，小林泰浩，山下照仁，山田一尋，宇田川信之，高橋直之

東日本大震災における歯科医療派遣を経験して：鈴木貴之，河瀬総一郎，松尾浩一郎，薄井陽平，荒井 敦，松田浩和，小笠原 正，山田一尋，村居正雄，澤口通洋，栢本大祐，笠原 浩

日本骨代謝学会（第29回）2011年7月

生体内における破骨細胞分化機構の解析-M-CSF は c-Fos を介して破骨細胞前駆細胞の RANK 発現を上昇する：荒井 敦，溝口利英，原田 卓，武藤昭紀，小林泰浩，山下照仁，保田尚孝，山田一尋，宇田川信之，高橋直之（第29回日本骨代謝学会プログラム抄録集：186, 2011）

c-Fos 遺伝子欠損マウスを用いた BMP 誘導性異所性骨形成に関する解析：中村みどり，二宮 禎，溝口利英，荒井 敦，高橋直之，宇田川信之（第29回日本骨代謝学会プログラム抄録集：212, 2011）

日本学関節学会総会・学術大会（第24回）2011年7月

骨格性下顎前突症における下顎枝矢状分割骨切術後の顎関節の形態変化：枝並宏治，影山 徹，田口明，山田一尋

硬組織再生生物学会学術大会・総会（第20回）2011年8月

メカニカルストレスが引き起こすマウス歯根膜組織における HSP70 の発現変化：村岡理奈，中野敬介，松田浩和，共田真紀，岡藤範正，山田一尋，川上敏行（第20回硬組織再生生物学会学術大会・総会プログラム・抄録集：25, 2011）

マウス歯周組織におけるメカニカルストレスによる HSP27 の免疫組織化学的推移：共田真紀，村岡理奈，中野敬介，松田浩和，山田一尋，川上敏行（第20回硬組織再生生物学会学術大会・総会プログラム・抄録集：26, 2011）

メカニカルストレスによるマウス歯根膜組織における Osterix の免疫組織化学的発現：松田浩和，村岡理奈，共田真紀，中野敬介，山田一尋，川上敏行（第

20回硬組織再生生物学会学術大会・総会プログラム・抄録集：24, 2011）

歯科基礎医学会学術大会ならびに総会（第53回）2011年9月

矯正学的牽引側歯根膜に発現する HSP27 の骨芽細胞分化誘導の分子シャペロンとしての可能性：村岡理奈，中野敬介，松田浩和，共田真紀，岡藤範正，山田一尋，川上敏行（J Oral Biosci **53**(Suppl)：183, 2011）

マウス歯周組織における矯正学的メカニカルストレスによる HSP27 の免疫組織化学的推移：共田真紀，村岡理奈，中野敬介，松田浩和，山田一尋，川上敏行（J Oral Biosci **53**(Suppl)：185, 2011）

歯科矯正学的メカニカルストレスによるマウス歯根膜組織における Osterix の発現：松田浩和，村岡理奈，共田真紀，中野敬介，岡藤範正，山田一尋，川上敏行（J Oral Biosci **53**(Suppl)：185, 2011）

日本生化学会大会（第84回）2011年9月

歯周病原菌 SOD の活性金属特性における Gly 155 における役割：三原正志，山倉文幸，山田一尋，平岡行博，大澤雅樹，菊池有一郎，茂木真希雄（第84回日本矯正学会講演要旨集：4 P-0204, 2011）

日本摂食・嚥下リハビリテーション学会チャリティーセミナー 2011年

東日本大震災における歯科支援ニーズの変化：松尾浩一郎，河瀬聡一郎，薄井陽平，荒井 敦，松田浩和，鈴木貴之，久野 喬，金沢昌律，八上公利，森山敬太，海瀬聖仁，望月慎恭，水澤 愛，後藤紗世子，小笠原 正，山田一尋，笠原 浩

東日本大震災における障害者への歯科支援：松尾浩一郎，河瀬聡一郎，薄井陽平，荒井 敦，松田浩和，鈴木貴之，久野 喬，金沢昌律，八上公利，森山敬太，海瀬聖仁，望月慎恭，水澤 愛，後藤紗世子，小笠原 正，山田一尋，笠原 浩

日本矯正歯科学会大会（第70回）& 国際会議（第4回）2011年10月

矯正治療後の口唇閉鎖力変化 骨格性下顎偏位患者の一例：金山隼人，村上円郁，金澤昌律，増田裕次，山田一尋（第70回日本矯正歯科学会大会&第4回国際会議プログラム・抄録集：192, 2011）

歯周疾患を伴った第三大臼歯が関与したと考えられる開咬の一治療例：大澤雅樹，鈴木貫人，山田一尋（第70回日本矯正歯科学会大会&第4回国際会議プログラム・抄録集：213, 2011）

ピーナッツを用いた咀嚼機能と顔面形態および口腔機能との関係（第2報）：金澤昌律，村上円郁，富永憲俊，金山隼人，松尾浩一郎，河野正司，山田一尋（第70回日本矯正歯科学会大会&第4回国際会議プログラム・抄録集：205, 2011）

歯科矯正力が引き起こすマウス歯根膜細胞における HSP70 の免疫組織化学的発現変化：村岡理奈，中野敬介，松田浩和，共田真紀，岡藤範正，山田

一尋, 川上敏行 (第70回日本矯正歯科学会大会 & 第4回国際会議プログラム・抄録集: 233, 2011)

歯科矯正学的メカニカルストレスによるマウス歯根膜組織における Osterix の発現: 松田浩和, 村岡理奈, 共田真紀, 中野敬介, 山田一尋, 川上敏行 (第70回日本矯正歯科学会大会 & 第4回国際会議プログラム・抄録集: 235, 2011)

メカニカルストレスの引き起こすマウス歯周組織における HSP27 の免疫組織化学的推移: 共田真紀, 村岡理奈, 中野敬介, 松田浩和, 山田一尋, 川上敏行 (第70回日本矯正歯科学会大会 & 第4回国際会議プログラム・抄録集: 232, 2011)

上下口唇閉鎖力のバランスと側面顎顔面形態との関連性 (第二報): 村上円郁, 中塚久美子, 金澤昌律, 水野瑠莉香, 楓公士朗, 増田裕次, 山田一尋 (第70回日本矯正歯科学会大会 & 第4回国際会議プログラム・抄録集: 344, 2011)

サンドブラスト処理によるブラケット-ワイヤー間の摩擦力の向上について: 唐澤基央, 永沢 栄, 津村智信, 伊藤充雄, 山田一尋 (第70回日本矯正歯科学会大会 & 第4回国際会議プログラム・抄録集: 256, 2011)

口唇閉鎖力バランスと正面顎顔面形態の関連 第2報: 水野瑠璃香, 薄井陽平, 荒井 敦, 村上円郁, 楓公士朗, 増田裕次, 山田一尋 (第70回日本矯正歯科学会大会 & 第4回国際会議プログラム・抄録集: 213, 2011)

コーンビーム CT を用いた解剖学的下顎頭の顎運動多点解析: 竹尾健吾, 富永憲俊, 星野正憲, 山田一尋 (第70回日本矯正歯科学会大会 & 第4回国際会議プログラム・抄録集: 293, 2011)

三叉神経領域の感覚-運動統合機構研究会 (第5回) 2011年12月

上下口唇閉鎖力のバランスと側面顎顔面形態との関連性: 村上円郁, 中塚久美子, 金澤昌律, 水野瑠莉香, 楓公士朗, 金山隼人, 増田裕次, 山田一尋 (第5回三叉神経領域の感覚-運動統合機構研究会抄録集: 21, 2011)

咬合高径低下モデル動物の装置撤去後の咬合高径変化: 的場 寛, 金山隼人, 楓公士朗, 加藤隆史, 森本俊文, 増田裕次 (第5回三叉神経領域の感覚-運動統合機構研究会抄録集: 8, 2011)

### 特別講演

北海道矯正歯科学会大会 (第52回) 2011年6月19日

顎関節症と歯科矯正治療: 山田一尋

### 講演会

日本矯正歯科学会指導者講習会 2011年3月3日

認定医審査の現状: 山田一尋

日本矯正歯科学会指導者講習会 (第70回) 2011年10月18日

認定医審査の現状: 山田一尋

日本矯正歯科学会 JOS フォーラム (第70回) 2011年10月20日

認定医審査の現状: 山田一尋

日本矯正歯科学会大会 (第70回) & 国際会議 (第4回) JOS フォーラム

東日本大震災における JOS の対応に関する報告  
東日本大震災活動報告歯科医療支援活動に参加して: 薄井陽平, 荒井 敦, 松田浩和, 金沢昌律, 森山敬太, 松尾浩一郎, 河瀬聡一郎, 鈴木貴之, 久野喬, 八上公利, 海瀬聖仁, 望月慎恭, 水澤 愛, 後藤紗世子, 小笠原 正, 笠原 浩, 山田一尋 (第70回日本矯正歯科学会大会プログラム抄録集: 179, 2011)

### 日本学術振興会科学研究費補助金による研究

山田一尋, 増田裕次, 松尾浩一郎: 摂食嚥下機能に対する口腔軟組織, 顎顔面形態と不正咬合の関わり (基盤研究 C)

金山隼人: 咬合高径低下モデル動物の咀嚼機能の解明 (若手研究 B)

荒井 敦: 矯正力負荷によりコントロールされる破骨細胞分化機構の解析 (若手研究 B)

村岡理奈: 骨髄幹細胞移植を用いた歯科矯正治療による細胞傷害とその回復機構の解明 (若手研究 B)

### その他の研究補助金による研究

高橋直之, 吉成伸夫, 武藤昭紀, 荒井 敦, 中村浩彰, 小出雅則, 溝口利英: 歯周組織における破骨細胞形成機構の in vivo 解析

### 歯科放射線学講座

#### 著 書

田口 明 (分担執筆) (2011) 医用画像ハンドブック 第8編 歯科領域の画像: 第8章 X線画像による各種診断法. 石田隆行, 桂川茂彦, 藤田広志 監修, 1318-1323, オーム社

田口 明 (分担執筆) (2011) Q&A で学ぶ歯科放射線学: SBOs 講義 エックス線写真処理 (p 45-56), ビスフォスフォネート製剤による顎骨異常の画像所見 (p 233). 金田 隆 編著, 学建書院

内田啓一 (分担執筆) (2011) Q&A で学ぶ歯科放射線学: SBOs 講義 現像および画像処理 (p 57-

64). 金田 隆 編著, 学建書院

田口 明, 上村幹男 (分担執筆) (2011) 整形外科. 骨粗鬆症-新たなる骨折を防ぐ最新の治療戦略Ⅷ 治療戦略と関連問題: 2. 関連問題-顎骨壊死, SSBT (骨代謝回転の過剰抑制) と非典型骨折, 骨粗鬆症治療におけるビスフォスフォネート製剤関連顎骨骨髄炎・顎骨壊死問題. 遠藤直人 編集, 219-223, 南江堂

## 論文発表

Taguchi A, Sugino N, Miki M, Kozai Y, Mochizuki N, Osanai H, Yamada S, Kuroiwa H, Fujiki T, Uchida K, Yoshinari N and Kashima I (2011) Detection of Japanese young adults with undetected low skeletal bone density using panoramic radiographs. *Dentomaxillofac Radiol* **40**: 154-9

Idei N, Soga J, Hata T, Fujii Y, Fujimura N, Mikami S, Maruhashi T, Nishioka K, Hidaka T, Kihara Y, Chowdhury M, Noma K, Taguchi A, Chayama K, Sueda T and Higashi Y (2011) Autologous bone-marrow mononuclear cell implantation reduces long-term major amputation risk in patients with critical limb ischemia: A comparison of atherosclerotic peripheral arterial disease and buerger disease. *Circ Cardiovasc Interv* **4**: 15-25

Taguchi A (2011) Screening for osteoporosis in dental clinics by panoramic radiographs. *J Dent Hlth* **61**: 183-8

Kavitha MS, Samopa F, Asano A, Taguchi A and Sanada M (2011) Computer-aided system for cortical width measurement of the mandible on dental panoramic radiographs to identify osteoporosis. *J Invest Clin Dent* **2**: 1-9

Uchiyama M, Anzai M, Ymamoto A, Uchida K, Utsuno H, Kawase Y and Kasahara E (2011) Root canal system of maxillary canine. *Okajima Folia Anatomica Japonica* **87**: 189-93

山田真一郎, 内田啓一, 三木 学, 落合隆永, 杉野紀幸, 長内 秀, 望月慎恭, 黒岩博子, 藤木知一, 吉成伸夫, 田口 明 (2011) CT 検査および超音波検査において sedimnet Level が疑われた鼻歯槽嚢胞の 1 例. *日口診誌* **24**: 250-4

内田啓一, 黒岩博子, 杉野紀幸, 山田真一郎, 長内秀, 望月慎恭, 藤木知一, 田口 明 (2011) 固有鼻腔内に異所萌出した過剰歯の 1 例. *小児口外* **20**: 174-6

内田啓一, 内山真紀子, 木村晃太, 三木 学, 黒岩博子, 杉野紀幸, 長内 秀, 望月慎恭, 山田真一郎, 藤木知一, 吉成伸夫, 田口 明 (2011) 下顎前歯部に発生した粘液腫の 1 例. *歯科放射線* **50**: 39-41

内田啓一, 三木 学, 吉成伸夫, 田口 明 (2011)

角化嚢胞性歯原性腫瘍の 1 例の Magnetic resonance 画像-MR imaging (MRI) の信号強度について. *松本歯学* **36**: 214-9

Uchida K, Miki M, Sugino N, Osanai H, Mochizuki N, Yamada S, Utsuno H, Yoshinari N and Taguchi A (2011) A case of multiple mandibular fractures resulting from a fall. *Jpan J Oral Diag / Oral Med*: 454-8

## その他の学術著作物

田口 明, 岡野友宏 (2011) 経口ビスフォスフォネート製剤関連顎骨骨髄炎・顎骨壊死-その現状と問題点-. *東京都歯科医師会雑誌* **59**: 4-10

田口 明 (2011) 歯科用パノラマ X 線写真を用いた骨粗鬆症スクリーニングの可能性. *THE BONE* **25**: 113-7

田口 明 (2011) 歯科医師の新たな役割-歯科のパノラマ X 線写真を用いて早期に骨粗鬆症患者をスクリーニングする (連載第 2 回). *日本顎咬合学会雑誌* **31**: 122-5

田口 明 (2011) 歯科医師の新たな役割-歯科のパノラマ X 線写真を用いて早期に骨粗鬆症患者をスクリーニングする (連載第 3 回). *日本顎咬合学会雑誌* **31**: 272-5

Kavitha MS, Asano A and Taguchi A (2011) Continuous measurements of mandibular cortical width on dental panoramic radiographs for computer-aided diagnosis of osteoporosis. *Proc. SPIE Medical Imaging* **7963**: 143

Idei N, Soga J, Hata T, Fujii Y, Fujimura N, Mikami S, Maruhashi T, Nishioka K, Hidaka T, Kihara Y, Chowdhury M, Noma K, Taguchi A, Chayama K, Sueda T and Higashi Y (2011) Response to the letter: Autologous bone-marrow mononuclear cell implantation reduces long-term major amputation risk in patients with critical limb ischemia: A comparison of atherosclerotic peripheral arterial disease and buerger disease. *Circ Cardiovasc Interv* **4**: e13.

Shinjo K, Izumi Y, Muneyasu M, Asano A, Uchida K and Taguchi A (2011) New automatic detection of carotid artery calcification in digital dental panoramic radiographs considering intensity gradients. *Proc. International Workshop on Smart Info-Media System in Asia (SISA)* 162-6

杉野紀幸, 塩島 勝 (2011) 歯科用コーンビーム CT の特徴とその活用法. *小児歯科臨床* **16**: 13-20

## 学会発表

IADR/AADR/CADR 89<sup>th</sup> General Session and Ex-

hibition, San Diego, USA, March, 2011

Taguchi A, Miki M, Migita K, Higashi Y and Yoshinari N : Association of tooth loss with silent lacunar infarction

IADR/AADR/CADR 89<sup>th</sup> General Session and Exhibition, San Diego, USA, March, 2011

Miki M, Taguchi A, Higashi Y, Yoshinari N : Comparison of content of water in the muscles of mastication

The 18<sup>th</sup> International Congress of Oral and Maxillo-Facial Radiology, Hiroshima, Japan, May, 2011

Taguchi A, Miki M, Migita K, Higashi Y, Yoshinari N : Panoramic radiography measure and silent lacunar infarction

The 18<sup>th</sup> International Congress of Oral and Maxillo-Facial Radiology, Hiroshima, Japan, May, 2011

Osanai H, Uchida K, Miki M, Sugino N, Yamada S, Mochizuki N, Yoshinari N, Taguchi A : Primary intraosseous odontogenic carcinoma arising in a keratocystic odontogenic tumour

特定非営利活動法人日本歯科保存学会2011年度春季学術大会（第134回）2011年6月（浦安市）

佐藤将洋, 大石真太郎, 河瀬雄治, 内山真紀子, 安西正明, 内田啓一, 山本昭夫, 笠原悦男, 音琴淳一 : アナターゼ型二酸化チタンの光触媒作用の解析（第5報）

特定非営利活動法人日本歯科保存学会2011年度春季学術大会（第134回）2011年6月（浦安市）

河瀬雄治, 内田啓一, 田口 明, 山口裕美, 内山真紀子, 佐藤将洋, 山本昭夫, 笠原悦男, 三木 学, 吉成伸夫 : 歯科保存領域における MRI 画像の有用性—診断が困難であった角化嚢胞性歯原性腫瘍の1症例

特定非営利活動法人日本歯科保存学会2011年度春季学術大会（第134回）2011年6月（浦安市）

河瀬雄治, 平井 要, 佐藤将洋, 吉田貴光, 内田啓一, 永沢 栄, 伊藤充雄, 山本昭夫, 笠原悦男 : マイクロバブルオゾンの口腔細菌に対する効果

特定非営利活動法人日本歯科保存学会2011年度春季学術大会（第134回）2011年6月（浦安市）

海瀬聖仁, 西田英作, 武藤昭紀, 三木 学, 窪川恵太, 内田啓一, 吉成伸夫 : 松本歯科大学, 歯周病学模型実習の概要とアンケート結果

松本歯科大学学会（総会）（第72回）2011年7月（塩尻）

山田真一郎, 田口 明, 内田啓一, 落合隆永, 杉野紀幸, 長内 秀, 望月慎恭 : CT 検査および超音波検査において sediment level が疑われた鼻歯槽嚢胞の1例

松本歯科大学学会（総会）（第72回）2011年7月（塩尻）

黒岩博子, 田口 明, 三木 学, 杉野紀幸, 藤木知一, 内田啓一, 山田一尋, 吉成伸夫 : 松本歯科大

学病院における顎関節 MRI 所見—Joint effusion の関連因子の評価—

Proc. 2011 International Workshop on Smart Info—Media System in Asia (SISA) Nagasaki, October, 2011

Shinjo K, Izumi Y, Muneyasu M, Asano A, Uchida K and Taguchi A (2011) New automatic detection of carotid artery calcification in digital dental panoramic radiographs considering intensity gradients

日本小児歯科学会中部地方会記念大会および総会（第30回）2011年11月（名古屋）

内田啓一, 田口 明, 大須賀直人, 岩崎 浩, 中山聡, 水谷智宏, 宇都野創, 黒岩博子, 宮沢裕夫 : 骨膜反応を伴った含菌性嚢胞の1例

日本レーザー歯学会総会・学術大会（第23回）2011年12月（大阪）

三木 学, 西田英作, 窪川恵太, 武藤昭紀, 内田啓一, 吉成伸夫 : Er : YAG レーザーと炭酸ガスレーザーによる歯肉メラニン除去の効果

## 特別講演

小諸北佐久医師会・歯科医師会合同学術講演会（招待講演）2011年1月（長野）

田口 明 : 経口ビスフォスフォネート製剤関連顎骨骨髓炎・顎骨壊死—その現状と問題点—

日本画像医学会（招待シンポジスト）（第30回）2011年2月（東京）

田口 明 : 「Bisphosphonate 製剤関連顎骨骨髓炎および顎骨壊死の最新情報」 : ビスフォスフォネート製剤関連顎骨骨髓炎・顎骨壊死の画像診断

新潟歯学会総会（招待講演）（第44回）2011年4月（新潟）

田口 明 : 歯科放射線学による予防医学の推進—骨粗鬆症スクリーニング法開発への道のりと動脈硬化, 乳癌スクリーニングへの展望—

信州骨粗鬆症セミナー（招待講演）（第10回）2011年7月（松本）

田口 明 : 口腔と骨粗鬆症との関わり—動脈硬化を交えて

## 講演会

松本歯科大学市民公開講座 2011年4月（塩尻）

田口 明 : 放射線を正しく知って頂くために  
岐阜大学大学院医学系研究科再生医科学専攻知能イメージ情報分野講演（招待セミナー）2011年7月（岐阜）

田口 明 : パノラマエックス線写真による骨粗鬆症スクリーニング法開発への道のり

安曇野市三師会（医師会, 歯科医師会, 薬剤師会）



講演会 (招待講演) 2011年 8 月 (安曇野)

田口 明: 歯科放射線学による予防医学の推進-骨粗鬆症スクリーニング法開発への道のり

愛媛県歯科医師会 (招待講演) 2011年10月 (松山)

田口 明: パノラマエックス線写真による骨粗鬆症スクリーニング

上伊那歯科医師会 (招待講演) 2011年10月 (伊那)

田口 明: 放射線を正しく知って頂くために

姫路市歯科医師会 (招待講演) 2011年10月 (姫路)

田口 明: 第1部「放射線を正しく知って頂くために」, 第2部「パノラマエックス線写真による骨粗鬆症スクリーニング」

#### 松本歯科大学推進研究費による研究

田口 明: 磁気共鳴撮像法 (MRI) における IDEAL を用いた成人の下顎骨髄信号の基準値策定に関する研究

#### 日本学術振興会科学研究費補助金による研究

田口 明: 梗塞性心臓血管疾患リスク患者の早期スクリーニングのための口腔衛生指標の開発 (基盤研究 C (2)) (代表)

田口 明: 血清アミロイド A を介した歯周病による動脈硬化症の発症診断 (基盤研究 C (2)) (分担)

#### その他の研究補助金による研究

田口 明: 日本骨粗鬆症財団リリー研究助成金 (代表) 口腔衛生指標による FRAX の10年間骨折リスクの推定に関する検討

田口 明: 広島大学原爆放射線医科学研究所重点研究 (代表) 血管内皮細胞機能解析に関する研究

#### 小児歯科学講座

#### 論文

楊 静, 李 憲起, 張 楠, 水谷智宏, 齋藤珠実, 正村正仁, 中山 聡, 押領司 謙, 岩崎 浩, 宮沢裕夫 (2011) 中国山西省小児の齲蝕罹患実態調査. 小児歯誌 49: 243-50

鷹股哲也, 橋井公三郎, 岡田芳幸, 中村貴美, 加藤優美子, 安西正明, 正村正仁 (2011) マウスガード材の衝撃荷重時の反発性能に関する実験的研究 高速度カメラによる動体解析. スポーツ歯学 14: 39-46

Imamura Y, Aoki H, Oomori Y, Miyazawa H and Wang PL (2011) Polymorphisms of the mannose-binding lectin gene *MBL* in periodontitis in pa-

tients with Down syndrome. Ped Dent J 21: 17-23

#### その他の学術著作物

中山 聡, 宮沢裕夫 (2011) 最新臨床の基礎12 小児歯科における補綴学的処置 (1) 支台築造と全部被覆冠. 小児歯科臨床 16: 49-56

中山 聡, 宮沢裕夫 (2011) 最新臨床の基礎13 小児歯科における補綴学的処置 (2) 欠損歯への対応. 小児歯科臨床 16: 51-5

#### 学会発表

成育歯科医療研究会大会 (第16回) 2011年 9 月  
可動型バンドループを用いて永久歯萌出スペースを確保した1例: 水谷智宏, 中山 聡, 岩崎 浩, 宮沢裕夫

歯科基礎医学会 (第53回) 2011年10月

IL-8 遺伝子プロモーター中の新規一塩基多型の転写制御と慢性歯周炎患者における一塩基多型解析: 青木伯永, 今村泰弘, 宮沢裕夫, 王 宝禮

日本子ども学会議学術集会 (第8回) 2011年10月

乳幼児期における歯磨き時の口腔内外傷と予防効果を付与した歯ブラシ: 水谷智宏, 中山 聡, 岩崎 浩, 宮沢裕夫

日本小児歯科学会中部地方会記念大会 (第30回) 2011年10月

可動型バンドループを用いて永久歯萌出スペースを確保した2症例: 水谷智宏, 中山 聡, 岩崎 浩, 宮沢裕夫

クメール人幼児の齲蝕と生活環境: 岩崎 浩, 陳彦呈, 水谷智宏, 中山 聡, 宮沢裕夫

各種歯牙保存液が歯根膜に及ぼす影響-培養線維芽細胞の形態観察と生存率の推移-: 紀田晃生, 山川洋子, 正村正仁, 大須賀直人

骨膜反応を伴った含菌性嚢胞の1例: 内田啓一, 田口 明, 大須賀直人, 岩崎 浩, 中山 聡, 水谷智宏, 宇津野創, 黒岩博子, 宮沢裕夫

日本小児歯科学会大会 (第49回) 2011年11月

カンボジア王国小児の歯科疾患実態調査と予防プログラム確立に向けて-シェムリアップ州サムロン・スパーン村の小児の齲蝕の現状-: 岩崎 浩, 陳彦呈, 水谷智宏, 中山 聡, 宮沢裕夫 (小児歯誌 49: 308, 2011)

中国人小児 (広東省佛山市幼稚園児) の齲蝕に関わる環境要因の分析: 楊 静, 李 憲起, 陳彦呈, 水谷智宏, 中山 聡, 岩崎 浩, 宮沢裕夫 (小児歯誌 49: 309, 2011)

中国山西省小児の齲蝕に関わる環境要因分析: 李憲起, 張 楠, 陳彦呈, 水谷智宏, 楊 静, 岩崎 浩, 宮沢裕夫 (小児歯誌 49: 310, 2011)

歯科大学病院小児歯科における口腔外傷患者の実

態調査 第2報：17年前の受傷状況と処置内容の比較：溝畑亜紀子，中村浩志，大須賀直人，岩崎 浩，犬塚勝昭，宮沢裕夫（小児歯誌 49：313，2011）

乳歯の抜歯後に急性特発性血小板減少性紫斑病が判明した1例：水谷智宏，福地輝代，中山 聡，岩崎 浩，宮沢裕夫（小児歯誌 49：328，2011）

乳歯列期重度齲蝕症  $\beta$ -ディフェンシン1遺伝子の一塩基多型解析：青木伯永，今村泰弘，岩崎 浩，王 宝禮，宮沢裕夫（小児歯誌 49：372，2011）

### 科学研究費

岩崎 浩，中山 聡，水谷智宏，宮沢裕夫：カンボジア国シムリアップ州小児の歯科疾患調査と予防プログラム確立に向けて（基盤研究B）

中村浩志：唇顎口蓋裂児に対する骨再生と口腔インプラントに関する基礎的研究（基盤C一般）

### 松本歯科大学推進研究費による研究

青木伯永：小児期重度齲蝕症発症の遺伝的要因の解明と齲蝕治療・予防への応用

### 講演

信州産学官連携機構 新技術説明会 2011年8月  
歯磨き時の転倒による不慮のケガを防ぐ歯ブラシ：水谷智宏

イノベーション・ジャパン2011 大学見本市  
2011年10月

幼児や要介護高齢者による歯磨きの際に発生する不慮のケガを防ぐ歯ブラシ：水谷智宏

### 特許取得

特許取得：2011年4月12日（特許申請2010年10月25日）

出願番号：2010-238274064773

取得番号：第4732545号

名称：歯磨きに於ける口腔内外傷発生防止用歯ブラシ

水谷智宏，中山 聡，岩崎 浩，宮沢裕夫，竹下重雄

### その他

信濃毎日新聞 2011年9月23日

医療・健康 幼児のけがを防ぐ歯ブラシ：水谷智宏

## 障害者歯科学講座

### 著書

Palmer JB, Pelletier C and Matsuo K (2011) Rehabilitation of Patients with Swallowing Disorders. In: Braddom R Chan L, Harrast MA, Kowalske KJ, Matthews DJ, Ragnarsson KT and Stolp KA (Eds): Physical Medicine and Rehabilitation (Ed. 4). Philadelphia: Elsevier, pp 581-600

### 論文発表

松尾浩一郎，河瀬総一郎，脇本仁奈，望月千穂，武井洋一，大原慎司，小笠原 正（2011）頸部回旋法により食道入口部の開大を認めた咽頭遠位型ミオパチーの一症例-頸部回旋法の新たな適用についての一考察-。日摂食嚥下リハ会誌 15：55-63

Tashiro K, Katoh T, Yoshinari N, Hirai K, Andoh N, Makii K, Matsuo K and Ogasawara T (2011) The short-term effects of various oral care methods in dependent elderly: comparison between tooth-brushing, tongue cleaning with sponge brush and wiping on oral mucous membrane by chlorhexidine. Gerodontology 29：870-82

脇本仁奈，松尾浩一郎，河瀬聡一郎，隅田佐知，植松紳一郎，藤井 航，馬場 尊，小笠原 正（2011）頸部回旋の角度変化が咀嚼中の食物通過経路に及ぼす影響。老年歯科医学 26：3-11

### その他の学術著作物

特許権：口唇開口器具（特許第4819955号）

### 学会発表

中部歯科麻酔学会（第45回）2011年5月  
プロポフォール投与により高アミラーゼ血症を呈し，高熱がみられた症例：小笠原 正，河瀬総一郎，河瀬瑞穂，脇本仁奈，松尾浩一郎

北信越障害者歯科臨床研究会（第2回）2011年6月

全身麻酔下歯科治療後の歯科保健管理の中断要因：伊沢正行，三井達久，鈴木貴之，河瀬聡一郎，牧井覚万，脇本仁奈，松尾浩一郎，小笠原 正

東日本大震災における障害者施設の現状：鈴木貴之，河瀬聡一郎，磯野員達，伊沢正行，三井達久，松尾浩一郎，小笠原 正

抑制治療により歯科治療が困難となった22番環状染色体異常症候群の一例：磯野員達，河瀬聡一郎，鈴木貴之，伊沢正行，三井達久，松尾浩一郎，小笠原

正

歯科治療時のプロポフォール投与により高アミラーゼ血症をきたした一例：三井達久，伊沢正行，鈴木貴之，磯野員達，河瀬聡一郎，河瀬瑞穂，松尾浩一郎，小笠原 正

松本歯科学会（第72回）2011年7月

東日本大震災における歯科医療派遣を経験して：鈴木貴之，河瀬聡一郎，松尾浩一郎，薄井陽平，荒井敦，松田浩和，小笠原 正，山田一尋，村居正雄，澤口通洋，栢本大祐，笠原 浩

日本矯正歯科学会大会（第70回）2011年10月

東日本大震災活動報告歯科医療支援活動に参加して：薄井陽平，荒井 敦，松田浩和，金沢昌律，森山敬太，松尾浩一郎，河瀬聡一郎，鈴木貴之，久野喬，八上公利，海瀬聖仁，望月慎恭，水澤 愛，後藤紗世子，小笠原 正，笠原 浩，山田一尋

日本歯科麻酔学会 2011年10月

プロポフォール投与により高アミラーゼ血症をきたした一例：小笠原 正，河瀬聡一郎，河瀬瑞穂，松尾浩一郎

日本障害者歯科学会（第28回）2011年11月

口腔ケア補助具リップオープナーの口腔ケア手技への効果-開口操作の比較-：松尾浩一郎，河瀬聡一郎，脇本仁奈，牧井覚万，小笠原 正

神経筋疾患患者における入院，嚥下検査前後の栄養摂取レベルの変化と関連因子の検討-Functional Oral Intake Scale (FOIS) を用いた検討-：松尾浩一郎，牧井覚万，河瀬聡一郎，脇本仁奈，小笠原 正

Costello 症候群の一例 (Dental treatment of a patients with Costello syndrome : a case report)：渡部義基，河瀬瑞穂，三井貴信，小柴慶一，平出吉範，野原 智，小島広臣，松尾浩一郎，小笠原 正

神経筋疾患における口唇圧と舌圧の関連性-多方位口唇閉鎖力測定装置を用いた検討-：脇本仁奈，松尾浩一郎，河瀬聡一郎，岩谷和大，小笠原 正

介助磨き時における介助者への血液や唾液汚染の危険性 第1報 ATP ふき取り検査による汚染状態の基礎的検討：新井麻衣子，水澤 愛，山村清美，渭東淳行，大槻真理子，榊原雅弘，穂坂一夫，松尾浩一郎，小笠原 正

介助歯磨き時における介助者への血液や唾液汚染の危険性 第2報 正しいブラッシングが汚染を防止するか：水澤 愛，新井麻衣子，山村清美，副島之彦，大槻征久，松村康平，平出吉範，小柴慶一，松尾浩一郎，小笠原 正

ラバーダム装着が咽頭腔の狭窄と呼吸リズムに及ぼす影響：岩谷和大，松尾浩一郎，望月慎恭，清水直人，安東信行，脇本仁奈，松尾浩一郎，小笠原 正

静脈麻酔下における圧反射感受性の維持に関する

研究：隅田佐知，岡田芳幸，岡田尚則，福澤雄司，松尾浩一郎，小笠原 正

抑制治療により歯科治療が困難となった環状22番染色体症候群の一例：磯野員達，岩谷和大，薦田智，渭東淳行，三井貴信，正田行穂，松尾浩一郎，小笠原 正

東日本大震災における障害者施設への歯科支援活動：河瀬聡一郎，松尾浩一郎，望月慎恭，鈴木貴幸，三井達久，小笠原 正，笠原 浩

東日本大震災における歯科支援ニーズの変化：望月慎恭，松尾浩一郎，河瀬聡一郎，鈴木貴幸，三井達久，小笠原 正，笠原 浩

要介護高齢者に対する3%ポリリン酸含有保湿剤の日和見感染菌への有用性：久野 喬，星野正憲，松木倫和，平井 要，塚田久美子，川瀬ゆか，松尾浩一郎，小笠原 正

重症心身障害者における笑気濃度差による鎮静効果の検証-自律神経系と外部行動より-：河瀬瑞穂，河瀬聡一郎，伊沢正彦，高井経之，松村康平，松尾浩一郎，小笠原 正

日本老年歯科医学会（第21回）2011年6月

二相性食品の咀嚼・嚥下機能ヘトロミ調整食品が与える影響：松尾浩一郎，河瀬聡一郎，脇本仁奈，小笠原 正

## 特別講演

平成22年度 JST イノベーションサテライト静岡研究成果報告会 2011年1月（浜松市）

口腔ケアの標準化に向けて-簡易式リップオープナーの開発-：松尾浩一郎

平成22年度愛知県歯科医学大会 特別講演 2011年2月20日

要介護高齢者への口腔ケア：小笠原 正

信濃毎日新聞市民公開講座 2011年8月（塩尻市）  
誤嚥性肺炎の予防-歯科医の立場から-：松尾浩一郎

在宅ケアを支える診療所・市民全国ネットワーク  
第17回全国の集い in しんしゅう-シンポジウム  
2011年9月19日（松本市）

口の中で何が起きているのか？-口腔内の観察ポイントおよび歯科医療連携による摂食機能回復-：松尾浩一郎

口の中の気になる所見と連携：小笠原 正

日本障害者歯科学会認定医研修会（第2回）2011年11月4日

レディネスの再考：小笠原 正

日本障害者歯科学会 シンポジウム（第28回）2011年11月5日

障害者歯科における静脈内鎮静法をめぐって：小笠原 正

日本障害者歯科学会 セミナー（第28回）2011年

11月（博多市）

歯科は 摂食・嚥下障害に なぜ関わり どのように対応するべきか？：松尾浩一郎

## 講演会

山梨県歯科医師会平成22年度在宅歯科診療推進研修会 2011年1月23日（甲府）

障害者歯科の基本理念・実際について：小笠原正（招待講演）

富山嚥下研究会 2011年2月（富山市）

実践!! 摂食・嚥下リハビリテーション：松尾浩一郎

蒲郡市歯科医師会障害者歯科研修会 2011年2月27日（蒲郡）

発達障害と歯科医療：小笠原正（招待講演）

NPO 長野県高齢者福祉協会施設部専門部会 2011年3月（松本市）

摂食・嚥下障害とその対応：松尾浩一郎

安曇野市歯科医師会学術講演会 2011年3月5日

高齢者への口腔ケア，救急医療：小笠原正（招待講演）

岡谷下諏訪歯科医師会救急医療講習会 2011年2月16日（岡谷市）

救急医療：小笠原正，河瀬聡一郎，渡部義基，磯野員達，久野 喬，岩谷和久（招待講演）

保険医協会施設基準対策研修会 2011年3月15日（長野市）

院内感染対策，緊急時対応，高齢者の口腔機能管理：小笠原正（招待講演）

保険医協会施設基準対策研修会 2011年3月23日（松本市）

院内感染対策，緊急時対応，高齢者の口腔機能管理：小笠原正（招待講演）

松本歯科大学校友会 山梨支部 2011年4月（甲府市）

これからの歯科医療の摂食・嚥下障害への関わり：松尾浩一郎

北佐久歯科医師会 学術セミナー 2011年6月（佐久市）

摂食・嚥下障害への対応-観察から嚥下内視鏡検査まで-：松尾浩一郎

塩筑歯科医師会学術講演会 2011年6月9日（松本市）

安全な歯科医療：小笠原正（招待講演）

上田小県歯科医師会 学術講演会 2011年7月（上田市）

食べるということの最近の考え方と臨床的アプローチ：松尾浩一郎

長野県歯科衛生士会 専門的口腔ケア研修会 2011年7月（松本市）

摂食嚥下の観察と評価：松尾浩一郎

舞鶴市歯科医師会 2011年7月（舞鶴市）

食べるということの最近の考え方と臨床的アプローチ：松尾浩一郎

山梨県歯科医師会平成22年度在宅歯科診療推進研修会 2011年7月24日（甲府）

障害者歯科の実際について：小笠原正（招待講演）

沖縄県障害者歯科地域協力医研修会 2011年8月7日（那覇市）

レディネスと治療方針：小笠原正（招待講演）

香川県保険医協会救急医療講習会 2011年8月25日（高松市）

小笠原正，磯野員達（招待講演）

小児在宅療育を支えるケア技術研修会 2011年8月27日（安曇野市）

障害を持つ子どもの口腔衛生と実技研修：小笠原正，山村清美（招待講演）

長岡歯科医師会学術講演会 2011年9月17日（長岡市）

安心・安全な要介護高齢者の歯科治療：小笠原正（招待講演）

富山県歯科医師会平成23年度障害者歯科医療研修会

障害者の歯科治療 治療方針の選択：小笠原正（招待講演）

塩尻市社会福祉センター講演会 2011年10月3日（塩尻市）

高齢者の口の健康：小笠原正

長野県小児歯科医会 2011年10月6日（塩尻市）

最近のトピックス；発達障害，虐待，感染症：小笠原正（招待講演）

岐阜市歯科医師会学術講演 2011年10月20日（岐阜市）

安心・安全な在宅歯科診療，医学的問題点への対応：小笠原正（招待講演）

富山嚥下研究会 2011年11月（富山市）

実践に向けた知識の整理・症例検討：松尾浩一郎

松本歯科大学関東4支部合同講演会 2011年11月（新宿区）

歯科は 摂食・嚥下障害に なぜ関わり どのように対応するべきか？：松尾浩一郎

平成23年度大北歯科医師会救急医療講習会（大町）2011年11月8日

歯科外来診療環境体制 在宅療養支援歯科：小笠原正（招待講演）

愛知県歯科医師会障害者歯科医療ネットワーク推進事業

平成23年度第5回講習会 2011年11月13日（名古屋）

安全な障害者歯科治療 偶発症と事故の予防と対応：小笠原正（招待講演）

第3回にいがた摂食・嚥下障害サポート研究会

2011年12月（新潟市）

咀嚼と嚥下と呼吸の関係：松尾浩一郎

長野県介護福祉士会中信支部 2011年12月（松本市）

摂食・嚥下障害への対応：松尾浩一郎

門真市歯科医師会学術講演会 2011年12月10日（門真市）

発達障害、介助歯磨き：小笠原 正，水澤 愛（招待講演）

諏訪市歯科医師会 救急医療実技講習会 2011年12月13日

救急医療：小笠原 正，河瀬聡一郎，渡部義基，磯野員達，久野 喬，岩谷和久（招待講演）

#### 日本学術振興会科学研究費補助金による研究

柿木保明，西原達次，角館直樹，柏崎晴彦，小関健由，佐藤裕二，里村一人，伊藤加代子，小笠原正，岸本悦央：高齢者のドライマウスの実態調査及び標準的ケア指針の策定に関する研究（平成23年度厚生労働科学研究費補助金 長寿科学総合研究事業）

宮脇卓也，江草正彦，小笠原 正，上山吉哉，石田瞭：障害者歯科におけるEBM確立を目的としたクリニカルパス開発および利用に関する研究（平成23年度厚生労働科学研究費補助金（障害者対策総合研究事業））

江草正彦，宮脇卓也，森 貴幸，武田則昭，小笠原正：地域主導型の障害者歯科における地域連携クリニカルパスの開発過程（基盤研究C）

松尾浩一郎：摂食・嚥下機能障害への呼吸調節機能障害の関与（若手研究B），代表研究者

松尾浩一郎：摂食嚥下機能に対する口腔軟組織，顎顔面形態と不正咬合の関わり（基盤研究C），分担研究者（研究代表者：山田一尋 松本歯科大学矯正学講座教授）

#### その他の研究補助金による研究

平成23年度知財活用促進ハイウェイ「大学特許価値向上支援」

松尾浩一郎：障害児への口腔ケア補助具「小児用リップオープナー」の開発

平成23年度日本摂食・嚥下リハビリテーション学会研究助成

松尾浩一郎：神経筋疾患における摂食・嚥下障害の進行と口唇圧，舌圧低下との関連性

#### 歯科麻酔学講座

#### 著 書

澁谷 徹（分担執筆）（2011）歯科麻酔学，第7版，429-36，医歯薬出版，東京

澁谷 徹（分担執筆）（2011）臨床歯科麻酔学，第4版，28-37，162-70，240-3，392-406，永末書店，京都

#### 論文発表

林 麻依子，戸木田怜子，宮澤英樹（2011）上顎埋伏歯が原因と考えられた三叉神経痛の1例．日歯麻誌 39：55-6

中島 萌，谷山貴一，村田賢司，長江麻帆，澁谷徹（2011）気道管理困難が予想された歯肉増殖症患者の全身麻酔経験．日歯麻誌 39：216-7

村田賢司，谷山貴一，大野忠男，丹羽 萌，澁谷徹（2011）横紋筋融解症の既往をもつ福山型先天性筋ジストロフィー患児の歯科治療時の全身麻酔経験．日歯麻誌 39：304-5

村田賢司，谷山貴一，鹿内恒樹，丹羽 萌，大野忠男，遠藤理香，澁谷 徹（2011）歯科口腔外科領域の全身麻酔における成人と小児の鼓膜温測定に関する検討．日歯麻誌 39：285-91

#### その他の学術著作物

澁谷 徹（分担執筆）（2011）基礎疾患と関係なく起こる全身的偶発症（1）．歯科医療 25：14-9

#### 学会発表

中部歯科麻酔研究会（第45回）2011年5月

横紋筋融解症の既往をもつ福山型先天性筋ジストロフィー患児の歯科治療時の全身麻酔経験：村田賢司，谷山貴一，大野忠男，丹羽 萌，澁谷 徹

日本有病者歯科医療学会総会・学術大会（第20回）2011年6月

術後に発熱をきたした筋強直性ジストロフィー症患者の麻酔経験：村田賢司，谷山貴一，丹羽 萌，大野忠男，澁谷 徹

日本歯科麻酔学会総会・学術集会（第39回）2011年10月

脊髄性筋萎縮症患者に対する歯科治療時の全身麻酔経験：大野忠男，谷山貴一，村田賢司，丹羽 萌，澁谷 徹

ストレスに伴う自律神経活動の変化に対する笑気吸入鎮静法の影響：丹羽 萌，谷山貴一，村田賢司，隅田佐知，石田麻依子，大野忠男，澁谷 徹

松本歯科大学病院における精神鎮静法症例についての統計学的検討：村田賢司，谷山貴一，丹羽 萌，大野忠男，隅田佐知，石田麻依子，遠藤理香，長江麻帆，澁谷 徹

長時間作用性局所麻酔薬を用いた伝達麻酔の下顎埋伏智歯抜去時の術後疼痛管理における有用性：實藤信之，谷山貴一，村田賢司，大野忠男，澁谷 徹

松本歯科大学学会（例会）（第73回）2011年11月

局所麻酔薬の組織血流量への影響：大野忠男，谷山貴一，村田賢司，隅田佐知，石田麻依子，丹羽 萌，澁谷 徹

日本障害者歯科学会および学術大会（第28回）2011年11月

静脈麻酔下における圧反射感受性の維持に関する研究：隅田佐知，岡田芳幸，岡田尚則，福澤雄司，松尾浩一郎，小笠原 正

中部歯科麻酔研究会（第46回）2011年12月

心疾患と軽度の腎障害を伴った歌舞伎メーキャップ症候群児の全身麻酔経験：隅田佐知，谷山貴一，村田賢司，丹羽 萌，大野忠男，石田麻依子，澁谷 徹

## 社会歯科学講座

## 論文

牧 茂，矢ヶ崎 雅，八上公利，川原一郎，笠原香，中根 卓，定岡 直，小口久雄（2011）歯科保健条例についての研究 内容の検討，制定の背景と理念法としての構築．松本歯学 **37**：89-96

Tadokoro O, Kawahara I and Vandevska-Radunovic V (2011) Reactions of periodontal ligament epithelial cell clusters and OX6-immunopositive cells to experimental tooth movement and periodontitis. J Periodontal Res **46**：584-91

Muto A, Mizoguchi T, Udagawa N, Ito S, Kawahara I, Abiko Y, Arai A, Harada S, Kobayashi Y, Nakamichi Y, Penninger JM, Noguchi T and Takahashi N (2011) Lineage-committed osteoclast precursors circulate in blood and settle down into bone. J Bone Miner Res **26**：2978-90

## 学会発表

日本口腔科学会学術集会（第65回）2011年4月

陽イオン処理チタンインプラントに対する骨芽細胞分化および骨形成過程の生化学的，組織化学的検討：八上公利，定岡 直，宇田川信之，牧 茂，村上広樹

骨髄間質細胞培養系担体および培養骨膜を用いた

骨再生法の開発に関する基礎的研究：和田圭之進，三宅 実，田村和也，目黒敬一郎，片桐幸大，南佑子，荒木咲弥加，澤井 史，三木武寛，今川尚子，岩崎昭憲，小川尊明，大林由美子，太田信介，八上公利，畠 賢一郎，松井義郎

甲信越北陸口腔保健研究会総会（第22回）2011年7月

ヒト歯根膜線維芽細胞と Chromogranin A との関連性について：定岡 直，八上公利，川原一郎，笠原香，中根 卓，小口久雄，牧 茂

日本骨代謝学会学術大会（第30回）

反重力装置の創製による骨芽細胞に対する重力効果の研究：久保木芳徳，孫 永昆，滝田裕子，賀来亨，西村浩之，菊地敦紀，小川真吾，八上公利

歯科基礎医学会学術大会（第53回）2011年9月

ヒト歯根膜線維芽細胞と Chromogranin A との関連性について：定岡 直，八上公利，川原一郎，笠原香，中根 卓，牧 茂

最適空間を有する人工マトリックスと，新しい反重力装置を組み合わせた生体により近い3次元培養システムの構築：久保木芳徳，滝田裕子，賀来亨，西村浩之，八上公利，安孫子宜光

日本口腔衛生学会総会（第60回）2011年10月

化学的ストレスにより歯根膜線維芽細胞が発現するストレス反応性タンパクについて：定岡 直，八上公利，川原一郎，笠原 香，中根 卓，小口久雄，牧 茂

Oligonol の *streptococcus mutans* および *Porphyromonas gingivalis* に対する作用の検討：八上公利，平井 要，定岡 直，川原一郎，笠原 香，中根 卓，小口久雄，牧 茂

歯科診療におけるメタクリル酸モノマー曝露について：笠原 香，定岡 直，八上公利，川原一郎，中根 卓，小口久雄，牧 茂

日本解剖学会中部支部学術集会（第71回）2011年10月

骨髄間質細胞培養系担体と培養骨膜を組み合わせた安全性の高い骨再生法の開発に関する基礎的研究：和田圭之進，三宅 実，田村和也，三木武寛，岩崎昭憲，小川尊明，大林由美子，太田信介，八上公利，畠 賢一郎，松井義郎

日本バイオマテリアル学会大会（第33回）2011年11月21，22日（京都市）

HA コートチタンインプラント-骨界面超微細構造観察：川原一郎，花田 剛，八上公利，中山貴裕，村上剛一，柳沢 茂，高橋直之

## 教育学習支援センター

## 著 書

Kawakami T, Nakano K, Shimizu T, Kimura A, Okafuji N, Tsujigiwa H, Hasegawa H and Nagatsuka H (2011) Histopathological and immunohistochemical background of orthodontic treatment. Leon V. Berhardt Ed.: Advances in Medicine and Biology. Volume 18, Nova Science Publishers, New York, USA, ISBN : 978-1-61122-791-8

## 論文発表

Saito S, Nakano K, Nabeyama A, Sato M, Okafuji N, Yamamoto A, Kasahara E and Kawakami T (2011) Immunohistochemical expression of heat shock protein 27 in the mouse dental pulp after immediate teeth separation. Eur J Med Res 16 : 495-500

Nabeyama A, Nakano K, Saito S, Sato M, Okafuji N, Yamamoto A, Kasahara E and Kawakami T (2011) Immunohistochemical expression of hard tissue related factors in the mouse dental pulp after immediate teeth separation. Eur J Med Res 16 : 507-13

Fujinami Y, Nakano K, Ueda O, Ara T, Hattori T, Kawakami T (2011) Dental Caries Area of Rat Molar Expanded by Cigarette Smoke Exposure. Caries Res 45 : 561-7

Tashiro K, Katoh T, Yoshinari N, Hirai K, Andoh N, Makii K, Matsuo K and Ogasawara T (2011) The short-term effects of various oral care methods in dependent elderly : comparison between toothbrushing, tongue cleaning with sponge brush and wiping on oral mucous membrane by chlorhexidine. Gerodontology 29 : 870-82

岡藤範正, 中野敬介, 山木貴子, 魚住智子, 横井由紀子, 安東信行, 大須賀直人, 西川康博 (2011) 実験的外傷ストレスを負荷した歯周組織変化-歯科矯正学的視点からの検討-. 日本外傷歯学会雑誌 7 : 25-31

村岡理奈, 中野敬介, 松田浩和, 共田真紀, 岡藤範正, 山田一尋, 川上敏行 (2011) 実験的歯科矯正力により歯根膜組織に発現する HSP70 の役割に関する一考察. J Hard Tissue Biol 20 : 275-82

松田浩和, 原田寿久, 村岡理奈, 共田真紀, 岡藤範正 (2011) 歯科矯正力によりマウス歯周組織に発現する Osterix の免疫組織化学的観察. J Hard Tissue Biol 20 : 283-8

藤田宗輝, 中野敬介, 前田初彦, 吉田和加, 鳥居

亮太, 芳山昌典, 岡藤範正, 長谷川博雅, 川上敏行 (2011) エナメル上皮腫における HSP27 の免疫組織化学的観察. J Hard Tissue Biol 20 : 289-94

佐藤将洋, 中野敬介, 斎藤進之介, 鍋山篤史, 岡藤範正, 山本昭夫, 笠原悦男, 長谷川博雅, 川上敏行 (2011) Chromogranin A のマウス歯髄と歯周組織における発現. J Hard Tissue Biol 20 : 295-300

村岡理奈, 辻極秀次, 中野敬介, 片瀬直樹, 玉村亮, 富田美穂子, 岡藤範正, 長塚 仁, 川上敏行 (2011) 移植骨髄由来細胞の歯周組織への移動と細胞分化. J Hard Tissue Biol 20 : 301-6

山木貴子, 時崎匡史, 山木 誠, 清水由美, 岡藤範正 (2011) 筋機能訓練装置を応用した患者における年間成長発育量の検討. 顎咬合誌 31 : 196-205

岡藤範正, 安東信行 (2011) 実験的外傷ストレスを負荷した歯周組織変化-歯科矯正学的視点からの検討-. 日外傷歯会誌 7-1 : 25-31

## その他学術著作物

岡藤範正 (2011) 乳歯列から永久歯列における歯科矯正学的アプローチ. 松本歯科大学校友会大阪府支部会報 ALUMNI 24 : 15-27

## 学会発表

硬組織再生生物学会総会 (第20回) 2011年 8 月

メカニカルストレスが引き起こすマウス歯根膜組織における HSP70 の発現変化 : 村岡理奈, 中野敬介, 松田浩和, 共田真紀, 岡藤範正, 山田一尋, 川上敏行 (J Hard Tissue Biol 20 : 268, 2011)

硬組織再生生物学会総会 (第20回) 2011年 8 月

実験的歯間分離によりマウス歯髄に発現する硬組織関連因子 : 鍋山篤史, 中野敬介, 斎藤進之介, 佐藤将洋, 岡藤範正, 山本昭夫, 笠原悦男, 川上敏行 (J Hard Tissue Biol 20 : 268, 2010)

歯科基礎医学会 (第53回) 2011年 9 月

歯科矯正学的牽引側歯根膜に発現する HSP27 骨芽細胞分化誘導の分子シャペロンとしての可能性 : 村岡理奈, 中野敬介, 松田浩和, 共田真紀, 岡藤範正, 山田一尋, 川上敏行 (J Oral Biosci 53(S) : 183, 2011)

歯科基礎医学会 (第53回) 2011年 9 月

歯科矯正学的メカニカルストレスによるマウス歯根膜組織における Osterix の発現 : 松田浩和, 村岡理奈, 共田真紀, 中野敬介, 岡藤範正, 山田一尋, 川上敏行 (J Oral Biosci 53(S) : 185, 2011)

日本歯科医学教育学会 (第30回) 2011年 9 月

松本歯科大学病院臨床研修歯科医の症例報告分析 : 音琴淳一, 黒岩昭弘, 上松隆司, 安西正明, 吉成伸夫, 山本昭夫, 倉澤郁文, 岡藤範正 (抄録集 : p 38)

日本矯正歯科学会大会（第70回）2011年10月  
 歯科矯正力が引き起こすマウス歯根膜細胞におけるHSP70の免疫組織化学的発現変化：村岡理奈，中野敬介，松田浩和，共田真紀，岡藤範正，山田一尋，川上敏行（プログラム・抄録集：p 233）

障害者歯科学会総会（28回）2011年11月  
 開口とラバーダム装着が上気道の形態と呼吸リズムに及ぼす影響：岩谷和太，松尾浩一郎，脇本仁奈，河瀬聡一朗，安東信行，望月慎恭，小笠原 正（障害者歯科 **32**：422，2011）

総合歯科医学協議会（2011年度）2011年12月  
 症例報告分析による松本歯科大学病院臨床研修指導医スキルの変化：音琴淳一，黒岩昭弘，山本昭夫，岡藤範正（抄録集：p 22）

歯科チタン学会学術講演会（第25回）2012年 2 月  
 二酸化チタン焼結体の生体材料への応用-アナターゼ型 TiO<sub>2</sub> 粉末を出発原料とした焼結体の評価：横井由紀子，谷内秀寿，安東信行，音琴淳一，藤井健男，岡藤範正（抄録集：p 13）

## 講演会

松本歯科大学校友会静岡県支部総会 学術講演会  
 2011年 3 月

松本歯科大学の現状と最近の矯正治療について：  
岡藤範正

松本歯科大学高知県同窓会 学術講演会 2011年  
 5 月

乳歯列から永久歯列における不正咬合へのアプローチ：岡藤範正

アレキサンダー研究会例会 教育講演（第27回）  
 2011年 7 月

歯科矯正治療における矯正力～外傷歯治療からの検討～：岡藤範正

松橋市市民公開講座 2011年11月

本当は怖い？ 歯周病-口から広がる全身の病気-：音琴淳一

松本歯科大学校友会大阪府支部総会 学術講演会  
 （第10回）2011年11月

乳歯列から永久歯列における歯科矯正学的アプローチ：岡藤範正（プログラム・抄録集：p 14）

松商学園 出張講義 2011年12月

歯科大学の学びについて：岡藤範正

## 日本学術振興会科学研究費補助金による研究

岡藤範正，中野敬介，富田美穂子，川上敏行，辻極秀次：骨髄幹細胞を用いた歯科矯正学的リモデリングの促進とその分子調節機構の解明（基盤研究 C）

横井由紀子：傾斜機能を有する二酸化チタンバイオセラミックスの創生（若手研究 B）

## 松本歯科大学病院

## 総合診療科

## 論文発表

鷹股哲也，橋井公三郎，岡田芳幸，中村貴美，加藤優美子，安西正明，正村正仁（2011）マウスガード材の衝撃荷重時の反発性能に関する実験的研究-高速カメラによる動体解析-。スポーツ歯学 **14**：39-46

Hashii K，Takamata T，Okada Y，Anzai M，Shoumura and Nakamura T（2011）“Double layered mouthguard” for upper edentulous patient. J Sports Dent **4**：15-20

Tomida M，Numao H，Yamashita S，Kasahara T，Nakamura T，Ando H，Takamata T and Asanuma N（2011）Factors Related with the Number of Chewing Strokes for Recognizing Taste. J Oral Biosci **53**：338-347

## 学会発表

International Association for Dental Research，  
 89<sup>th</sup> General Session of the IADR，March，2011

Comparison of main occluding areas between implant and denture patients：Tanigawa Y，Nakatsuka Y，Yamashita S，Kasahara T and Hashii K

鷹股哲也，橋井公三郎，岡田芳幸，中村貴美，安西正明，正村正仁：Tow in One ラミネートマウスガードの試作とその評価

日本スポーツ歯科医学会総会ならびに学術大会  
 2011年 6 月25日，26日（千葉市文化センター）

谷川雄一，笠原隼男，山下秀一郎，鷹股哲也：臼歯部咬合支持の喪失をインプラントと部分床義歯で補綴処置した場合の主機能部位の比較

第41回日本口腔インプラント学会学術大会 2011年 9 月17日（名古屋国際会議場）

日本口腔インプラント学会雑誌第24巻特別号：202，2011

黒岩昭弘，倉澤郁文，土屋総一郎，片瀬剛士，安東史子，後藤東太，笠原隼男，杉田乃亮，中村典正，加藤 潤，鷹股哲也：上顎排列法を応用した合理的な咬合採得

平成23年度日本補綴歯科学会東海支部総会ならびに学術大会 2011年10月 1 日， 2 日

## 学術講演会

松本市歯科医師会市民公開講座 2011年 3 月12日



(土) (松本市歯科医師会館 4 階大会議室)

スポーツマウスガードは運動能力を向上させる? : 鷹股哲也

松本市歯科医師会学術大会 2011年7月23日(土)  
(松本市歯科医師会館デンタルホール)

ライブで見る, より機能的なマウスガードの製作について: 鷹股哲也

松本市歯科医師会市民公開講座 2011年10月1日  
(土) (松本市民芸術館小ホール)

お子さんの歯をケガから守る: 鷹股哲也

## 眼科

### 論文発表

Ohta K, Kikuchi T, and Yoshida N (2011) Slowly progressive non-neoplastic autoimmune-like retinopathy. Graefes Arch Clin Exp Ophthalmol **249**: 155-8

### その他の学術著作物

佐藤敦子, 根木 昭 (2011) 今月の表紙 Von Hippel-Lindau 病. 臨床眼科 **65**(1)

太田浩一 (2011) 眼科医のための先端医療 眼内悪性リンパ腫の新たな治療法. あたらしい眼科 **28**: 383-5

### 学会発表

Association Research visual Science and Ophthalmology Annual meeting. Fort Lauderdale, FL, USA. May 4<sup>th</sup>

Imai H, Ohta K, Kikuchi T, Komurasaki Y, Miyazaki D and Ikeda S: Cancer-associated retinopathy in patient with seminoma

日本眼科学会総会 (第115回) 5月12日 (東京)

太田浩一, 佐藤敦子, 福井えみ: 内境界膜剥離併用黄斑円孔網膜剥離手術後の傍中心窩網膜厚の解析

日本眼科学会総会 (第115回) 5月12日 (東京)

佐藤敦子, 児玉真也, 福井えみ, 太田浩一: 冷凍凝固が奏効した vasoproliferative tumor of the retina の2例

日本眼炎症学会総会 (シンポジウム2 Autoimmune retinopathy; AIR. 自己免疫網膜症の臨床像) (第45回) 7月9日 (京都市)

太田浩一: AIR はあるか?

日本網膜硝子体学会総会 (第50回) 12月2日 (東京)

太田浩一, 佐藤敦子, 福井えみ: 内境界膜剥離併用黄斑円孔網膜剥離手術後の外中心窩網膜厚の解析

佐藤敦子, 福井えみ, 太田浩一: von Hippel-Lindau 病症例に対するベパシズマブ硝子体内投与

### 特別講演

愛知眼科フォーラム 9月11日 (名古屋市, 興和紡績本社)

Spectralis®をもちいたニッチな臨床研究: 太田浩一

### 講演会

ファイザー上田セミナー 2月18日 (上田市, 東急イン)

光干渉断層計 (OCT) と極小切開硝子体手術 (MIVS): 太田浩一

松本歯科大学病院眼科開設3周年記念講演 6月25日 (松本市, ホテルブエナビスタ)

松本歯科大学病院眼科における黄斑疾患治療の現状: 太田浩一

関東ブロック講習会・医療従事者講習会 7月14日 (軽井沢プリンスホテル)

光干渉断層計 (OCT) でわかること: 太田浩一

視能訓練士講習会 11月6日 (長野市, 長野市民病院)

光干渉断層計 (OCT) とぶどう膜炎: 太田浩一

### 日本学術振興会科学研究費補助金による研究

太田浩一: 眼内炎症におけるクリスタリンミューの機能解析 (平成21年度から23年度) (基盤研究 (C))

佐藤敦子: 再発性ぶどう膜炎における発現遺伝子の解析 (平成21年度から23年度) (若手研究 (B))

## 総合歯科医学研究所

### 硬組織疾患制御再建学部門

#### 硬組織形態解析学ユニット

### 論文発表

Ninomiya T, Hosoya A, Hiraga T, Koide M, Yamaguchi K, Oida H, Arai Y, Sahara N, Nakamura H and Ozawa H (2011) Prostaglandin E<sub>2</sub> receptor EP4-selective agonist (ONO-4819) increases bone formation by modulating mesenchymal cell differentiation. Eur J Pharmacol **650**: 396-402

Nakayama T, Mizoguchi T, Uehara S, Yamashita

T, Kawahara I, Kobayashi Y, Moriyama Y, Kurihara S, Sahara N, Ozawa H, Udagawa N and Takahashi N (2011) Polarized osteoclasts put marks of tartrate-resistant acid phosphatase on dentin slices—a simple method for identifying polarized osteoclasts. *Bone* **49**: 1331–9

Yonezawa T, Hasegawa S, Asai M, Ninomiya T, Sasaki T, Cha BY, Teruya T, Ozawa H, Yagasaki K, Nagai K and Woo JT (2011) Harmine, a b-carboline alkaloid, inhibits osteoclast differentiation and bone resorption *in vitro* and *in vivo*. *Eur J Pharmacol* **650**: 511–8

Kariya Y, Honma M, Hanamura A, Aoki S, Ninomiya T, Nakamichi Y, Udagawa N and Suzuki H (2011) Rab27a and Rab27b are involved in stimulation-dependent RANKL release from secretory lysosomes in osteoblastic cells. *J Bone Miner Res* **26**: 689–703

Ikawa T, Kawaguchi A, Okabe T, Ninomiya T, Nakamichi Y, Nakamura M, Uehara S, Nakamura H, Udagawa N, Takahashi N, Nakamura H and Wakitani S (2011) Hypergravity suppresses bone resorption in ovariectomized rat. *Adv Space Res* **47**: 1214–24

Furuya Y, Mori K, Ninomiya T, Tomimori Y, Tanaka S, Takahashi N, Udagawa N, Uchida K and Yasuda H (2011) Increased bone mass in mice after a single injection of an anti-RANKL neutralizing antibody: evidence for a bone anabolic effect of PTH in mice with few osteoclasts. *J Biol Chem* **286**: 37023–31

## 学会発表

日本骨代謝学会（第29回）平成23年7月

c-fos 遺伝子欠損マウスを用いた BMP 誘導性異所性骨形成に関する解析：中村美どり，二宮 禎，溝口利英，荒井 敦，高橋直之，宇田川信之（抄録集：p 212）

日本再生歯科学会（第9回）平成23年9月

Thy-1 陽性 subodontoblastic layer 細胞の高い硬組織形成能：細矢明宏，平賀 徹，二宮 禎，雪田聡，吉羽邦彦，吉羽永子，中村浩彰

日本学術振興会科学研究費補助金による研究

平賀 徹，細矢明宏，二宮 禎，小林泰浩：骨髄癌幹細胞を核とする癌骨転移の成立・進展メカニズムの解明（基盤研究B）

高橋直之，溝口利英，二宮 禎，小林泰浩：Wnt シグナルによる破骨細胞ニッチ制御機構の解明（基盤研究B）

山下照仁，二宮 禎，高橋直之：抗癌剤アクチゲニンの新しい骨吸収抑制機構の解明（基盤研究C）

中村浩彰，細矢明宏，雪田 聡，二宮 禎：骨原性細胞の誘導による再生治療の試み（挑戦的萌芽研究）

平賀 徹，細矢明宏，二宮 禎：前骨転移ニッチ仮説に基づく癌の骨選択的転移メカニズムの解明（挑戦的萌芽研究）

## 硬組織疾患制御再建学部門

### 硬組織機能解析学ユニット

## 論文発表

Takahashi N, Maeda K, Ishihara A, Uehara S and Kobayashi Y (2011) Regulatory mechanism of osteoclastogenesis by RANKL and Wnt signals. *Front Biosci* **16**: 21–30

Udagawa N, Yamashita T, Kobayashi Y and Takahashi N (2011) Identification of osteoclasts in culture. *Methods Mol Biology* **690**: 273–84

Muto A, Mizoguchi T, Udagawa N, Ito S, Kawahara I, Abiko Y, Arai A, Harada S, Kobayashi Y, Nakamichi Y, Penninger JM, Noguchi T and Takahashi N (2011) Lineage-committed osteoclast precursors circulate in blood and settle down into bone. *J Bone Miner Res* **26**: 2978–90

Nakayama T, Mizoguchi T, Uehara S, Yamashita T, Kawahara I, Kobayashi Y, Moriyama Y, Kurihara S, Sahara N, Ozawa H, Udagawa N and Takahashi N (2011) Polarized osteoclasts put marks of tartrate-resistant acid phosphatase on dentin slices – A simple method for identifying polarized osteoclasts. *Bone* **49**: 1331–9

Ikawa T, Kawaguchi A, Okabe T, Ninomiya T, Nakamichi Y, Nakamura M, Uehara S, Nakamura H, Udagawa N, Takahashi N, Nakamura H and Wakitani S (2011) Hypergravity suppresses bone resorption in ovariectomized rats. *Adv Space Res* **47**: 1214–24

Kariya Y, Honma M, Hanamura A, Aoki S, Ninomiya T, Nakamichi Y, Udagawa N and Suzuki H (2011) Rab27a and Rab27b are involved in stimulation-dependent RANKL release from secretory lysosomes in osteoblastic cells. *J Bone Miner Res* **26**: 689–703

Furuya Y, Mori K, Ninomiya T, Tomimori Y, Tanaka S, Takahashi N, Udagawa N, Uchida K and Yasuda H (2011) Increased bone mass in mice after single injection of anti-receptor activator of nuclear factor- $\kappa$ B ligand-neutralizing antibody: evi-

dence for bone anabolic effect of parathyroid hormone in mice with few osteoclasts. *J Biol Chem* **286** : 37023-31

Ninomiya T, Hosoya A, Hiraga T, Koide M, Yamaguchi K, Oida H, Arai Y, Sahara N, Nakamura H and Ozawa H (2011) Prostaglandin E<sub>2</sub> receptor EP4-selective agonist (ONO-4819) increases bone formation by modulating mesenchymal cell differentiation. *Eur J Pharmacol* **650** : 396-402

Oshita K, Yamaoka K, Udagawa N, Fukuyo S, Sonomoto K, Maeshima K, Kurihara R, Nakano K, Saito K, Okada Y, Chiba K and Tanaka Y (2011) Human mesenchymal stem cells inhibit osteoclastogenesis through osteoprotegerin production. *Arthritis Rheum* **63** : 1658-67

Kanzaki S, Takada Y, Niida S, Takeda Y, Udagawa N, Ogawa K, Nango N, Momose A and Matsuo K (2011) Impaired vibration of auditory ossicles in osteopetrotic mice. *Am J Pathol* **178** : 1270-8

Hashiguchi D, Fukushima H, Nakamura M, Morikawa K, Yasuda H, Udagawa N, Maki K and Jimi E (2011) Mineral trioxide aggregate solution inhibits osteoclast differentiation through the maintenance of osteoprotegerin expression in osteoblasts. *J Biomed Mater Res* **96A** : 358-64

#### その他学術著作物

中村美どり, 宇田川信之 (2011) 骨粗鬆症と RANKL シグナル. *Clinical Calcium* **8** : 1149-55

溝口利英 (2011) 静止期破骨細胞前駆細胞と RANKL シグナル. *Clinical Calcium* **8** : 1187-92

原田 卓, 溝口利英, 高橋直之 (2011) エルデカルシトールの骨吸収抑制作用. *Clinical Calcium* **21** : 1675-82

中道裕子 (2011) 破骨細胞前駆細胞の形成と供給におけるビタミン D の役割の新知見. *THE BONE* **25** : 233-7

中道裕子 (2011) *Bone Journal Club* : Phospho 1 とアルカリホスファターゼ同時欠損による骨格石灰化の消失-骨格の石灰化開始機構に関する統一モデル. 骨粗鬆症治療 **10** : 83

小出雅則 (2011) *Bone Journal Club* : 骨芽細胞分化を促進する転写因子 Maf は, 加齢により減少して間葉系細胞の分化を脂肪細胞に振り分ける. 骨粗鬆症治療 **10** : 84

#### 特別講演

九州大学大学院講義 2011年 5月

破骨細胞を制御する骨芽細胞の新しい役割: 高橋直之

愛知学院大学歯学会 2011年 7月

顎骨の再生は可能か?: 宇田川信之

日本骨代謝学会 Meet-the-Experts (第29回) 2011年 7月

破骨細胞の起源とその分化メカニズム: 宇田川信之

歯科基礎医学会サテライトシンポジウム (第53回) 2011年 9月

歯槽骨再生を目指した破骨細胞・骨芽細胞・歯髓細胞・骨髄細胞に関する研究: 宇田川信之

2<sup>nd</sup> Asia-Pacific Osteoporosis and Bone Meeting 2011年 9月

Quiescent Osteoclast Precursors: Takahashi N

長崎骨粗鬆症研究会 (第26回) 2011年11月

骨吸収を調節する骨芽細胞の新しい役割: 高橋直之

1<sup>st</sup> Bio-Rheumatology International Congress Tokyo 8<sup>th</sup> GARN Meeting Tokyo 2011年11月

Osteoclastic bone resorption directly activates osteoblast function: Udagawa N

町田市歯科医師会学術講演会 2011年11月

経口ビスフォスフォネート製剤関連顎骨骨髄炎・顎骨壊死-その現状と問題点-: 宇田川信之

2011 Dentistry, Quo Vadis? 2011年12月

チタンインプラント埋入における生体側のイベント: 高橋直之

分子メカニズムを知る意味とは: 高橋直之

#### 学会発表

松本ボーンフォーラム (第10回) 2011年 5月27日

歯髓細胞が有する高い骨再生能力: 宇田川信之

松本歯科大学学会例会 (第72回) 2011年 7月 9日

in vivo における破骨細胞分化機構の解析-M-CSF は c-Fos を介し前駆細胞の RANK を上昇する: 荒井 敦, 溝口利英, 小林泰浩, 山下照仁, 山田一尋, 宇田川信之, 高橋直之

日本骨代謝学会学術集会 (第29回) 2011年 7月28~30日

生体内における破骨細胞分化機構の解明-M-CSF は c-Fos を介して破骨細胞前駆細胞の RANK 発現を上昇する-: 荒井 敦, 溝口利英, 原田 卓, 武藤昭紀, 小林泰浩, 山下照仁, 保田尚孝, 山田一尋, 宇田川信之, 高橋直之 (プログラム抄録集: p 186)

アルケチゲニン NFATc1 の核移行を促進するが転写活性を抑制する: 山下照仁, 上原俊介, 小林泰浩, 宇田川信之, 高橋直之 (プログラム抄録集: p 211)

c-Fos 遺伝子欠損マウスを用いた BMP 誘導性異所性骨形成に関する解析: 中村美どり, 二宮 禎,

溝口利英, 荒井 敦, 高橋直之, 宇田川信之 (プログラム抄録集: p 212)

歯髄細胞の有する顕著な骨再生能力は, annexin A 8 を介して発揮される: 中道裕子, 萩原貴寛, 中村美どり, 高橋直之, 宇田川信之 (プログラム抄録集: p 215)

Eldecalcitol (ED-71) は海綿骨における RANKL の発現を抑制し, 骨密度を増加させる: 原田 卓, 溝口利英, 中道裕子, 小林泰浩, 武田 聡, 坂井貞興, 高橋文明, 斎藤一史, 保田尚孝, 宇田川信之, 須田立雄, 高橋直之 (プログラム抄録集: p 237)

破骨細胞の極性化指標 TRAP-mark は分泌痕跡である: 中山貴裕, 川原一郎, 上原俊介, 山下照仁, 溝口利英, 小林泰浩, 小澤英浩, 宇田川信之, 高橋直之 (第29回日本骨代謝学会プログラム抄録集: p 239)

松本歯科大学推進研究報告会 2011年 8月26日

細胞接着性タンパク質にて修飾した純チタン板上での骨芽細胞の分化メカニズムについて: 洞澤功子, 宇田川信之, 山下照仁, 上原俊介

33<sup>rd</sup> American Society for Bone and Mineral Research (ASBMR) Annual Meeting 2011年 9月16~20日

Dental Pulp Cells Exhibit High Performance as a Biomaterial for Bone Formation Through Expression of Annexin A 8 : Nakamichi Y, Hagihara T, Nakamura M, Imaoka A, Abiko Y, Nakamura H, Takahashi N and Udagawa N (Abstract web PDF: p. S414)

Daily administration of Eldecalcitol (ED-71), an active vitamin D analog, increases bone mineral density by suppressing RANKL expression in mouse trabecular bone : Harada S, Mizoguchi T, Nakamichi Y, Kobayashi Y, Takeda S, Sakai S, Takahashi F, Saito H, Yasuda H, Udagawa N, Suda T and Takahashi N (Abstract web PDF: p. S238)

Polarized Osteoclasts Put Marks of Tartrate-Resistant Acid Phosphatase on Dentin Slices – A Simple Method for Identifying Polarized Osteoclasts : Nakayama T, Mizoguchi T, Uehara S, Yamashita T, Kawahara I, Udagawa N and Takahashi N (Abstract web PDF: p. S467)

IOF Regionals 2<sup>nd</sup> Asia-Pacific Osteoporosis and Bone Meeting ANZBMS Annual Scientific Meeting, with JSBMR (第2回アジア太平洋骨粗鬆症学会) 2011年 9月4~8日

c-Fos plays an essential role in up-regulation of RANK expression in osteoclast precursors : Arai A, Mizoguchi T, Kobayashi Y, Yamashita T, Yamada K, Penninger JM, Udagawa N and Takahashi N (第2回アジア太平洋骨粗鬆症学会プログラム抄録

集: p 538)

BMP-induced ectopic bone formation in c-Fos-deficient mice : Nakamura M, Ninomiya T, Mizoguchi T, Arai A, Takahashi N and Udagawa N (第2回アジア太平洋骨粗鬆症学会プログラム抄録集: p 640)

松本歯科大学学会例会 (第73回) 2011年11月12日

Eldecalcitol (ED-71) は海綿骨における RANKL の発現を抑制し骨密度を増加させる: 原田 卓, 高橋直之, 溝口利英, 中道裕子, 小林泰浩, 宇田川信之

#### 日本学術振興会科学研究費補助金による研究

高橋直之, 小林泰浩, 溝口利英, 二宮 禎: Wnt シグナルによる破骨細胞ニッチ制御機構の解明 (基盤研究 B)

宇田川信之, 小出雅則, 中村美どり, 中道裕子, 上原俊介: 歯槽骨破壊を阻止するための新規治療法開発の基礎研究 (基盤研究 B)

小林泰浩, 高橋直之, 平賀 徹, 山下照仁, 溝口利英: 矯正治療への応用を目指した Wnt5a による歯槽骨-骨代謝回転制御機構の解明 (基盤研究 B)

宮沢裕夫, 中村浩志, 中村美どり, 中道裕子, 宇田川信之: 歯髄細胞による硬組織再生機構の解明 (基盤研究 B)

山下照仁, 高橋直之, 二宮 禎: 抗癌剤アクチゲニンの新しい骨吸収抑制機構の解明 (基盤研究 C)

中村美どり, 宮沢裕夫, 中村浩志, 中道裕子, 宇田川信之: 歯髄・歯根膜細胞を用いた顎骨再生医療を目指した基礎研究 (基盤研究 C)

高橋直之, 小林泰浩, 上原俊介, 宇田川信之: 破骨細胞の波状縁形成を誘導する Wnt-Ror2 シグナル (挑戦的萌芽研究)

宇田川信之, 中道裕子, 小林泰浩, 上原俊介, 山下照仁: 破骨細胞が分泌する新規骨形成誘導因子の同定 (挑戦的萌芽研究)

小林泰浩, 中道裕子: 破骨細胞が分泌する Wnt は骨形成を誘導するか? (挑戦的萌芽研究)

中村浩志, 宮沢裕夫, 中村美どり, 八上公利, 宇田川信之, 中道裕子: 唇顎口蓋裂児に対する骨再生と口腔インプラントに関する基礎的研究 (基盤研究 C)

溝口利英: 破骨細胞前駆細胞プールによる骨代謝調節機構の解析 (若手研究 B)

中道裕子: 異端の Wnt 受容体 Ryk の骨代謝における役割解明 (若手研究 B)

小出雅則: 新規炎症性歯周病モデルの作製および治療薬の評価 (若手研究 B)

## その他の研究助成

高橋直之：中外製薬株式会社との共同研究（骨代謝に関する研究）

宇田川信之：株式会社ヨシオカとの共同研究（医療用口腔インプラントに関する研究）

## 硬組織疾患制御再建学部門

## 遺伝子・再生工学ユニット

## 論文発表

Fukasawa KM, Hata T, Ono Y and Hirose J (2011) Metal Preferences of Zinc-Binding Motif on Metalloproteases. *J Amino Acids* **2011** : 1-7

## 学会発表

金属の関与する生体関連反応シンポジウム（第21回）2011年5月

Homology Modeling Study on the Active Site of rat Dipeptidyl Peptidase III : Hata T, Fukasawa KM, Hirose J and Ono Y (抄録集 : P 4)

日本生化学会大会（第84回）2011年9月

歯周病原菌 SOD の活性金属特異性における Gly 155 の役割 : 三原正志, 平岡行博, 山倉文幸, 大澤雅樹, 菊池有一郎, 茂木眞希雄, 山田一尋 (学会プログラム : p. 197)

## 硬組織疾患制御再建学部門

## 硬組織疾患病態解析学ユニット

## 著書

Kawakami T, Nakano K, Shimizu T, Kimura A, Okafuji N, Tsujigiwa H, Hasegawa H and Nagatsuka H (2011) Chapter 5 : Histopathological and immunohistochemical background of orthodontic treatment. In Berhardt LV ed : *Advances in Medicine and Biology Volume 18*. p 63-88, Nova Science Publishers, New York, USA ; Hardcover. ISBN : 978-1-61122-791-8 ; ebook, ISBN : 978-1-61209-495-3

落合隆永, 久保勝俊, 国分麻佑, 田中昭男, 谷口邦久, 中野敬介, 西川哲成, 長谷川博雅, 前田初彦, 益野一哉, 和唐雅博 (2011) 田中昭男, 谷口邦久, 長谷川博雅, 前田初彦 編集, 新・衛生士教育マニュアル 病理学. クインテッセンス出版, 東京

## 論文発表

Tomida M, Nakano K, Matsuura S and Kawakami T (2011) Comparative examination of subcutaneous tissue reaction to high molecular materials in medical use. *Eur J Med Res* **16** : 249-52

Muraki E, Nakano K, Maeda H, Takayama M, Jinno M, Kubo K, Yoshida W, Hasegawa H and Kawakami T (2011) Immunohistochemical localization of Notch signaling molecules in ameloblastomas. *Eur J Med Res* **16** : 253-7

Liu H, Xiao J, Zhong W, Wang L, Qi M, Ying X, Nakano K, Kawakami T and Ma Guown (2011) In vitro behavior of bacteria on fluoride ion-coated titanium : with special regards on porphyromonas gingivaris. *J Hard Tissue Biol* **20** : 47-52

Na Y, Wang Q, Nakano K, Tomida M, Kawakami T and Zhang Y (2011) L929 cell adhesion on the surface oxidized shape memory alloy. *J Hard Tissue Biol* **20** : 53-8

Tomida M, Nakano K, Sato M, Matsuura S and Kawakami T (2011) Histopathological examination of newly-developed adhesive silicone denture relining material. *Eur J Med Res* **16** : 328-30

Siar CH, Yeo KB, Nakano K, Nagatsuka H, Tsujigiwa H, Tomida M, Ng KH and Kawakami T (2011) Strawberry gingivitis as the first presenting sign of Wegener's granulomatosis : Report of a case. *Eur J Med Res* **16** : 331-4

Siar CH, Nakano K, Han PP, Tomida M, Tsujigiwa H, Nagatsuka H, Ng KH and Kawakami T (2011) Co-expression of BMP-2 and -7 in the tumoral epithelium of CEOT with selective BMP-7 expression in amiloid materials. *J Hard Tissue Biol* **20** : 125-32

Tsujigiwa H, Katase N, Sathi GA, Buery RR, Hirata Y, Kubota M, Nakano K, Kawakami T and Nagatsuka H (2011) Transplanted bone marrow-derived cells differentiated to tooth, bone and connective tissues in mice. *J Hard Tissue Biol* **20** : 147-52

Saito S, Nakano K, Nabeyama A, Sato M, Okafuji N, Yamamoto A, Kasahara E and Kawakami T (2011) Immunohistochemical expression of heat shock protein 27 in the mouse dental pulp after immediate teeth separation. *Eur J Med Res* **16** : 495-500

Siar CH, Kawakami T, Buery RR, Nakano K, Tomida M, Tsujigiwa H, Han PP, Nagatsuka H and Ng KH (2011) Notch signaling and ghost cell fate in the calcifying cistic odontogenic tumor. *Eur J Med Res* **16** : 501-6

Nabeyama A, Nakano K, Saito S, Sato M, Okafuji N, Yamamoto A, Kasahara E and Kawakami T (2011) Immunohistochemical expression of hard tissue related factors in the mouse pulp after immediate teeth separation. *Eur J Med Res* **16** : 507-13

Fijinami Y, Nakano K, Ueda O, Ara T, Hattori T, Kawakami T and Wang PL (2011) Dental caries area of rat molar expanded by cigarette smoke exposure. *Caries Res* **45** : 561-7

Nakano K, Tomida M, Sato M, Matsuura S, Yamamoto A, Kasahara E and Kawakami T (2011) Histopathological safety evaluation of newly-developed MgO sealer. *Eur J Med Res* **16** : 526-30

Wang Q, Komori A, Maeda H, Zhang D, Zhang Y, Zhao B and Kawakami T (2011) Phase transformation and corrosion properties of surface oxidized NiTi shape memory alloy. *J Hard Tissue Biol* **20** : 169-76

Zhang G, Nakano K, Honda Y, Wang X, Wang M, Xu Y and Kawakami T (2011) Expression of TRAF 6 mRNA on the resorbed surface of deciduous teeth root. *J Hard Tissue Biol* **20** : 177-84

村岡理奈, 中野敬介, 松田浩和, 共田真紀, 岡藤範正, 山田一尋, 川上敏行 (2011) 実験的歯科矯正力により歯根膜組織に発現する HSP70 の役割に関する一考察. *J Hard Tissue Biol* **20** : 275-82

松田浩和, 原田寿久, 村岡理奈, 共田真紀, 岡藤範正 (2011) 歯科矯正力によりマウス歯周組織に発現する Osterix の免疫組織化学的観察. *J Hard Tissue Biol* **20** : 283-8

藤田宗輝, 中野敬介, 前田初彦, 吉田和加, 鳥居亮太, 吉山昌典, 岡藤範正, 長谷川博雅, 川上敏行 (2011) エナメル上皮腫における HSP27 の免疫組織化学的観察. *J Hard Tissue Biol* **20** : 289-94

佐藤将洋, 中野敬介, 齊藤進之介, 鍋山篤史, 岡藤範正, 山本昭夫, 笠原悦男, 長谷川博雅, 川上敏行 (2011) Chromogranin A のマウス歯髄と歯周組織における発現. *J Hard Tissue Biol* **20** : 295-300

村岡理奈, 辻極秀次, 中野敬介, 片瀬直樹, 玉村亮, 富田美穂子, 岡藤範正, 長塚 仁, 川上敏行 (2011) 移植骨髄由来細胞の歯周組織への移動と細胞分化. *J Hard Tissue Biol* **20** : 301-6

岡藤範正, 中野敬介, 山本貴子, 魚住智子, 横井由紀子, 安東信行, 大須賀直人, 西川康博 (2011) 実験的外傷ストレスを負荷した歯周組織変化-歯科矯正学的視点からの検討-. *日外傷歯誌* **7** : 25-31

#### その他の学術出著作物

中野敬介, 島田陽子, 富田美穂子, 山本昭夫, 川上敏行 (2011) 松本歯科大学衛生学院における歯科衛

生士教育の現状. *Proceedings : International Symposium of Dental Education in Okayama (1<sup>st</sup> Asian Dental Education Seminar)* 101-6

#### 学会発表

International Symposium of Dental Education in Okayama (1<sup>st</sup> Asian Dental Education Seminar), Okayama, Feb 20, 2011

Current state of education at Matsumoto Dental University School of Dental Hygienists : Nakano K, Shimada Y, Tomida M, Yamamoto A and Kawakami T (Proceedings 101-6)

日本病理学会総会 (第100回) 2011年 4 月

Calcifying cystic odontogenic tumor の1症例 : Notch とその関連因子の検討 : 中野敬介, 辻極秀次, 長塚 仁, 川上敏行 (*日病会誌* **100** : 466, 2011)

硬組織再生生物学会総会 (第20回) 2011年 8 月

実験的歯間分離によりマウス歯髄に発現する硬組織関連因子 : 鍋山篤史, 中野敬介, 齊藤進之介, 佐藤将洋, 岡藤範正, 山本昭夫, 笠原悦男, 川上敏行 (抄録集 : p 23 ; *J Hard Tissue Biol* **20** : 268, 2011)

メカニカルストレスによるマウス歯根膜組織における Osterix の免疫組織化学的発現 : 松田浩和, 村岡理奈, 共田真紀, 中野敬介, 山田一尋, 川上敏行 (抄録集 : p 24 ; *J Hard Tissue Biol* **20** : 268, 2011)

メカニカルストレスが引き起こすマウス歯根膜組織における HSP27 の発現変化 : 村岡理奈, 中野敬介, 松田浩和, 共田真紀, 岡藤範正, 山田一尋, 川上敏行 (抄録集 : p 25 ; *J Hard Tissue Biol* **20** : 268, 2011)

マウス歯周組織におけるメカニカルストレスによる HSP27 の免疫組織化学的推移 : 共田真紀, 村岡理奈, 中野敬介, 松田浩和, 山田一尋, 川上敏行 (抄録集 : p 26 ; *J Hard Tissue Biol* **20** : 269, 2011)

Meeting of Asian Society of Oral and Maxillofacial Pathology (5<sup>th</sup>) /Annual meeting of the Japanese society of oral pathology (22<sup>th</sup>), Fukuoka, Aug 23-25, 2011

Immunohistochemical localization of Notch signaling molecules in ameloblastomas : Kubo K, Nakano K, Maeda H, Takayama M, Jinnno M, Yoshida W, Hasegawa H and Kawakami T (Abstract Book : p 118 ; *Oral Med Pathol* **16** : 34, 2011)

Immunohistochemical observation of Notch signaling in a case of calcifying cystic odontogenic tumor : Kawakami T, Siar CJ, Nakano K, Tomida M, Tsujigiwa H and Nagatsuka H (Abstract Book : p 119 ; *Oral Med Pathol* **16** : 35, 2011)

Differential expression of Notch receptors and

their ligands in calcifying epithelial odontogenic tumors : Siar CH, Chuah KS, Nakano K, Rivera RS, Tsujigiwa H, Nagatsuka H, Ng KH and Kawakami T (Abstract Book : p 120 ; Oral Med Pathol **16** : 35, 2011)

Co-expression of BMP-2 and -7 in the epithelium of calcifying epithelial odontogenic tumor with BMP-7 expression in amyloid materials : Tsujigiwa H, Siar CH, Nakano K, Han PP, Tomida M, Nagatsuka H, Ng KH and Kawakami T (Abstract Book : p 121 ; Oral Med Pathol **16** : 36, 2011)

Immunohistochemical expression of HSP27 in the mouse periodontal tissues due to orthodontic mechanical stress : Muraoka R, Nakano K and Kawakami T (Abstract Book : p 165 ; Oral Med Pathol **16** : 45, 2011)

Promoting effect of mechanical stress to transplanted bone marrow-derived cell migration into periodontal tissues : Tomida M, Tsujigiwa H, Nakano K, Muraoka R, Nagatsuka H and Kawakami T (Abstract Book : p 166 ; Oral Med Pathol **16** : 45, 2011)

Strawberry gingivitis as the first presenting sign of Wegener's granulomatosis : Report of a case : Nakano K, Siar CH, Ywo KB, Nagatsuka H, Tsujigiwa H, Ng KH and Kawakami T (Abstract Book : p 167 ; Oral Med Pathol **16** : 31, 2011)

Notch signaling proteins in primary and recurrent chondrosarcoma of the jaw : A case report : Ng KH, Siar CH, Aung LO, Nakano K, Tsujigiwa H, Nagatsuka H and Kawakami T (Abstract Book : p 168 ; Oral Med Pathol **16** : 31-32, 2011)

歯科基礎医学会総会 (第53回) 2011年 9月

医用高分子材料に対する組織反応の比較検討 : 富田美穂子, 中野敬介, 松浦幸子, 川上敏行 (J Oral Biosci **53** (S) : 170, 2011)

新規開発した酸化マグネシウム系材料 MgO Sealer に対する組織反応 : 佐藤将洋, 中野敬介, 富田美穂子, 松浦幸子, 川上敏行 (J Oral Biosci **53** (S) : 171, 2011)

新規開発したシリコン系接着性義歯裏装材に対する皮下組織の反応 : 中野敬介, 富田美穂子, 佐藤将洋, 松浦幸子, 川上敏行 (J Oral Biosci **53** (S) : 181, 2011)

矯正学的牽引側歯根膜に発現する HSP27 の骨芽細胞分化誘導の分子シャペロンとしての可能性 : 村岡理奈, 中野敬介, 松田浩和, 共田真紀, 岡藤範正, 山田一尋, 川上敏行 (J Oral Biosci **53** (S) : 183, 2011)

マウス歯周組織における矯正学的メカニカルストレスによる HSP27 の免疫組織化学的推移 : 共田真紀, 村岡理奈, 中野敬介, 松田浩和, 山田一尋,

川上敏行 (J Oral Biosci **53** (S) : 185, 2011)

歯科矯正学的メカニカルストレスによるマウス歯根膜組織における Osterix の発現 : 松田浩和, 村岡理奈, 共田真紀, 中野敬介, 岡藤範正, 山田一尋, 川上敏行 (J Oral Biosci **53** (S) : 185, 2011)

SIDO International Congress, Follow-up in Orthodontics (XXIII), Roma, Italy, Sep, 2011

Orthodontic stress as a possible promoter of transplanted bone marrow-derived cell migration into periodontal tissues : Muraoka R, Yamada K and Kawakami T

日本矯正歯科学会大会 (第70回, 第4回国際会議) 2011年10月

メカニカルストレスの引き起こすマウス歯周組織における HSP27 の免疫組織化学的推移 : 共田真紀, 村岡理奈, 中野敬介, 松田浩和, 山田一尋, 川上敏行 (プログラム・抄録集 : p 232)

歯科矯正力が引き起こすマウス歯根膜細胞における HSP27 の免疫組織化学的発現変化 : 村岡理奈, 中野敬介, 松田浩和, 共田真紀, 岡藤範正, 山田一尋, 川上敏行 (プログラム・抄録集 : p 233)

歯科矯正学的メカニカルストレスによるマウス歯根膜組織における Osterix の発現 : 松田浩和, 村岡理奈, 共田真紀, 中野敬介, 山田一尋, 川上敏行 (プログラム・抄録集 : p 235)

#### 日本学術振興会科学研究費補助金による研究

川上敏行, 中野敬介, 富田美穂子, 辻極秀次 : 骨髄幹細胞移植を用いた口腔の増殖性病変における細胞分化の分子調節機構の解明 (基盤研究 C)

中野敬介, 川上敏行, 辻極秀次, 富田美穂子, 村岡理奈 : 骨髄幹細胞を用いた組織修復およびリモデリングの促進とその分子調節機構の解明 (基盤研究 C)

岡藤範正, 中野敬介, 富田美穂子, 川上敏行, 辻極秀次 : 骨髄幹細胞移植を用いた歯科矯正学的リモデリングの促進とその分子機構の解明 (基盤研究 C)

村岡理奈 : 骨髄幹細胞移植を用いた歯科矯正治療による細胞傷害とその回復機構の解明 (若手研究 B)

硬組織疾患制御再建学部門

生体材料学ユニット

#### 論文発表

市川博彰, 谷口哲也, 江黒 徹, 永沢 栄, 伊藤充雄 (2011) インプラント材としてのチタンおよびチタン合金の機械的性質. 日本口腔インプラント誌 **24** : 207-14

## 学 会 発 表

IADR General Session, San Diego, USA 2011年  
3月

Dental education using 3D tooth voxel models :  
Yoshida T, Tamura K, Kawase Y, Nagasawa S, Ito  
M and Platt JA (Abstract USB memory, 2011)

日本歯科保存学会学術大会(第134回)2011年6月  
マイクロバブルオゾン水の口腔細菌に対する効  
果:河瀬雄治, 平井 要, 佐藤将洋, 吉田貴光, 内田  
啓一, 永沢 栄, 伊藤充雄, 山本昭夫, 笠原悦男(日  
本歯科保存学会学術大会プログラムおよび講演抄録  
集134回:144, 2011)

日本口腔インプラント学会(第41回)2011年9月  
歯科用インプラントに用いられているチタン及び  
チタン合金の曲げ荷重特性:松江正芳, 小室美樹,  
羽倉隆昌, 永沢 栄, 伊藤充雄(日本口腔インプラ  
ント学会誌 24:285, 2011)

日本歯科技工学会(第58回)2011年10月  
インプラント体に掛かる咬合力とネジの緩みに関  
する研究:永沢 栄, 河瀬雄治, 竹内 賢, 小野  
廣仁, 山倉和典(歯科材料・器械 30:305, 2011)

日本歯科保存学会学術大会(第135回)2011年10月  
Cone-Beam-CTによる難治性根尖性歯周炎の診  
断:河瀬雄治, 内田啓一, 田口 明, 山本昭夫, 吉成  
伸夫, 山口祐美, 内山真紀子, 佐藤将洋, 笠原悦男,  
永沢 栄(日本歯科保存学会学術大会プログラムお  
よび講演抄録集135回:181, 2011)

硬組織疾患制御再建学部門  
臨床病態評価学ユニット

## 論 文

高橋美穂, 丹羽 崇, 高田匡基, 丸川和也, 秋田  
大輔, 西田英作, 吉成伸夫, 上松隆司(2011)ヒト  
培養自己骨髄間葉系細胞移植による顎骨再生療法-組  
織培養から医薬品基準の再生医療へ-. 口腔組織培養  
学会雑誌 20:9-19

上松隆司, 各務秀明(2011)幹細胞由来成長因子  
を用いたあらたな再生医療-細胞増殖因子と唾液腺の  
再生. 医学のあゆみ 239:822-6

楊 静, 李 憲起, 張 楠, 陳 彦呈, 水谷智宏,  
中山 聡, 押領司 謙, 岩崎 浩, 宮沢裕夫(2011)  
中国山西省小児の齲蝕罹患実態調査. 小児歯科学雑  
誌 49:243-50

Wang R, Li X, Xu Y, Yang Q, Wang D, Liu B,  
Zhang D, Yang J and Miyazawa H (2011) Influence  
of coping design on stress distribution of posterior  
metal-ceramic crowns by three-dimensional finite  
element analysis. Matsumoto Shigaku 37:1-8

Tadokoro O, Kawahara I and Vandevska -  
Radunovic V: Reactions of periodontal ligament  
epithelial cell clusters and OX6-immunopositive  
cells to experimental tooth movement and peri-  
odontitis. J Periodontal Res 46:584-91

Muto A, Mizoguchi T, Udagawa N, Ito S, Kawa-  
hara I, Abiko Y, Arai A, Harada S, Kobayashi Y,  
Nakamichi Y, Penninger JM, Noguchi T and Taka-  
hashi (2011) Lineage-committed osteoclast precur-  
sors circulate in blood and settle down into bone. J  
Bone Miner Res 26:2978-90

## 学 会 発 表

日本口腔腫瘍学会総会・学術大会(第29回)2011  
年1月(熊本)

口腔・食道同時性重複癌の一例:丹羽 崇, 李  
憲起, 上松隆司

日本口腔インプラント学会関東・甲信越支部学術  
大会(第30回)2011年2月(横浜)

培養骨髄間葉系細胞移植による骨再生療法の確立-  
多血小板血漿(PRP)中のサイトカイン量と細胞増  
殖に対する作用-:中澤高志, 上松隆司, 寺本祐二,  
丹羽 崇, 高橋美穂

日本再生医療学会(第10回)2011年3月(東京)  
培養ヒト自己骨髄間葉系細胞移植による顎骨再生  
療法-上顎洞底挙上術への臨床応用-:上松隆司,  
寺本祐二, 堂東亮輔, 高橋美穂, 丹羽 崇, 高田  
匡基, 丸川和也, 秋田大輔, 中澤高志, 下平滋隆,  
脇谷滋之, 田原秀晃, 松下まりも, 田口 明, 中村  
美どり, 宇田川信之

89th IADR/AADR/CADR General Session & Ex-  
hibition in San Diego, USA, March

Epithelial and OX6-immunopositive cells' reac-  
tions to tooth movement and periodontitis: Ta-  
dokoro O, Kawahara I, Radunovic-Vandevska V. J  
Dent Res 89 (Spec Iss A) 3654, 2011 (www.dental-  
research.org)

日本口腔科学会学術集会(第65回)2011年4月(東  
京)

ポリリン酸のヒト歯髄由来細胞に対する作用:  
秋田大輔, 高田匡基, 丸川和也, 上松隆司

頭頸部癌における抗癌剤耐性獲得機構の解析:  
丸川和也, 寺本祐二, 堂東亮輔, 丹羽 崇, 高田  
匡基, 李 憲起, 上松隆司

多血小板血漿(PRP)を併用した骨再生療法の確  
立-培養骨髄間葉系細胞に対するPRPの作用-:  
高橋美穂, 秋田大輔, 寺本祐二, 丸川和也, 吉成  
伸夫, 上松隆司

口腔乾燥症に対するポリリン酸含有口腔保湿剤の  
有用性:小野裕輔, 石塚正英, 上田青海, 高田匡基,  
秋田大輔, 丹羽 崇, 丸川和也, 中澤高志, 李



憲起, 上松隆司

松本ボーンフォーラム (第10回) 2011年5月 (松本)

培養ヒト自己骨髄間葉系細胞移植による顎骨再生療法: 上松隆司

松本歯科大学インプラント研究発表会 2011年6月 (塩尻)

Simvastatin によるインプラント周囲骨への影響-投与中止後のリバウンド現象について-: 李 憲起, 楊 静, 上松隆司, 永沢 栄, 高橋直之

ヒト自己骨髄間葉系細胞移植による骨造成法: 上松隆司

甲信越口腔保健研究会総会・学術大会 (第22回) 2011年7月 (新潟市)

ヒト歯根膜線維芽細胞傷害因子と Chromogranin A との関連性について: 定岡 直, 八上公利, 笠原香, 中根 卓, 小口久雄, 川原一郎, 柳沢 茂

日本口腔インプラント学会学術大会 (第41回) 2011年9月 (名古屋)

課題口演: ヒト体性幹細胞を用いた骨造成法を確立するためのトランスレーショナルリサーチ-ヒト培養自己骨髄間葉系細胞移植は骨形成を促進する-: 上松隆司, 寺本祐二, 丹羽 崇, 高田匡基, 高橋美穂

日本解剖学会中部支部学術集会 (第71回) 2011年10月

ウシガエル舌における VIP と SP および PLCB 2 の局在: 田所 治, 安藤 宏, 浅沼直和, 川原一郎, 奥村雅代, 金銅英二 (解剖学雑誌 87: 11)

日本口腔衛生学会大会 (第60回) 2011年10月 (松戸市)

歯科診療におけるメタクリル酸メチルモノマー曝露について~ポータブル VOC モニター有用性の検討~: 笠原 香, 八上公利, 定岡 直, 川原一郎, 中根 卓, 小口久雄, 牧 茂

化学的ストレスにより歯根膜細胞が発現するストレス反応性タンパクについて: 定岡 直, 牧 茂, 笠原 香, 川原一郎, 中根 卓, 小口久雄, 八上公利

日本口腔外科学会総会・学術大会 (第56回) 2011年10月 (大阪)

ヒト培養自己骨髄間葉系細胞移植による顎骨再生療法の確立-上顎洞底挙上術への臨床応用-: 高橋美穂, 上松隆司, 丹羽 崇, 高田匡基, 丸川和也, 秋田大輔, 吉成伸夫, 篠原 淳, 各務秀明

ポリリン酸はヒト歯髄由来細胞の象牙芽細胞形質獲得を促進する: 秋田大輔, 上松隆司, 高田匡基, 丹羽 崇, 篠原 淳, 各務秀明

唾液腺癌の抗癌剤耐性獲得機構-GST-pi/MRP の誘導により多剤耐性形質を獲得する-: 丸川和也, 高橋美穂, 堂東亮輔, 丹羽 崇, 高田匡基, 李 憲起, 篠原 淳, 各務秀明, 上松隆司

日本癌学会 (第70回) 2011年10月 (名古屋)

Acquired multidrug resistance in salivary gland

adenocarcinoma cells : Marukawa K, Takahashi, M, Niwa T, Shinohara A, Kagami H and Uematsu T

日本口腔組織培養学会学術大会 (第48回) 2011年11月 (浦安市)

ヒト培養自己骨髄間葉系細胞移植は骨形成を促進する: 高橋美穂, 丹羽 崇, 高田匡基, 丸川和也, 秋田大輔, 千原隆弘, 上松隆司

日本小児歯科学会大会 (第49回) 2011年11月 (岩手)

中国山西省小児の齲蝕に関わる環境要因解明: 李 憲起, 張 楠, 水谷智宏, 楊 静, 中山 聡, 岩崎浩, 宮沢裕夫

中国人小児 (広東省佛山市幼稚園児) の齲蝕に関わる環境要因の分析: 楊 静, 李 憲起, 水谷智宏, 中山 聡, 岩崎 浩, 宮沢裕夫

日本バイオマテリアル学会大会 (第33回) 2011年11月 (京都市)

HA コートチタンインプラント-骨界面超微細構造観察: 川原一郎, 花田 剛, 八上公利, 中山貴裕, 村上剛一, 柳沢 茂, 高橋直之

日本顎顔面インプラント学会総会・学術大会 (第15回) 12月 (千葉)

多血小板血漿を用いたヒト培養骨髄間葉系細胞移植による顎骨再生療法の確立: 秋田大輔, 高橋美穂, 丹羽 崇, 高田匡基, 丸川和也, 千原隆弘, 李 憲起, 上松隆司

## 特別講演

李 憲起: 実験計画と論文作成のテクニック: 中国山西医科大学大学院 5月

松本歯科大学推進研究費による研究(2010年度?)

李 憲起, 楊 静, 上松隆司, 高橋直之, 永澤 栄: シンバスタチンによるインプラント周囲骨形成作用

楊 静, 李 憲起, 宇田川信之, 宮沢裕夫: ヒト歯根膜細胞に対する各種保存液の影響

石塚正英, 小笠原正, 上田青海, 丸川和也, 秋田大輔, 中澤高志, 上松隆司: ポリリン酸を主成分とした口腔ケア用保湿剤の開発と臨床応用

小野裕輔, 荒 敏昭, 藤波義明, 李 憲起, 丸川和也, 上松隆司: 漢方薬による唾液分泌促進作用

顎口腔機能制御学部門  
咀嚼機能解析学ユニット

論文発表

大石めぐみ, 足立忠文, 安富和子, 中塚久美子, 山田一尋, 増田裕次 (2011) 永久前歯被蓋完成初期における多方位口唇閉鎖力 (II) -口唇形態・前歯部被蓋関係との関連. 顎機能誌 **17**: 104-12

山口正人, 足立忠文, 大石めぐみ, 中塚久美子, 横井磯子, 吉成伸夫, 黒岩昭弘, 増田裕次 (2011) 健康高齢者における多方位口唇閉鎖力-その特性と体格・握力・残存歯との関連. 顎機能誌 **17**: 125-34

安富和子, 足立忠文, 増田裕次 (2011) 学校給食における食行動の定量評価-主食の違いによる影響について-. 日咀嚼誌 **21**: 31-9

Nakatsuka K, Adachi T, Kato T, Oishi M, Murakami M, Okada Y and Masuda Y (2011) Reliability of Novel Multidirectional Lip-closing Force Measurement System. J Oral Rehabil **38**: 18-26

Kanayama H, Masuda Y, Adachi T, Arai Y, Kato T and Morimoto T (2011) Alteration of masticatory muscle EMG activities during chewing after a reversible bite-raising in guinea pigs. Arch Oral Biol **56**: 793-8

Nakatsuka K, Adachi T, Kato T, Oishi M and Masuda Y (2011) Regulatory Relationship between Tactile Sensation at the Vermilion of the Lips and Lip-closing Force. J Oral Rehabil **38**: 579-87

Nakatsuka K, Adachi T, Kato T, Murakami M, Yamada K and Masuda Y (2011) Asymmetric lip-closing forces in children with repaired unilateral cleft lip and/or palate. J Oral Rehabil **38**: 921-8

Kato T, Masuda Y, Yoshida A and Morimoto T (2011) Masseter EMG activity during sleep and sleep bruxism. Arch Ital Biol **149**: 478-91

学会発表

日本物理学会年次大会 (第66回) 2011年3月

大学初年次物理系教育のための講義・実験モジュールの構築Ⅳ: 田中忠芳, 鍵山茂徳, 江尻有郷, 並木雅俊, 大島和成, 増田裕次 (日本物理学会講演概要集: 第66巻第1号第2分冊: 428, 2011)

大学初年次物理系教育のためのe-Learningコンテンツの開発Ⅳ: 鍵山茂徳, 田中忠芳, 江尻有郷, 並木雅俊, 大島和成, 増田裕次 (日本物理学会講演概要集: 第66巻第1号第2分冊: 428, 2011)

European Orthodontic Society (第87回) 2011年6月

Relationship between balance of upper and lower

lip-closing forces and lateral craniofacial morphology: Murakami M, Nakatsuka K, Kanazawa M, Masuda Y and Yamada K (The 87th Congress of the European Orthodontic Society Program: 242, 2011)

日本リメディアル教育学会全国大会 (第7回) 2011年9月

大学初年次物理系教育のための講義・実験モジュールの構築とe-Learningコンテンツの開発Ⅲ: 田中忠芳, 鍵山茂徳, 江尻有郷, 並木雅俊, 大島和成, 増田裕次 (日本リメディアル教育学会第7回全国大会発表予稿集: 67-8, 2011)

日本物理学会2011年秋季大会 2011年9月

大学初年次物理系教育のための講義・実験モジュールの構築Ⅴ: 田中忠芳, 鍵山茂徳, 江尻有郷, 並木雅俊, 大島和成, 増田裕次 (日本物理学会講演概要集: 第66巻第2号第2分冊: 353, 2011)

大学初年次物理系教育のためのe-Learningコンテンツの開発Ⅴ: 鍵山茂徳, 田中忠芳, 江尻有郷, 並木雅俊, 大島和成, 増田裕次 (日本物理学会講演概要集: 第66巻第2号第2分冊: 353, 2011)

日本矯正歯科学会 (第70回) 2011年10月

上下口唇閉鎖力のバランスと側面顎顔面形態との関連性 (第二報): 村上円郁, 中塚久美子, 金澤昌律, 水野瑠莉香, 楓公士朗, 増田裕次, 山田一尋 (日本矯正歯科学会大会プログラム・抄録集70回: 344, 2011)

矯正治療後の口唇閉鎖力変化 骨格性下顎偏位患者の一例: 金山隼人, 村上円郁, 金澤昌律, 増田裕次, 山田一尋 (日本矯正歯科学会大会プログラム・抄録集70回: 192, 2011)

口唇閉鎖力バランスと正面顎顔面形態の関連 (第2報): 水野瑠莉香, 薄井陽平, 荒井敦, 村上円郁, 楓公士朗, 増田裕次, 山田一尋 (日本矯正歯科学会大会プログラム・抄録集70回: 213, 2011)

Annual meeting of the Japanese Association of Dental Research (第59回) 2011年10月

Age-related difference of lip-closing force and handgrip strength: Masuda Y, Adachi T, Kato T, Yamada Y and Kaede K (Program and Abstracts of Papers for the 59th annual meeting of the Japanese Association of Dental Research: 86, 2011)

三叉神経領域の感覚-運動統合機構研究会 (第5回) 2011年12月

咬合高径低下モデル動物の装置撤去後の咬合高径変化: 的場寛, 金山隼人, 楓公士朗, 加藤隆史, 山田一尋, 森本俊文, 増田裕次 (三叉神経領域の感覚-運動統合機構研究会プログラム: 8, 2011)

上下口唇閉鎖力のバランスと側面顎顔面形態との関連性: 村上円郁, 中塚久美子, 金澤昌律, 水野瑠莉香, 楓公士朗, 金山隼人, 増田裕次, 山田一尋 (三叉神経領域の感覚-運動統合機構研究会プログラ

ム：21, 2011)

### 特別講演

日本顎口腔機能学会 シンポジウム「顎口腔機能を測る」2011年5月

口唇機能評価のために多方位から口唇閉鎖力を測定する意義：増田裕次

鶴見大学歯学会 特別講演 2011年7月

脳と咀嚼運動：増田裕次

第6回「栄養とエイジング」国際会議 2011年9月

脳の高次機能と咀嚼：増田裕次

### 講演会

島内公民館・島内の農業文庫講座 2011年5月  
「食べる」「味わう」「話す」-口の働きについて-：増田裕次

塩尻ロマン大学 2011年6月

口は幸せのもと-口腔機能の向上をめざして-：増田裕次

### 顎口腔機能制御学部門 生体調節制御学ユニット

### 著書

金銅英二（分担執筆）（2011）歯科におけるしびれと痛みの臨床-歯科治療による神経損傷後の感覚神経障害その対応とメカニズム，クインテッセンス出版株式会社，東京

### 論文発表

安藤 宏，田所 治，浅沼直和，富田美穂子，中村貴美，金銅英二（2011）カエル茸状乳頭におけるNK1およびVPAC1レセプターの免疫組織化学的局在．日本味と匂学会誌 **18**：239-42

### 学会発表

日本疼痛学会（第33回）2011年7月

下歯槽神経切断モデルラットにおける分子レベルの変化とアロディニア発症の関連：奥村雅代，金銅英二

ORIGIN 神経科学研究会夏のワークショップ（第13回）2011年8月

下歯槽神経切断モデルラットにおけるアロディニアの解析：奥村雅代，金銅英二

日本口腔顔面痛学会（第16回）2011年10月

三叉神経節神経細胞の侵害刺激に伴う非翻訳領域転写産物の発現上昇の解析：大木絵美，奥村雅代，岡本 望，金銅英二

拔牙を余儀なくされた非定型歯痛の一例：金銅英二，山下秀一郎，丹羽 萌，澁谷 徹，前島信也

### 健康増進口腔科学部門 口腔健康分析学ユニット

### 論文

楊 静，李 憲起，張 楠，水谷智宏，齋藤珠実，正村正仁，中山 聡，押領司 謙，岩崎 浩，宮沢裕夫（2011）中国山西省小児の齲蝕罹患実態調査．小児歯科学雑誌 **49**：243-50

Imamura Y, Aoki H, Oomori Y, Miyazawa H and Wang PL (2011) Polymorphisms of the mannose-binding lectin gene *MBL* in periodontitis in patients with Down syndrome. *Ped Dent J* **21**：17-23

### その他の学術著作物

中山 聡，宮沢裕夫（2011）最新臨床の基礎12 小児歯科における補綴学的処置（1）支台築造と全部被覆冠．小児歯科臨床 **16**(1)：49-56

中山 聡，宮沢裕夫（2011）最新臨床の基礎13 小児歯科における補綴学的処置（2）欠損歯への対応．小児歯科臨床 **16**(2)：51-55

### 学会発表

成育歯科医療研究会大会（第16回）2011年9月  
可動型バンドループを用いて永久歯萌出スペースを確保した1例：水谷智宏，中山 聡，岩崎 浩，宮沢裕夫

日本細菌学会総会（第84回）2011年9月

Roles of the extracytoplasmic function sigma factors in *Porphyromonas gingivalis* : Kikuchi Y, Onozawa S, Kiso A, Miyashita M, Ueda O, Hirai K, Shibata Y, Ohara N, Nakayama K and Fujimura S (日本細菌学雑誌 **66**：440, 2011)

歯科基礎医学会学術大会（第53回）2011年10月

V8プロテアーゼ刺激によるA549細胞のプロスタグランジンE<sub>2</sub>産生：平井 要，菊池有一郎，上田青海，柴田幸永，荒 敏昭，服部敏己，平岡行博，加藤哲男，石原和幸，藤村節夫（*J Oral Biosci* **53** (Suppl)：202, 2011)

*IL-8* 遺伝子プロモーター中の新規一塩基多型の転写制御と慢性歯周炎患者における一塩基多型解析：青木伯永，今村泰弘，宮沢裕夫，王 宝禮

日本子ども学会議学術集会（第8回）2011年10月

乳幼児期における歯磨き時の口腔内外傷と予防効果を付与した歯ブラシ：水谷智宏，中山 聡，岩崎 浩，宮沢裕夫

日本小児歯科学会中部地方会記念大会（第30回）  
2011年10月

可動型バンドループを用いて永久歯萌出スペースを確保した2症例：水谷智宏，中山 聡，岩崎 浩，宮沢裕夫

クメール人幼児の齲蝕と生活環境：岩崎 浩，陳彦呈，水谷智宏，中山 聡，宮沢裕夫

各種歯牙保存液が歯根膜に及ぼす影響-培養線維芽細胞の形態観察と生存率の推移-：紀田晃生，山川洋子，正村正仁，大須賀直人

骨膜反応を伴った含菌性嚢胞の1例：内田啓一，田口 明，大須賀直人，岩崎 浩，中山 聡，水谷智宏，宇津野 創，黒岩博子，宮沢裕夫

日本小児歯科学会大会（第49回）2011年11月

カンボジア王国小児の歯科疾患実態調査と予防プログラム確立に向けて-シェムリアップ州サムロン・スパーン村の小児の齲蝕の現状-：岩崎 浩，陳彦呈，水谷智宏，中山 聡，宮沢裕夫（小児歯誌 **49**：308，2011）

中国人小児（広東省佛山市幼稚園児）の齲蝕に関わる環境要因の分析：楊 静，李 憲起，陳 彦呈，水谷智宏，中山 聡，岩崎 浩，宮沢裕夫（小児歯誌 **49**：309，2011）

中国山西省小児の齲蝕に関わる環境要因分析：李憲起，張 楠，陳 彦呈，水谷智宏，楊 静，岩崎 浩，宮沢裕夫（小児歯誌 **49**：310，2011）

歯科大学病院小児歯科における口腔外傷患者の実態調査 第2報：17年前の受傷状況と処置内容の比較：溝畑亜紀子，中村浩志，大須賀直人，岩崎 浩，犬塚勝昭，宮沢裕夫（小児歯誌 **49**：313，2011）

乳歯の抜歯後に急性特発性血小板減少性紫斑病が判明した1例：水谷智宏，福地輝代，中山 聡，岩崎 浩，宮沢裕夫（小児歯誌 **49**：328，2011）

乳歯列期重度齲蝕症β-ディフェンシン1遺伝子の一塩基多型解析：青木伯永，今村泰弘，岩崎 浩，王 宝禮，宮沢裕夫（小児歯誌 **49**：372，2011）

#### 日本学術振興会科学研究費補助金による研究

岩崎 浩，中山 聡，水谷智宏，宮沢裕夫：カンボジア国シェムリアップ州小児の歯科疾患調査と予防プログラム確立に向けて（基盤研究B）

中村浩志：唇顎口蓋裂児に対する骨再生と口腔インプラントに関する基礎的研究（基盤C一般）

#### 特許取得

特許取得：2011年4月12日（特許申請 2010年10月25日）

出願番号：2010-238274064773

取得番号：第4732545号

名称：歯磨きに於ける口腔内外傷発生防止用歯ブラシ

水谷智宏，中山 聡，岩崎 浩，宮沢裕夫，竹下重雄

#### 健康増進口腔科学部門

#### 口腔健康政策学ユニット

#### 論 文

Kato T, Ana M. Verry, Nakane T, Masuda Y and Maki S (2011) Age is associated with self-reported sleep bruxism, independently of tooth loss. Sleep Breath (online press)

牧 茂，矢ヶ崎 雅，八上公利，川原一郎，笠原香，中根 卓，定岡 直，小口久雄（2011）歯科保健条例についての研究 内容の検討，制定の背景と理念法としての構築．松本歯学 **37**：89-96

楊 静，李 憲起，張 楠，水谷智宏，齋藤珠実，正村正仁，中山 聡，押領司 謙，岩崎 浩，宮沢裕夫（2011）中国山西省小児の齲蝕罹患実態調査．小児歯科学雑誌 **49**：243-50

#### そ の 他

市民タイムス 研究室訪問 5月19日刊：牧 茂

#### 学 会 発 表

日本口腔科学会学術集会（第65回）2011年4月

陽イオン処理チタンインプラントに対する骨芽細胞分化および骨形成過程の生化学的，組織化学的検討：八上公利，定岡 直，宇田川信之，牧 茂，村上広樹

甲信越北陸口腔保健研究会総会（第22回）2011年7月

ヒト歯根膜線維芽細胞とChromograninAとの関連性について：定岡 直，八上公利，川原一郎，笠原香，中根 卓，小口久雄，牧 茂

歯科基礎医学会学術大会（第53回）2011年9月

ヒト歯根膜線維芽細胞とChromograninAとの関連性について：定岡 直，八上公利，川原一郎，笠原香，中根 卓，牧 茂

日本口腔衛生学会総会（第60回）2011年10月

化学的ストレスにより歯根膜線維芽細胞が発現するストレス反応性タンパクについて：定岡 直，八上公利，川原一郎，笠原 香，中根 卓，小口久雄，牧 茂

Oligonol の *streptococcus mutans* および *Porphy-*

*romonas gingivalis* に対する作用の検討：八上公利，平井 要，定岡 直，川原一郎，笠原 香，中根 卓，小口久雄，牧 茂

歯科診療におけるメタクリル酸モノマー曝露について：笠原 香，定岡 直，八上公利，川原一郎，中根 卓，小口久雄，牧 茂

日本小児歯科学会大会（第49回）2011年11月

中国人小児（広東省佛山市幼稚園児）の齲蝕に関わる環境要因の分析：楊 静，李 憲起，陳 彦呈，水谷智宏，中山 聡，岩崎 浩，宮沢裕夫（小児歯誌 **49**：309，2011）

中国山西省小児の齲蝕に関わる環境要因分析：李 憲起，張 楠，陳 彦呈，水谷智宏，楊 静，岩崎 浩，宮沢裕夫（小児歯誌 **49**：310，2011）

日本バイオマテリアル学会大会（第33回）2011年11月21，22日（京都市）

HA コートチタンインプラント-骨界面超微細構造観察：川原一郎，花田 剛，八上公利，中山貴裕，村上剛一，柳沢 茂，高橋直之

### 科学研究費

牧 茂：ストレスが歯周病に及ぼす病態の解析（基盤研究 C）

### 講 演

長野市歯を守る市民の会 2011年11月「女性の元気は口元から！」：牧 茂